

令和 9 （ 2 0 2 7 ） 年 度

入 学 者 選 抜 要 項



令和 8 年 6 月

琉 球 大 学

※実施方法等に変更が生じた場合には本学ホームページにて速やかにお知らせ
します。

問 い 合 わ せ 先 一 覧

事 項	問い合わせ先	電 話 番 号
大学入学共通テストに関すること	大学入試センター事業第一課	0 3 - 3 4 6 5 - 8 6 0 0
個別学力検査等に関すること	学生部入試課	0 9 8 - 8 9 5 - 8 1 4 1 0 9 8 - 8 9 5 - 8 1 4 2
	人文社会学部学務係	0 9 8 - 8 9 5 - 9 0 5 6
	国際地域創造学部学務係	0 9 8 - 8 9 5 - 8 1 8 4
	教育学部学務係	0 9 8 - 8 9 5 - 8 3 1 7
	理学部学務係	0 9 8 - 8 9 5 - 8 5 9 5
	【医学部】 西普天間キャンパス事務部 学務課入試・学事係	0 9 8 - 8 9 4 - 5 5 1 3
	工学部学務係	0 9 8 - 8 9 5 - 8 5 8 3
	農学部学務係	0 9 8 - 8 9 5 - 8 7 3 8
入学者選抜に関する統計資料 ・ 志願者数及び志願倍率等 ・ 合格者の最高点, 最低点, 平均点 ・ 過去の試験問題	本学ホームページ https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/passed/	
入学科, 授業料の <u>納 入</u> に関すること	財務部経理課収入・支出係	0 9 8 - 8 9 5 - 8 0 5 8
入学科, 授業料の <u>免 除</u> に関すること	学生部学生支援課学生援護係	0 9 8 - 8 9 5 - 8 1 3 5
奨学金に関すること	学生部学生支援課学生援護係 (奨学金担当)	0 9 8 - 8 9 5 - 8 1 3 6
学生寮（千原寮）に関すること	学寮事務室	0 9 8 - 8 9 5 - 8 1 0 1 0 9 8 - 8 9 5 - 8 1 3 3
障がい等のある入学志願者（受験時の合理的配慮等）に関すること	障がい学生支援室	0 9 8 - 8 9 5 - 8 7 5 0

※お問い合わせ対応時間：月曜日～金曜日（休日を除く） 9：00～17：00

※お問い合わせは、原則として志願者本人が行ってください。

目 次

○琉球大学入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	1
○入試カレンダー	2
○令和9（2027）年度 琉球大学入学者選抜の主な変更点	4
○令和9（2027）年度 琉球大学医学部医学科入学定員について	5
【1】 令和9年度琉球大学入学者選抜日程の概要	6
【2】 募集人員	8
【3】 出願資格	10
【4】 入学者選抜の概要	10
【5】 令和9年度入学者選抜方法等	13
（1）入学者選抜方法等	
（一般選抜、専門高校・総合学科卒業生選抜）	13
（2）特別選抜の概要	15
【6】 学校推薦型選抜の推薦人員	17
【7】 令和9年度入学者選抜の実施教科・科目等	18
【8】 障がい等のある入学志願者（受験時の合理的配慮等）	20
【9】 入試情報開示に関する事項	20
（1）入学試験問題及び解答例又は出題意図等	20
（2）志願状況、合格者の成績（合格者の最高点、最低点、平均点）	20
（3）試験成績開示	20
【10】 学生募集要項の発表時期等について	21
【11】 出願方法について	21
【12】 「大学案内」の請求について	22
《テレメール》での請求（郵便配達を利用する場合）	22
《モバっちょ》での請求（宅配を利用する場合）	23
【13】 全学部的基本的な合否判定基準	24
【14】 各学部の入学者選抜について	
人文社会学部	25
1. 一般選抜（前期日程・後期日程）	26
2. 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）	27
3. 帰国生徒特別選抜	30
4. 私費外国人留学生特別選抜	30
5. 個別学力検査等の採点・評価基準	31
6. 合否判定基準	33
7. 募集人員の留意事項	33
8. 人文社会学部のプログラムの配属等について	34
国際地域創造学部	35
1. 一般選抜（前期日程・後期日程）	36
2. 学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）	38
3. 社会人特別選抜（夜間主コースのみ）	39
4. 帰国生徒特別選抜	40
5. 私費外国人留学生特別選抜	41
6. 個別学力検査等の採点・評価基準	41
7. 合否判定基準	42
8. 募集人員の留意事項	42
9. 国際地域創造学部のプログラムの配属等について	43
教育学部	45
1. 一般選抜（前期日程）	46
2. 総合型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）	49
3. 学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）	51
4. 学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）「英語重視」	52
5. 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）	53
6. 実技検査等実施方法	55
7. 個別学力検査等の採点・評価基準	57
8. 合否判定基準	60
9. 募集人員の留意事項	60
10. 教育学部の専修の決定方法等について	61

理学部	63
1. 一般選抜（前期日程・後期日程）	64
2. 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）	67
3. 帰国生徒特別選抜	71
4. 私費外国人留学生特別選抜	72
5. 出願に関する第2志望の取扱い（数理科学科，物質地球科学科，海洋自然科学科化学系）	72
6. 個別学力検査等の採点・評価基準	73
7. 合否判定基準	75
8. 募集人員の留意事項	76
医学部	77
1. 一般選抜（前期日程・後期日程）	78
2. 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）	79
3. 帰国生徒特別選抜	81
4. 私費外国人留学生特別選抜	82
5. 個別学力検査等の採点・評価基準	82
6. 合否判定基準	83
7. 2段階選抜（医学科）	84
8. 募集人員の留意事項	84
工学部	85
1. 一般選抜（前期日程・後期日程）	86
2. 総合型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）	87
3. 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）	89
4. 社会人特別選抜	91
5. 私費外国人留学生特別選抜	91
6. 個別学力検査等の採点・評価基準	92
7. 合否判定基準	93
8. 工学部の選抜方法等について	93
9. 募集人員の留意事項	93
農学部	95
1. 一般選抜（前期日程・後期日程）	96
2. 総合型選抜Ⅱ（共通テストを課す）	98
3. 学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）	100
4. 帰国生徒特別選抜	101
5. 私費外国人留学生特別選抜	101
6. 個別学力検査等の採点・評価基準	102
7. 合否判定基準	103
8. 募集人員の留意事項	104
【15】私費外国人留学生特別選抜	106
別表1 日本留学試験の試験教科・科目の指定及び個別学力検査等	107
【16】合格者を対象とした入学前教育の実施について	109
【◎参考情報】ノートパソコン等の必携化について	109
○琉球大学案内図（千原キャンパス・西普天間キャンパス）案内図	110

各選抜区分について、以下のとおり略記することがあります。

大学入学共通テスト⇒「共通テスト」
総合型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）⇒「総合Ⅰ」
総合型選抜Ⅱ（共通テストを課す）⇒「総合Ⅱ」
学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）⇒「推薦Ⅰ」
学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）⇒「推薦Ⅱ」
一般選抜⇒「一般」
社会人特別選抜⇒「社会人」
帰国生徒特別選抜⇒「帰国」
私費外国人留学生特別選抜⇒「私費」

琉球大学入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

〔平成29年2月9日〕
制 定

1. 琉球大学の教育の目的と理念

琉球大学は、「自由平等，寛容平和」の建学の精神の下，「普遍的価値を身につけた21世紀型市民として，地域社会及び国際社会の発展に寄与できる人材」の育成を掲げ，さらに具体的に以下の4つを目指し人材を育成します。

- （1）豊かな教養と自己実現力を有し，総合的な判断力を備えた人材
- （2）優れた専門性を持ち，地域社会及び国際社会に貢献する人材
- （3）外国語運用能力と国際感覚を有し，国際社会で活躍する人材
- （4）地域の歴史と自然に学び，世界の平和及び人類と自然の共生に貢献する人材

2. 求める学生像

琉球大学は，このような教育理念を理解し，本学で学ぶ強い意欲を持ち，次のような資質をもった人を積極的に受け入れます。

- （1）高等学校段階までの教育において，基礎的な知識・技能を習得し，問題意識を持ち続け，主体的に学習に取り組む態度を身につけた人
- （2）異なる歴史的・文化的特性や価値観を理解し，地域社会及び国際社会で貢献する意欲のある人
- （3）自分自身の可能性を信じ，自己の個性を生かし，自己実現に意欲のある人

3. 入学者選抜の基本方針

琉球大学は，各学部・学科等の求める学生像に沿って，多様な選抜方法により知識・技能やそれらの活用能力の評価だけでなく，意欲と主体性をもって学ぶことができるかを，多面的・総合的に評価し，社会人や留学生など多様な人を広く受け入れます。

各学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）については，本学ホームページの「各学士教育プログラムにおける入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」

https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/policy/faculty_admission-policy/

をご覧ください。

入試カレンダー 詳細は各募集要項を確認してください。

入試制度		対象学部	9月	10月
一般選抜	前期日程	全学部		
	後期日程	教育学部を除く全学部		
特別選抜	総合型選抜Ⅰ (共通テストを課さない)	教育学部	 試験日 第1次選考 9月 8日 第2次選考 9月29日 出願期間 9月1日～9月3日 ★合格発表 第1次選考9月16日	
		工学部	 試験日 第1次選考 書類 第2次選考 9月29日 出願期間 9月1日～9月3日 ★合格発表 第1次選考9月16日	
	総合型選抜Ⅱ (共通テストを課す)	農学部	 出願期間 9月1日～9月3日	試験日 第1次選考 10月10日
	学校推薦型選抜Ⅰ (共通テストを課さない) (英語重視を含む)	国際地域創造学部 教育学部 農学部		
	学校推薦型選抜Ⅱ (共通テストを課す)	人文社会学部・教育学部・ 理学部・医学部・工学部		
	社会人特別選抜	国際地域創造学部		
		工学部		
	帰国生徒特別選抜	人文社会学部・理学部 医学部・農学部		
		国際地域創造学部		
	私費外国人留学生 特別選抜	教育学部を除く全学部		

11月	12月	1月	2月	3月
		共通テスト  出願期間 1月25日～ 2月3日	試験日 2月25日, 26日	★合格発表 3月6日
				試験日 3月12日 ★合格発表 3月20日
★合格発表 第2次選考11月1日				
★合格発表 第2次選考11月1日				
★合格発表 第1次選考11月1日		共通テスト	★合格発表 2月9日	
 出願期間 11月1日～ 11月6日	試験日 12月2日 ★合格発表 12月11日	共通テスト		
	試験日 12月2日		★合格発表 2月9日	
	試験日 12月2日 ★合格発表 12月11日			
		 出願期間 1月18日～ 1月22日	試験日 2月26日	★合格発表 3月6日
 出願期間 11月1日～ 11月6日	試験日 12月2日 ★合格発表 12月11日			
		 出願期間 1月18日～ 1月22日	試験日 2月25日	★合格発表 3月6日
 出願期間 11月1日～ 11月6日	試験日 12月2日 ★合格発表 12月11日			

令和 9（2027）年度 琉球大学入学者選抜の主な変更点

学部・学科等	入学試験の名称	令和 9（2027）年度	令和 8（2026）年度
教育学部 学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻 美術教育専修	帰国生徒特別選抜	帰国生徒特別選抜を廃止する。	帰国生徒特別選抜を実施する。

令和9（2027）年度琉球大学医学部医学科入学定員について

国立大学法人 琉球大学

本学医学部医学科の入学定員には、文部科学省及び厚生労働省が認可する臨時的な増員措置による定員数を含んでいましたが、この措置は令和8（2026）年度をもって終了したため、現時点では「一般選抜（前期日程70名・後期日程23名）」及び「学校推薦型選抜Ⅱ7名」の計100名を令和9（2027）年度の入学定員としています。

しかし、文部科学省及び厚生労働省において地域における医師確保等の観点から新たな方針が示され、令和9（2027）年度入学者についても、臨時的な増員措置への請願が可能とされましたので、本学は入学定員の増員を申請いたします。

なお、臨時的な増員措置の具体的な内容は未だ公表されておらず、また、増員申請の審査結果によっては上記にお示しした入学定員を変更する場合もあり得ます。

令和9（2027）年度の本学医学部医学科「一般選抜」及び「学校推薦型選抜Ⅱ」の入学定員の詳細につきましては、確定次第、速やかに本学ホームページ等で公表しますので、志願を検討されている方はご注意ください。

本学ホームページ（ホーム > 入試情報）

<https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/>

※実施方法等に変更が生じた場合には本学ホームページにて情報を速やかにお知らせします。

【1】令和9年度琉球大学入学者選抜日程の概要

以下の各入試区分の出願期間は、インターネット出願登録後、実際に出願書類を提出する期間です。

○一般選抜

日程	対象学部	共通テスト	インターネット 出願登録期間	出願期間	個別学力 検査等	合格発表	入学手続き	追加合格
前期 日程	全学部	(令和9年) 1月16日(土) 1月17日(日)	1月22日(金) 1月23日(土) 2月3日(水)	1月25日(月) 1月26日(火) 2月3日(水)	2月25日(木) 2月26日(金) ※①	3月6日(土)	3月8日(月) 3月15日(月)	3月28日(日) 3月31日(水) ※②
後期 日程	全学部 (教育学部 を除く)				3月12日(金) ※①		3月23日(火) 3月27日(土)	

※①日程については、学部学科等によって異なります。一般選抜の詳細については、令和8年12月中旬発表の「学生募集要項（一般選抜）」を必ず確認してください。

※②追加合格者数によっては、欠員補充第2次募集を行うことがあります。

○特別選抜

選抜区分	対象学部	共通テスト	インターネット 出願登録期間	出願期間	個別学力 検査等	合格発表	入学手続き
総合型選抜Ⅰ (共通テスト を課さない)	教育学部	—	8月25日(火) 9月3日(木)	9月1日(火) 9月3日(木)	第1次選考 9月8日(火) 第2次選考 9月29日(火) ※注	第1次選考 9月16日(水) 第2次選考 11月1日(日)	11月5日(木) 11月13日(金)
	工学部				第1次選考 書類審査 第2次選考 9月29日(火) ※注		
総合型選抜Ⅱ (共通テスト を課す)	農学部	(令和9年) 1月16日(土) 1月17日(日)			第1次選考 10月10日(土) ※注	第1次選考 11月1日(日) 第2次選考 (令和9年) 2月9日(火)	2月12日(金) 2月17日(水)

※注 総合型選抜Ⅰ・Ⅱの個別学力検査については、台風等による予備日を設定しています。予備日については、各学部の「学生募集要項（総合型選抜Ⅰ・Ⅱ）」を必ず確認してください。

選抜区分	対象学部	共通テスト	インターネット 出願登録期間	出願期間	個別学力 検査等	合格発表	入学手続き
学校推薦型選抜Ⅰ (共通テストを課さない) (英語重視を含む)	国際地域創造 学部 教育学部 農学部	—	10月23日(金) ∟ 11月6日(金)	11月1日(日) ∟ 11月6日(金)	12月2日(水)	12月11日(金)	12月14日(月) ∟ 12月25日(金)
学校推薦型選抜Ⅱ (共通テストを課す)	人文社会学部 教育学部 理学部 医学部 工学部	(令和9年) 1月16日(土) 1月17日(日)				(令和9年) 2月9日(火)	(令和9年) 2月12日(金) ∟ 2月17日(水)
社会人特別選抜	国際地域創造 学部	—				12月11日(金)	12月14日(月) ∟ 12月25日(金)
	工学部	—	(令和9年) 1月12日(火) ∟ 1月22日(金)	(令和9年) 1月18日(月) ∟ 1月22日(金)	(令和9年) 2月26日(金)	(令和9年) 3月6日(土)	(令和9年) 3月8日(月) ∟ 3月15日(月)
帰国生徒特別選抜	人文社会学部 理学部 医学部 農学部	—	10月23日(金) ∟ 11月6日(金)	11月1日(日) ∟ 11月6日(金)	12月2日(水)	12月11日(金)	12月14日(月) ∟ 12月25日(金)
	国際地域創造 学部	—	(令和9年) 1月12日(火) ∟ 1月22日(金)	(令和9年) 1月18日(月) ∟ 1月22日(金)	(令和9年) 2月25日(木)	(令和9年) 3月6日(土)	(令和9年) 3月8日(月) ∟ 3月15日(月)
私費外国人留学生 特別選抜	全学部 (教育学部を除く)	—	10月16日(金) ∟ 11月6日(金)	11月1日(日) ∟ 11月6日(金)	12月2日(水)	12月11日(金)	12月14日(月) ∟ 12月25日(金)

※特別選抜の詳細については、下記学生募集要項（本学ホームページ掲載）を必ず確認してください。

- ◇ 「学生募集要項（総合型選抜Ⅰ・Ⅱ）」 令和8年6月下旬発表予定
- ◇ 上記以外の学生募集要項 令和8年9月下旬発表予定

【2】募集人員

学 部	学科・課程・(選抜方式)等			入学定員 (名)	募集人員(名)																
					一般選抜		総合型選抜		学校推薦型選抜		社会人	帰国 生徒	私費 外国人								
					分離分割方式		共通テスト を課さない	共通テスト を課す	共通テスト を課さない	共通テスト を課す											
					前期日程	後期日程															
人文社会学部	国際法政学科	法 学 プ ロ グ ラ ム		80	50	10				10		若干名	若干名								
		政治・国際関係学プログラム												10							
	人間社会学科	哲 学 プ ロ グ ラ ム		80	41	18				5		若干名	若干名								
		心 理 学 プ ロ グ ラ ム								8											
		社 会 学 プ ロ グ ラ ム								8											
	琉球アジア文化学科			40	25	6				9		若干名	若干名								
	計			200	116	34				50											
国際地域創造学部	昼間主 コース	国際地域創造学科	(国際的思考系)	265	60	15			50			若干名	若干名								
			(論理的思考系)		90	20															
			(数学的思考系)		30																
	夜間主 コース	国際地域創造学科	(国際的思考系)	80	20	5			13	10											
			(論理的思考系)		24	8															
	計			345	224	48			63	10											
教育学部	学校教育教員養成課程	小学校教育コース	学校教育専攻		140	35	小 10	5			10										
						8(小4/中4)															
		小学校教育コース・中学校教育コース	教科教育専攻	国語教育専修		7(小4/中3)															
				社会科教育専修		9(小4/中5)															
				数学教育専修		9(小4/中5)															
				理科教育専修		6(小3/中3)															
				音楽教育専修		6(小3/中3)															
				美術教育専修		7(小4/中3)															
				保健体育専修		3(小2/中1)										中 2					
				技術教育専修		6(小3/中3)															
				生活科学教育専修		6(小4/中2)										中1英語重視					
				英語教育専修																	
		特別支援教育コース	特別支援教育専攻	特別支援教育専修		7												3			
		計				140								109		15		3	13		
		理学部	数理科学科			40								30	10						
	物質地球科学科		物 理 系	65	28	7				5		若干名	若干名								
地 球 環 境 系			19		3				3		若干名	若干名									
海洋自然科学科			化 学 系	95	28	5				14		若干名	若干名								
			生 物 系		37	10				1		若干名	若干名								
計			200	142	35				23												
医学部	医 学 科			100	70	23				7											
	保 健 学 科			60	41	10				9		若干名	若干名								
	計			160	111	33				16											

学 部	学科・課程・(選抜方式)等		入学定員 (名)	募集人員(名)								
				一般選抜		総合型選抜		学校推薦型選抜		社会人	帰国 生徒	私費 外国人
				分離分割方式		共通テスト を課さない	共通テスト を課す	共通テスト を課さない	共通テスト を課す			
				前期日程	後期日程							
工 学 部	工学科	機 械 工 学 コ ー ス	350	209	37	6			11 若干名		若干名	
		エネルギー機械工学コース				10			7 若干名		若干名	
		電気システム工学コース				2			9 若干名		若干名	
		電子情報通信コース				4			7 若干名		若干名	
		環境都市工学コース				5			10 若干名		若干名	
		建 築 学 コ ー ス				2			10 若干名		若干名	
		知 能 情 報 コ ー ス				7			14 若干名		若干名	
		計				350			209		37	36
	農 学 部	亜 熱 帯 地 域 農 学 科	35	22	5		3	5			若干名	若干名
亜 熱 帯 農 林 環 境 科 学 科		35	22	5		3	5			若干名	若干名	
地 域 農 業 工 学 科		25	16	2		2	5			若干名	若干名	
亜 熱 帯 生 物 資 源 科 学 科		45	23	4		2	6			若干名	若干名	
			健康栄養科学コース	8		2						
計		140	91	16		12	21					
合 計			1,535	1,002	203	51	12	87	170	10		

○医学部医学科の学校推薦型選抜（共通テストを課す）の募集人員の取扱いについては、5 ページを参照してください。

○令和9年4月1日から、工学部工学科の社会基盤デザインコースは「環境都市工学コース」へ名称変更します。

【3】出願資格

本学に入学を志願できる者は、次の各号のいずれかに該当し、かつ令和9年度共通テストで本学の各学部・学科等が指定する教科・科目を受験した者です。1つでも受験していない教科・科目があると、受験資格はありません。

共通テストの利用教科・科目の得点の採用については19ページを、特別選抜（総合型、学校推薦型・社会人・帰国生徒）についてはそれぞれの学部のページを、私費外国人留学生特別選抜については106～108ページを必ず確認してください。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和9年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和9年3月までに修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者（詳細については、大学入試センターから6月頃公表される「令和9年度大学入学者選抜大学入学共通テスト受験案内」の出願の項を参照してください。）
- (4) 本学において、入学資格認定書の交付を受けた者

○上記（4）の入学資格審査を希望する者は、琉球大学入学資格審査申請要項を確認の上、令和8年8月31日（月）までにあらかじめ本学入試課へ相談してください。総合型選抜は7月24日（金）までに入試課へ相談してください。

入学資格審査申請要項及び入学資格認定交付申請書：

<https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/infomation/nyugakushikakushinsa/>

【入学資格審査申請関係書類の提出期限：令和8年9月7日（月）（総合型選抜Ⅰ・Ⅱは7月31日（金））】

【4】入学者選抜の概要

（1）一般選抜（前期日程・後期日程）

共通テストの成績、個別学力検査等の成績及び調査書の内容を総合判定して、入学者を選抜します（それぞれの学部の「1. 一般選抜（前期日程・後期日程）令和9年度入学者選抜の実施教科・科目等」を参照）。

（2）特別選抜

① 総合型選抜

ア 総合型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）

学 部 名	学 科 等 名
教 育 学 部	学校教育教員養成課程 小学校教育コース 学校教育専攻，教科教育専攻（国語教育専修，社会科教育専修，数学教育専修，理科教育専修，音楽教育専修，美術教育専修，保健体育専修，技術教育専修，生活科学教育専修，英語教育専修）
工 学 部	工学科（機械工学コース，エネルギー機械工学コース，電気システム工学コース，電子情報通信コース，環境都市工学コース，建築学コース，知能情報コース）

イ 総合型選抜Ⅱ（共通テストを課す）

学 部 名	学 科 等 名
農 学 部	亜熱帯地域農学科，亜熱帯農林環境科学科，地域農業工学科， 亜熱帯生物資源科学科

上記ア・イともに、入学志願者の能力・適性や学習に対する意欲、目的意識等を総合判定して入学者を選抜します（実施学部のページを参照）。

② 学校推薦型選抜

※国公立大学の学校推薦型選抜は、共通テストを課すもの及び課さないものを含め、1つの大学・学部
にしか出願できません。

アー1 学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）

学 部 名	学 科 等 名
国際地域創造学部	国際地域創造学科（昼間主コース・夜間主コース）
教 育 学 部	学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻 技術教育専修
農 学 部	亜熱帯地域農学科，亜熱帯農林環境科学科，地域農業工学科， 亜熱帯生物資源科学科（健康栄養科学コースを除く）

アー2 学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）「英語重視」

学 部 名	学 科 等 名
教 育 学 部	学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻 英語教育専修

上記アー1・2の学部・学科等において，高等学校等の長の推薦に基づき，共通テストを免除し，個別学力検査等の成績を総合判定して入学者を選抜します（実施学部のページを参照）。

イ 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）

学 部 名	学 科 等 名
人 文 社 会 学 部	国際法政学科（法学プログラム，政治・国際関係学プログラム），人間社会学科（哲学プログラム，心理学プログラム，社会学プログラム），琉球アジア文化学科
教 育 学 部	学校教育教員養成課程 小学校教育コース 学校教育専攻，特別支援教育コース 特別支援教育専攻 特別支援教育専修
理 学 部	物質地球科学科（物理系・地球環境系），海洋自然科学科（化学系・生物系）
医 学 部	医学科，保健学科
工 学 部	工学科（機械工学コース，エネルギー機械工学コース，電気システム工学コース， 電子情報通信コース，環境都市工学コース，建築学コース，知能情報コース）

上記イの学部・学科等において，高等学校等の長の推薦に基づき，共通テストの成績，各学部が定める個別学力検査等の成績を総合判定して，入学者を選抜します（実施学部のページを参照）。

③ 社会人特別選抜

学 部 名	学 科 等 名
国際地域創造学部	国際地域創造学科（夜間主コース）
工 学 部	工学科（機械工学コース，エネルギー機械工学コース，電気システム工学コース， 電子情報通信コース，環境都市工学コース，建築学コース，知能情報コース）

上記③の学部・学科等においては，共通テストを免除し，各学部が定める個別学力検査等の成績，志願理由書を総合判定して，入学者を選抜します（実施学部のページを参照）。

④ 帰国生徒特別選抜

学 部 名	学 科 等 名
人 文 社 会 学 部	国際法政学科，人間社会学科，琉球アジア文化学科
国際地域創造学部	国際地域創造学科（昼間主コース）
理 学 部	物質地球科学科（物理系・地球環境系），海洋自然科学科（化学系・生物系）
医 学 部	保健学科
農 学 部	亜熱帯地域農学科，亜熱帯農林環境科学科，地域農業工学科， 亜熱帯生物資源科学科（健康栄養科学コースを除く）

上記④の学部・学科等においては，共通テストを免除し，各学部が定める個別学力検査等の成績，成績証明書（調査書）を総合判定して，入学者を選抜します（実施学部のページを参照）。

⑤ 私費外国人留学生特別選抜

学 部 名	学 科 等 名
人 文 社 会 学 部	国際法政学科，人間社会学科，琉球アジア文化学科
国際地域創造学部	国際地域創造学科（昼間主コース）
理 学 部	数理科学科，物質地球科学科（物理系・地球環境系），海洋自然科学科（化学系・生物系）
医 学 部	保健学科
工 学 部	工学科（機械工学コース，エネルギー機械工学コース，電気システム工学コース，電子情報通信コース，環境都市工学コース，建築学コース，知能情報コース）
農 学 部	亜熱帯地域農学科，亜熱帯農林環境科学科，地域農業工学科， 亜熱帯生物資源科学科（健康栄養科学コースを除く）

上記⑤の学部・学科等においては，共通テストを免除し，独立行政法人日本学生支援機構が令和7年6月・11月及び，令和8年6月に実施した「日本留学試験」のいずれかの成績及び個別学力検査等の成績等を総合判定して，入学者を選抜します（106～108ページを参照）。

【5】令和9年度入学者選抜方法等

(1) 入学者選抜方法等（一般選抜、専門高校・総合学科卒業生選抜）

学部・学科等				選抜方法等		個 別 学 力 検 査 等							専門高校・総合学科卒業生選抜					個別学力検査等の日程	備 考			
						個別学力検査を課す	実技検査等				2段階選抜			個別学力検査を課す	実技検査等					募集人員		
							実技検査を課す	面接又は口頭試問を行う	小論文を課す	外国語におけるリスニングテストを課す	共通テストの成績により第1次段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う	第1次段階の選抜による合格者	定員に対する倍率		その他	実技検査を課す	面接又は口頭試問を行う				小論文を課す	外国語におけるリスニングテストを課す
人文社会学部	国 際 法 政 学 科			前期	○	×	×	×	×	実施しない	実施しない	2月25日	追加合格を実施して、なお欠員がある場合には、欠員補充第2次募集を行うことがある									
				後期	×	×	×	○	×					2月25日								
	人 間 社 会 学 科			前期	×	×	×	○	×						3月12日							
				後期	×	×	○	×	×							2月25日						
	琉 球 ア ジ ア 文 化 学 科			前期	×	×	○	○	×								2月25日 2月26日					
				後期	×	×	○	×	×					3月12日								
国際地域創造学部	昼間主コース	国際地域創造学科	(国際的思考系)		前期	○	×	×	×	実施しない	実施しない	2月25日	追加合格を実施して、なお欠員がある場合には、欠員補充第2次募集を行うことがある									
					後期	×	×	×	○						×	3月12日						
			(論理的思考系)		前期	×	×	×	○						×		2月25日					
					後期	×	×	×	○					×	3月12日							
	(数学的思考系)		前期	○	×	×	×	×	2月25日													
			後期	×	×	×	○	×						2月25日								
	夜間主コース	国際地域創造学科	(国際的思考系)		前期	○	×	×								×	×	実施しない	実施しない	2月25日	追加合格を実施して、なお欠員がある場合には、欠員補充第2次募集を行うことがある	
					後期	×	×	×							○	×	3月12日					
			(論理的思考系)		前期	×	×	×	○						×	2月25日						
					後期	×	×	×	○					×	3月12日							
教育学部			学校教育教員養成課程	小学校教育コース	学 校 教 育 専 攻		前期	×	×	○	○	×	実施しない	実施しない								2月25日 2月26日 注3, 4, 6 参照
							小学校教育コース・中学校教育コース	教科教育専攻	国語教育専修	前期	○	×					○					
	社会科教育専修	前期		×	×	○			○	×												
	数学教育専修	前期		○	×	○			×	×												
	理科教育専修	前期		○	×	○			×	×												
	音楽教育専修	前期		○	○	○			×	×												
	美術教育専修	前期		○	○	○			×	×												
	保健体育専修	前期		×	○	○			×	×												
	技術教育専修	前期		○	×	○			×	×												
	生活科学教育専修	前期		×	×	○	○	×														
英語教育専修	前期	○	×	○	×	×																
特別支援教育専修	前期	×	×	○	×	×																

学部・学科等			選抜方法等		個 別 学 力 検 査 等										専門高校・総合学科卒業生選抜						個別学力検査等の日程		備 考
					個別学力検査を課す	実技検査等				2段階選抜					個別学力検査を課す	実技検査等				募集人員			
						実技検査を課す	面接又は口頭試問を行う	小論文を課す	外国語におけるリスニングテストを課す	共通テストの成績により第1次段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う	第1次段階の選抜による合格者	定員に対する倍率	その他	実技検査を課す		面接又は口頭試問を行う	小論文を課す	外国語におけるリスニングテストを課す					
理 学 部	数 理 科 学 科	前期	○	×	×	×	×	実施しない					実施しない					2月25日		追加合格を実施して、なお欠員がある場合には、欠員補充第2次募集を行うことがある			
		後期	○	×	×	×	×											3月12日					
	物 質 地 球 科 学 科	前期	○	×	×	×	×											2月25日					
		後期物理系	×	×	×	×	×											注5参照					
		後期地球環境系	×	×	×	○	×											3月12日					
		海 洋 自 然 科 学 科	前期	○	×	×	×											×	2月25日				
	後期化学系		×	×	×	×	×											注5参照					
	後期生物系		×	×	×	○	×											3月12日					
	医 学 部	医 学 科	前期	○	×	○	×											×	○		約5倍	×	実施しない
後期			×	×	○	○	×	○	約10倍	×	2月26日												
保 健 学 科		前期	○	×	○	×	×	実施しない					3月12日										
		後期	×	×	○	○	×						2月25日										
工 学 部	工 学 科	前期	○	×	×	×	×	実施しない					実施しない					2月25日					
		後期	×	×	×	×	×											注5参照					
農 学 部	亜 熱 帯 地 域 農 学 科	前期	○	×	×	×	×	実施しない					実施しない					2月25日					
		後期	×	×	○	×	×											3月12日					
	亜 熱 帯 農 林 環 境 科 学 科	前期	○	×	×	×	×											2月25日					
		後期	×	×	○	×	×											3月12日					
	地 域 農 業 工 学 科	前期	○	×	×	×	×											2月25日					
		後期	×	×	○	×	×											3月12日					
	亜 熱 帯 生 物 資 源 科 学 科	前期	○	×	×	×	×											2月25日					
		後期	×	×	○	×	×											3月12日					
	健康栄養科学コース	前期	○	×	×	×	×											2月25日					
		後期	×	×	○	×	×											注5参照					

注：

- 印は実施する，×印は実施しないことを表します。
- 後期日程の人文社会学部琉球アジア文化学科の個別学力検査は，「口頭試問」を行います。
- 前期日程の教育学部学校教育教員養成課程小学校教育コース・中学校教科教育コース教科教育専攻（音楽教育専修・美術教育専修・保健体育専修）の試験実施方法は，「8. 実技検査等実施方法（教育学部）」（55～56ページ）を参照すること。
- 教育学部学校教育教員養成課程小学校教育コース・中学校教科教育コース教科教育専攻（英語教育専修）の面接は，一部英語による面接試験を行います。
- 後期日程の選抜で個別学力検査及び実技検査等を課さない場合は，共通テストの成績及び調査書の内容を総合して判定します。
- 教育学部の個別学力検査等の日程については，一部予備日を含みますので一般選抜学生募集要項を確認してください。

(2) 特別選抜の概要

学部・学科等			選抜方法等	学 校 推 薦 型 選 抜							総合型 選 抜		帰国生徒・社会人・ 私費外国人留学生 のための特別選抜			備考
				入学定員の一部について、出身高校等の長の推薦に基づき、学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する。												
				推薦Ⅰ	推薦Ⅱ	実 技 検 査 等				募 集 人 員	Ⅰ 共通テストを課さない	Ⅱ 共通テストを課す	帰国生徒	社会人	私費外国人留学生	
				個別学力検査を免除する	個別学力検査を課す	実技検査を課す	面接又は口頭試問を行う	小論文を課す	外国語におけるリスニングテストを課す							
人文社会学部	国際法政学科	法 学 プ ロ グ ラ ム		×	○	×	○	○	×	10名	×	×	○	×	○	
		政治・国際関係学プログラム		×	○	×	○	○	×	10名	×	×	○	×	○	
	人間社会学科	哲 学 プ ロ グ ラ ム		×	○	×	○	○	×	5名	×	×	○	×	○	
		心 理 学 プ ロ グ ラ ム		×	○	×	○	○	×	8名	×	×	○	×	○	
		社 会 学 プ ロ グ ラ ム		×	○	×	○	○	×	8名	×	×	○	×	○	
	琉 球 ア ジ ア 文 化 学 科		×	○	×	○	○	×	9名	×	×	○	×	○		
創造学地域	昼間主コース	国 際 地 域 創 造 学 科		○	×	×	○	○	×	50名	×	×	○	×	○	
	夜間主コース	国 際 地 域 創 造 学 科		○	×	×	○	○	×	13名	×	×	×	○	×	
教育学部	小学校教育コース	学 校 教 育 専 攻		×	○	×	○	○	×	※1 10名	○	×	×	×	×	
		中学校教育コース	教科教育専攻	国 語 教 育 専 修	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	社 会 科 教 育 専 修			×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	数 学 教 育 専 修			×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	理 科 教 育 専 修			×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	音 楽 教 育 専 修			×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	美 術 教 育 専 修			×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	保 健 体 育 専 修			×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
	技 術 教 育 専 修			○	×	×	○	×	×	2名	×	×	×	×	×	
	生 活 科 学 教 育 専 修			×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
英 語 教 育 専 修	○	×	×	○	×	×	1名	×	×	×	×	×				
特別支援教育コース	特別支援	特 別 支 援 教 育 専 修		×	○	×	○	×	×	3名	×	×	×	×		
理学部	数 理 科 学 科		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○		
	物質地球科学科	物 理 系	×	○	×	○	×	×	5名	×	×	○	×	○		
		地 球 環 境 系	×	○	×	○	×	×	3名	×	×	○	×	○		
	海洋自然科学科	化 学 系	×	○	×	○	×	×	14名	×	×	○	×	○		
生 物 系		×	○	×	○	×	×	1名	×	×	○	×	○			
医学部	医 学 科		×	○	×	○	○	×	※2 7名	×	×	×	×	×		
	保 健 学 科		×	○	×	○	×	×	9名	×	×	○	×	○		

学部・学科等			選抜方法等	学 校 推 薦 型 選 抜							総合型 選 抜		帰国生徒・社会人・ 私費外国人留学生 のための特別選抜			備考
				入学定員の一部について、出身高校等の長の推薦に基づき、学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する。							Ⅰ 共通テストを課さない	Ⅱ 共通テストを課す				
				推薦Ⅰ	推薦Ⅱ	実 技 検 査 等				募 集 人 員						
				個別学力検査を免除する	個別学力検査を課す	実技検査を課す	面接又は口頭試問を行う	小論文を課す	外国語におけるリスニングテストを課す							
工 学 部	工学科	機 械 工 学 コ ー ス	×	○	×	○	×	×	11名	○	×	×	○	○		
		エネルギー機械工学コース	×	○	×	○	×	×	7名	○	×	×	○	○		
		電気システム工学コース	×	○	×	○	×	×	9名	○	×	×	○	○		
		電 子 情 報 通 信 コ ー ス	×	○	×	○	×	×	7名	○	×	×	○	○		
		環 境 都 市 工 学 コ ー ス	×	○	×	○	×	×	10名	○	×	×	○	○		
		建 築 学 コ ー ス	×	○	×	○	×	×	10名	○	×	×	○	○		
		知 能 情 報 コ ー ス	×	○	×	○	×	×	14名	○	×	×	○	○		
農 学 部	亜熱帯地域農学科	亜 熱 帯 地 域 農 学 科	○	×	×	○	○	×	5名	×	○	○	×	○		
		亜 熱 帯 農 林 環 境 科 学 科	○	×	×	○	○	×	5名	×	○	○	×	○		
		地 域 農 業 工 学 科	○	×	×	○	○	×	5名	×	○	○	×	○		
		亜 熱 帯 生 物 資 源 科 学 科	○	×	×	○	○	×	6名	×	○	○	×	○		
		健康栄養科学コース	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×		

※1 沖縄県内地域指定推薦2名，一般推薦8名。
 ※2 募集人員の詳細については，5 ページ参照。

【6】学校推薦型選抜の推薦人員

学部	学 科 等				推 薦 人 員			
人文社会学部	国 際 法 政 学 科		法 学 プ ロ グ ラ ム	1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき2名以内。				
			政治・国際関係学プログラム	1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき2名以内。				
	人 間 社 会 学 科		哲 学 プ ロ グ ラ ム	1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき3名以内。				
			心 理 学 プ ロ グ ラ ム	1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき5名以内。				
			社 会 学 プ ロ グ ラ ム	1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき3名以内。				
	琉 球 ア ジ ア 文 化 学 科				1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき2名以内。			
創造国際学部地域	昼 間 主 コ ー ス	国 際 地 域 創 造 学 科			各高等学校等の長が推薦できる人数は、1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき昼間主は6名、夜間主は3名以内とします。ただし、専門高校卒業生枠については、昼間主は2名、夜間主は2名以内とし、専門高校卒業生枠は内数とします。			
	夜 間 主 コ ー ス	国 際 地 域 創 造 学 科						
教 育 学 部	学校教育教員養成課程	小 学 校 教 育 コ ー ス	学 校 教 育 専 攻		①沖縄県内地域指定推薦	1 高等学校等（定時制の課程を含む）の長が推薦できる人数は、制限しません。		
					②一 般 推 薦	1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は、制限しません。		
		中 学 校 教 育 コ ー ス	教科教育専攻	技 術 教 育 専 修 英 語 教 育 専 修		各専修とも1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は、制限しません。		
		特 別 支 援 教 育 コ ー ス	特別支援教育専攻	特別支援教育専修				
理 学 部	物 質 地 球 科 学 科		物 理 系		1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は、制限しません。			
			地 球 環 境 系					
	海 洋 自 然 科 学 科		化 学 系					
			生 物 系					
医 学 部	医 学 科				1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき3名以内。			
	保 健 学 科				1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき2名以内。			
工 学 部	工 学 科	機 械 工 学 コ ー ス			1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は、制限しません。			
		エネルギー機械工学コース						
		電気システム工学コース						
		電 子 情 報 通 信 コ ー ス						
		環 境 都 市 工 学 コ ー ス						
		建 築 学 コ ー ス						
		知 能 情 報 コ ー ス						
農 学 部	亜 熱 帯 地 域 農 学 科				各学科とも1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき2名以内。ただし、1 高等学校等から農学部推薦可能な人数は5名以内とします。			
	亜 熱 帯 農 林 環 境 科 学 科							
	地 域 農 業 工 学 科							
	亜熱帯生物資源科学科(健康栄養科学コースを除く)							

【7】令和9年度入学者選抜の実施教科・科目等

○「1. 一般選抜（前期日程・後期日程）令和9年度入学者選抜の実施教科・科目等」の読み方・留意事項
【共通テスト及び個別学力検査の教科・科目名の略記について】

共通テスト及び個別学力検査の教科・科目名は、以下のとおり略記しています。

大学入学共通テスト

教科	新教育課程による出題科目
国語→国	『国語』→『国』
地理歴史→地歴	『地理総合，地理探究』→『地総，地探』，『歴史総合，日本史探究』→『歴総，日探』， 『歴史総合，世界史探究』→『歴総，世探』， 『地理総合／歴史総合／公共』→『地総／歴総／公共』 『公共，倫理』→『公，倫』，『公共，政治・経済』→『公，政・経』
公民→公民	
数学→数	『数学Ⅰ，数学A』→『数Ⅰ，数A』，『数学Ⅱ』→『数Ⅱ』， 『数学Ⅱ，数学B，数学C』→『数Ⅱ，数B，数C』
理科→理	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』→『物基／化基／生基／地基』 『物理』→『物理』，『化学』→『化学』，『生物』→『生物』，『地学』→『地学』
外国語→外	『英語』→『英』，『ドイツ語』→『独』， 『フランス語』→『仏』，『中国語』→『中』， 『韓国語』→『韓』
情報→情	『情報Ⅰ』→『情報Ⅰ』

個別学力検査

教科	科目
国語→国	『国語』→「国」
数学→数	『数学（甲）』→「数（甲）」，『数学（乙）』→「数（乙）」，『数学』→「数」
理科→理	『物理基礎』→「物基」，『化学基礎』→「化基」，『生物基礎』→「生基」，『地学基礎』→「地基」 『物理』→「物理」，『化学』→「化学」，『生物』→「生物」，『地学』→「地学」
外国語→外	『英語』→「英」

1. 各学部・学科等共通

- （1）地理歴史・公民及び理科の試験時間において2科目を受験する場合は，解答順に前半に受験した科目を「第1解答科目」，後半に受験した科目を「第2解答科目」とします。
- （2）地歴・公民の科目『地総／歴総／公共』を選択する場合，出題範囲（「地理総合」，「歴史総合」，「公共」）のうち，いずれか2つを選択解答し，1科目とします。
- （3）本学が指定している教科，科目以外を「第1解答科目」としている場合は，その科目を利用できなくなり，受験資格がなくなります。
- （4）理科の「基礎を付した科目」とは『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を指し，いずれか2つを選択解答して1科目とします。
 また，「基礎を付していない科目」とは『物理』，『化学』，『生物』，『地学』を指します。
 同一名称を付した科目，すなわち物理基礎と物理，化学基礎と化学，生物基礎と生物，地学基礎と地学を選択することは認めません。
- （5）『英語』は，リーディングとリスニングが一体型となります。

2. 共通テストの利用教科・科目の得点の採用について

本学が指定する共通テストの利用教科・科目数	本学の指定した科目数を超えて受験した場合の取扱い
地理歴史・公民から1科目を選択する。	<u>地理歴史・公民から2科目を受験した場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を採用します。</u>
数学から1科目を選択する。	<u>数学から2科目を受験した場合は、受験した科目のうち、高得点の1科目を採用します。</u>
理科の「基礎を付していない科目」から1科目を選択する。	<u>理科から2科目を受験した場合は、受験した科目のうち「第1解答科目」の得点を採用します。</u>
理科の「基礎を付した科目」又は「基礎を付していない科目」から1科目を選択する。	
地理歴史・公民及び数学から2科目を選択する。 ＊人文社会学部 国際法政学科 後期日程 ＊人文社会学部 国際法政学科 学校推薦型選抜Ⅱ ＊国際地域創造学部（夜間主コース） 国際地域創造学科 後期日程	<u>地理歴史・公民及び数学から3科目以上受験した場合は、地理歴史・公民の「第1解答科目」の得点を採用後、地理歴史・公民の「第2解答科目」の得点若しくは数学の得点のうち、高得点の1科目を採用します。</u>

【「個別学力検査等」欄について】

教科・科目	出題範囲
国語	現代の国語，言語文化
数学(甲)	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C 数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学Aは全範囲 数学Bは「数列」 数学Cは「ベクトル」「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。 ※理学部数理科学科が後期日程において課す「数学」の出題範囲は，数学（甲）の出題範囲と同一とします。
数学(乙)	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C 数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Aは全範囲 数学Bは「数列」 数学Cは「ベクトル」を出題範囲とします。
物理基礎・物理	物理基礎と物理をあわせた範囲から出題します。
化学基礎・化学	化学基礎と化学をあわせた範囲から出題します。
生物基礎・生物	生物基礎と生物をあわせた範囲から出題します。
地学基礎・地学	地学基礎と地学をあわせた範囲から出題します。
英語	英語コミュニケーションⅠ，英語コミュニケーションⅡ，英語コミュニケーションⅢ 論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ

【「共通テスト・個別学力検査等の配点等」欄について】

- 「配点に＊印を付してある教科」は選択教科を表します。
- 外国語『英語』の配点比率について
 - 共通テストにおける外国語（英語）の【リーディング】と【リスニング】の配点比率については，原則として全学部1：1とし（教育学部学校教育教員養成課程小学校教育コース・中学校教育コース教科教育専攻社会科教育専修のみ3：1），その合計得点を各学部等の定める外国語の配点に換算して利用します。
 - 【リスニング】を受験しなかった場合の取扱いについては，【リスニング】は0点扱いとし，リーディングの得点のみを利用します。
 - 受験上の配慮によって【リスニング】受験を免除された者については【リーディング】の得点を利用して換算します。

【前年度の共通テストの成績利用について】

本学では，令和9年度入学者選抜において，前年度の共通テストの成績は利用しません。

【8】障がい等のある入学志願者（受験時における合理的配慮等）

障がい等を有する者、疾病・負傷等により受験上の配慮を必要とする志願者は、あらかじめ本学障がい学生支援室に「障がい等のある入学志願者の受験時における合理的配慮申請書」を郵送にて提出してください。

申請された配慮事項について、本学において検討し、その結果を「受験時における合理的配慮の検討結果通書」により郵送にて通知します。検討結果通知書の受領後は、記載事項を確認のうえ、同封の書類をご返送ください。

また、上記手続きには2～3週間を要します。合理的配慮の内容によっては対応にさらなる時間を要する場合があります。

なお、相談の内容によっては、本学の試験までに対応できず、配慮を希望される措置が講じられない場合がありますので、可能な限り早めに相談してください。事前相談は随時受け付けております。

（1）申請期限

選抜区分	期限（消印有効）
総合型選抜	令和8年 7月24日（金）
学校推薦型選抜、社会人特別選抜（令和8年12月試験実施）、 帰国生徒特別選抜（令和8年12月試験実施）、私費外国人留学生特別選抜	令和8年10月16日（金）
一般選抜、社会人特別選抜（令和9年2月試験実施）、 帰国生徒特別選抜（令和9年2月試験実施）	令和8年12月18日（金）

※申請期限後の書類については受理しませんのでご注意ください。

※共通テストで受験上の配慮申請が認められた場合でも、本学の障がい学生支援室へ申請が必要です。

なお、期限後に本学を志望することになった場合及び不慮の事故等により、障がい等を有することとなった場合は、その時点で速やかに相談してください。

（2）申請方法

以下の書類を障がい学生支援室へ「簡易書留」又は「レターパックプラス」で郵送してください。

- ①「障がい等のある入学志願者の受験時における合理的配慮申請書」（本学指定の様式）
- ②「医師からの意見書」（本学指定の様式）
- ③ その他相談する際に必要な参考資料

上記①及び②の本学指定の様式は、本学障がい学生支援室ホームページ（<https://g-support.std.u-ryukyu.ac.jp/>）「支援を希望される皆さまへ」よりダウンロードできます。

※共通テストで受けた配慮が分かる資料（配慮決定通知文の写し等）があれば提出してください。

※必要に応じて、追加資料の提出を依頼することもあります。

※本学が必要と判断した場合は、本学において志願者、保護者又はその立場を代弁し得る出身学校担当者等との面談等を行います。

問い合わせ先：琉球大学障がい学生支援室

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

電話 098-895-8750 FAX 098-895-8791

E-mail g-support@acs.u-ryukyu.ac.jp

【9】入試情報開示に関する事項

（1）入学試験問題及び解答例又は出題意図等

本学個別学力検査等の試験問題については、当該試験終了後、報道機関に提供します。

また、著作権法に抵触しない試験問題等については、令和9年5月頃に本学ホームページ（[入試情報]→[入試データ・過去問]）に掲載します。

著作権法に抵触する試験問題については、令和9年6月以降に、大学にて閲覧することができます。閲覧方法の詳細については、入試課にお問い合わせください。

（2）志願状況、合格者の成績（合格者の最高点、最低点、平均点）

各選抜における志願状況や、合格者の成績（大学入学共通テストと個別学力検査の総合点の最高点、最低点、平均点）を令和9年5月頃に本学ホームページ（[入試情報]→[入試データ・過去問]）に掲載します。ただし、合格者が少人数の学科等については、公表しない場合があります。

（3）試験成績開示

令和9年度入学者選抜に係る個人成績を、本学ホームページ（入試情報）個人成績開示サイトで、出願時に試験成績開示を希望した方に開示します。詳細については、各学生募集要項に掲載します。

【10】学生募集要項の発表時期について

学生募集要項の発表時期

出願手続、出願書類、個別学力検査等の実施日時及び試験場等を記載した「学生募集要項」を以下のとおり発表する予定です。

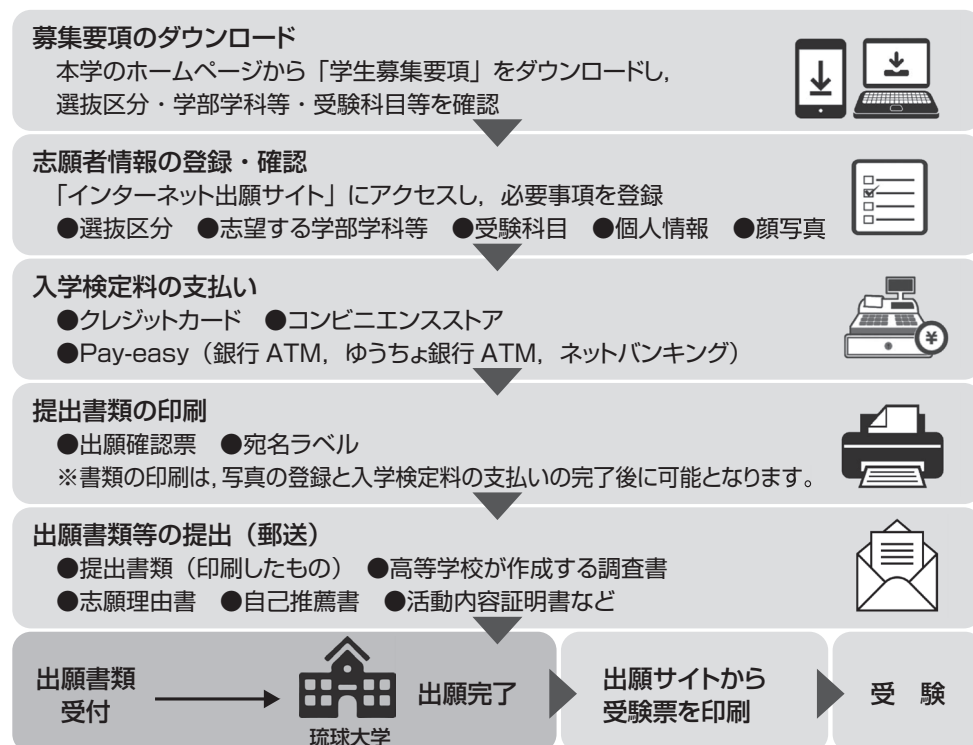
※本学ホームページ→[入試情報]で発表します。受験する選抜の学生募集要項を必ず確認してください。

学生募集要項	発表時期
総合型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）学生募集要項	令和8年 6月下旬
総合型選抜Ⅱ（共通テストを課す）学生募集要項	
学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）学生募集要項	令和8年 9月下旬
学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）学生募集要項	
社会人特別選抜学生募集要項	
帰国生徒特別選抜学生募集要項	
私費外国人留学生特別選抜学生募集要項	令和8年 12月上旬
一般選抜学生募集要項	

【11】出願方法について

琉球大学では、インターネット出願を実施しています。インターネット出願とは、インターネット出願サイトで志願者情報の登録を行って入学検定料を支払い、印刷した出願書類等を本学へ郵送することをいいます。インターネット出願サイトで志願者情報を登録するだけでは出願となりませんのでご注意ください。なお、各選抜区分の学生募集要項を本学ホームページに掲載します。インターネット出願サイトでの志願者情報登録前に各学生募集要項を必ず確認してください。

【出願の流れ】



《インターネット出願サイト》

<https://www.guide.52school.com/guidance/net-u-ryukyu/>
琉球大学入試情報ページ内「インターネット出願サイト」からアクセスできます。



インターネット出願サイトで登録できる期間は、次のページに記載しています。

* 登録期間以外は、登録できません。

《インターネット出願登録方法ガイド》

出願登録前に、本ガイドを必ずご参照ください。

<https://www.guide.52school.com/guidance/net-u-ryukyu/how/>

【出願の注意点】

インターネット出願サイトで登録後、入学検定料を支払い、出願書類等を本学へ郵送・受理されることで出願完了となりますので、ご注意ください。郵送した出願書類等の受付処理後、**本学が指定する期日に受験票を出願サイトに掲載します。受験票は自身でプリントアウトし、試験当日に必ず持参してください。受験票がダウンロード可能となる日付は、それぞれの選抜区分の「学生募集要項」で確認してください。**

※受験票の郵送はありません。

【12】「大学案内」の請求について

令和8年5月に発行された大学案内は、以下の方法で請求できます。

《テレメール》での請求（郵便配達を利用する場合）

① 本学ホームページから請求する場合

本学ホームページから  テレメールを利用して大学案内及び募集要項等の資料が請求できます。

詳しくは、本学ホームページ (<https://www.u-ryukyu.ac.jp> → [入試情報 リンク集]) をご覧ください。

② インターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）で請求する場合

インターネット (パソコン・スマートフォン・携帯電話)	https://telemail.jp パソコン・携帯電話とも共通アドレス	携帯電話でバーコードを読み取り、アクセスした場合は資料請求番号の入力は不要です。 
--------------------------------	---	--

③ テレメールでの請求方法に関する注意事項

○ 発送開始日以前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉に発送されます。その際は、発送開始日の翌日から3日程で資料が届きます。

○ 発送開始日以降に請求された資料は請求してから2～3日程で届きます。ただし、受付日時や地域、配達事情によっては、4日以上かかる場合もあります（お届けまでの日数は請求日の翌日を起算日とします）。なお、5日以上経っても届かない場合は、次頁テレメールカスタマーセンターへお問い合わせください。

○ 送料はお届けする資料に同封されている支払方法に従い、表示料金をお支払いください。支払い方法は「郵便局・ゆうちょ銀行での払込み」「コンビニ支払い」「ケータイ払い（携帯電話通話料金と一緒にのお支払い）」がご利用になれます。なお、支払いに際して手数料が別途必要になります（手数料は支払い方法によって異なります）。送料は資料の重量変更により変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

○請求時期によっては資料がなくなり、早期終了する場合がありますのであらかじめご了承ください。

テレメールでの請求方法についてのお問い合わせ先：

テレメールカスタマーセンター **IP電話** 050-8601-0102（9：30～18：00）

《モバっちょ》での請求（宅配を利用する場合）

① 本学のホームページから請求する場合

本学ホームページからモバっちょを利用して大学案内及び選抜要項等の資料が請求できます。詳しくは、本学ホームページ（[入試情報リンク集]）をご覧ください。

② インターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）で請求する場合

<https://djcm-b.jp/u-ryukyu3/>

パソコン・スマートフォン・携帯電話とも共通アドレス



※携帯電話の機種等によっては、利用できない場合があります。

※支払い方法は、携帯電話の場合は通話料金と一緒にのお支払い、パソコンの場合はクレジットカード決済のみとなります。

モバっちょでの請求方法についてのお問い合わせ先：

モバっちょカスタマーセンター 050-3540-5005（平日10：00～18：00）

【13】全学部の基本的な合否判定基準

※受験を希望する学部の合否判定基準については、各学部のページを確認してください。

一般選抜

- 共通テストの成績と個別学力検査等の成績の総合得点により、上位から順次合格者とします。
- 共通テスト及び個別学力検査等のいずれか1科目（実技検査、小論文、面接等を含む）でも欠席又は0点の者については、不合格とします。

総合型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）

- 個別学力検査等の成績の総合得点により、上位から順次合格者とします。
- 個別学力検査等のいずれか1科目（実技検査、小論文、面接等を含む）でも欠席又は0点の者については、不合格とします。

総合型選抜Ⅱ（共通テストを課す）

- 共通テスト及び個別学力検査等のいずれか1科目（実技検査、小論文、面接等を含む）でも欠席又は0点の者については、不合格とします。

学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）

- 個別学力検査等の成績の総合得点により、上位から順次合格者とします。
- 個別学力検査等のいずれか1科目（実技検査、小論文、面接等を含む）でも欠席又は0点の者については、不合格とします。

学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）

- 共通テストの成績と個別学力検査等の成績等、「学生募集要項」に記載された配点に基づく総合得点により、上位から順次合格者とします。（ただし、人文社会学部国際法政学科政治・国際関係学プログラム、人間社会学科、教育学部学校教育教員養成課程小学校教育コース学校教育専攻を除く）
- 共通テスト及び個別学力検査等のいずれか1科目（実技検査、小論文、面接等を含む）でも欠席又は0点の者については、不合格とします。

社会人特別選抜

- 個別学力検査等の成績の総合得点により、上位から順次合格者とします。
- 個別学力検査等（実技検査、小論文、面接等を含む）のいずれか1科目でも欠席又は0点の者については、不合格とします。

帰国生徒特別選抜

- 個別学力検査等の成績の総合得点により、上位から順次合格者とします。
- 個別学力検査等（実技検査、小論文、面接等を含む）のいずれか1科目でも欠席又は0点の者については、不合格とします。

私費外国人留学生特別選抜

- 日本留学試験及び個別学力検査等の成績の総合得点により、上位から順次合格者とします。
- 日本留学試験及び個別学力検査等（実技検査、小論文、面接等を含む）のいずれか1科目でも欠席又は0点の者については、不合格とします。

【14】各学部の入学者選抜について

人文社会学部

人文社会学部では、次の入学者選抜方法を実施します。

国際法政学科・人間社会学科・琉球アジア文化学科

(1) 一般選抜（前期日程・後期日程）

(2) 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）

※国際法政学科及び人間社会学科は、プログラムごとに実施します。

(3) 帰国生徒特別選抜

(4) 私費外国人留学生特別選抜

募集人員は次のとおりです。

学部	学科・課程・(選抜方式)等		入学定員 (名)	募 集 人 員 (名)								
				一般選抜		総合型選抜		学校推薦型選抜		社会人	帰国 生徒	私 費 外国人
				分離分割方式		共通テスト を課さない	共通テスト を課す	共通テスト を課さない	共通テスト を課す			
				前期日程	後期日程							
人 文 社 会 学 部	国際法政学科	法 学 プ ロ グ ラ ム	80	50	10				10		若干名	若干名
		政治・国際関係学 プ ロ グ ラ ム							10			
	人間社会学科	哲 学 プ ロ グ ラ ム	80	41	18				5		若干名	若干名
		心理学プログラム							8			
		社会学プログラム							8			
	琉 球 ア ジ ア 文 化 学 科		40	25	6				9		若干名	若干名
	計		200	116	34				50			

1. 一般選抜（前期日程・後期日程）	26ページ
2. 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）	27～29ページ
3. 帰国生徒特別選抜	30ページ
4. 私費外国人留学生特別選抜	30ページ
5. 個別学力検査等の採点・評価基準	31～32ページ
6. 合否判定基準	33ページ
7. 募集人員の留意事項	33～34ページ
8. 人文社会学部のプログラムの配属等について	35ページ

各選抜の出願手続、出願書類、個別学力検査等の実施日時及び試験会場等については、「学生募集要項」を必ず確認してください。

「学生募集要項」は本学ホームページに掲載します。（21ページ参照）

1. 一般選抜（前期日程・後期日程）
令和9年度入学選抜の実施教科・科目等

学科等名	学力検査 区 分	大学入学共通テスト				個別学力検査等			計	
		教科	科 目 名 等		配点	教科等	科目名等	配点		
国際法政 学科	前期	国	『国』			200	外	英	200	
		地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』から1			100	その他	調査書	50	
		公民	『公、倫』、『公、政・経』から1			100				
		数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ、数B、数C』から1			100				
		理	『物基／化基／生基／地基』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1（注）			100				
		外	『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から1			200				
		情	『情報Ⅰ』			100				
		配点合計				900	配点合計		250	1,150
	後期	国	『国』			200	その他	小論文	300	
		地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』から1			200		調査書	50	
		公民	『公、倫』、『公、政・経』から1							
		数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ、数B、数C』から1							
			※地歴、公民、数学から2科目選択する。							
外		『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から1			200					
情		『情報Ⅰ』			100					
	配点合計				700	配点合計		350	1,050	
人間社会 学科	前期	国	『国』			200	その他	小論文 調査書	200 50	
		地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』から2 ①※			200				
			『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』から1 ②※							
		公民	『公、倫』、『公、政・経』から1							
			※地歴・公民は、①②のいずれかを選択する。							
		数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ、数B、数C』から1			100				
		理	『物基／化基／生基／地基』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1（注）			100				
	外	『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から1			200					
	情	『情報Ⅰ』			100					
		配点合計				900	配点合計		250	1,150
	後期	国	『国』			200	その他	面接	200	
		地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』から2 ①※			200				
			『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』から1 ②※							
公民		『公、倫』、『公、政・経』から1								
		※地歴・公民は、①②のいずれかを選択する。								
数		『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ、数B、数C』から1			100					
理		『物基／化基／生基／地基』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1（注）			100					
外	『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から1			200						
情	『情報Ⅰ』			100						
	配点合計				900	配点合計		200	1,100	
琉球アジア 文化学科	前期	国	『国』			200	その他	小論文 面接 調査書	250 200 50	
		地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』から1			100				
		公民	『公、倫』、『公、政・経』から1			100				
		数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ、数B、数C』から1			50				
		理	『物基／化基／生基／地基』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1（注）			50				
		外	『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から1			200				
		情	『情報Ⅰ』			50				
		配点合計				750	配点合計		500	1,250
	後期	国	『国』			100	その他	口頭試問	200	
		地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』から1			50				
		公民	『公、倫』、『公、政・経』から1			50				
		数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ、数B、数C』から1			50				
		理	『物基／化基／生基／地基』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1（注）			50				
外		『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から1			100					
情		『情報Ⅰ』			50					
	配点合計				450	配点合計		200	650	

（注）理科の科目『物基／化基／生基／地基』を選択する場合、出題範囲（「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」）のうち、いずれか2つを選択解答し、1科目とします。

2. 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）

※国公立大学の学校推薦型選抜は、共通テストを課すもの及び課さないものを含め、1つの大学・学部にし
か出願できません。

学校推薦型選抜Ⅱ－1

実施学部 ・学科等	人文社会学部 国際法政学科		
募集人員	法学プログラム		10 名
	政治・国際関係学プログラム		10 名
出願要件	次の（１）～（３）に該当する者 （１）高等学校等(*)を令和 9 年 3 月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第 93 条第 3 項の規定に基づき令和 8 年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者 （２）学習成績・人物が優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、学習成績概評が A に属するもの （３）合格した場合は、入学することを確約できる者		
選抜方法等	高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績、個別学力検査等の成績を総合して選考します。ただし、政治・国際関係学プログラムでは、共通テストの合計点が 50％に満たない場合は不合格とします。		
	○共通テスト利用教科・科目（5教科5科目）		
	教科	科目名等	
	国	『国』	
	地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』から 1	
	公民	『公、倫』、『公、政・経』から 1	
	数	『数Ⅰ、数 A』、『数Ⅱ、数 B、数 C』から 1 ※地歴、公民、数学から 2 科目選択する。	
	外	『英』『独』『仏』『中』『韓』から 1	
	情	『情報Ⅰ』	
	○個別学力検査等		
・小論文 ・面接 ・調査書			
出願期間	令和 8 年 11 月 1 日（日）～11 月 6 日（金）		
選抜期日	令和 8 年 12 月 2 日（水）		
合格発表	令和 9 年 2 月 9 日（火）		
その他	各高等学校等の長が推薦できる人数は、1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につきプログラムごとに 2 名以内		

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の
高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指
定を受けた専修学校高等課程をいう。

実施学部・学科等	人文社会学部 人間社会学科																			
募集人員	哲学プログラム 5名																			
	心理学プログラム 8名																			
	社会学プログラム 8名																			
出願要件	次の(1)～(3)に該当する者 (1) 高等学校等(*)を令和9年3月卒業(修了)見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和8年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者 (2) 学習成績・人物が優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、学習成績概評がAに属するもの (3) 合格した場合は、入学することを確約できる者																			
選抜方法等	高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績、個別学力検査等の成績を総合して選考します。 ただし、共通テストの合計点が50％に満たない場合は不合格とします。 ○共通テスト利用教科・科目(6教科7科目又は7教科7科目) <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科</th><th>科目等</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国</td><td>『国』</td></tr> <tr> <td>地歴</td><td>『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』から2 ①※</td></tr> <tr> <td rowspan="2">公民</td><td>『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』から1 } ②※</td></tr> <tr> <td>『公、倫』、『公、政・経』から1</td></tr> <tr> <td></td><td>※地歴・公民は、①②のいずれかを選択する。</td></tr> <tr> <td>数</td><td>『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ、数B、数C』から1</td></tr> <tr> <td>理</td><td>『物基／化基／生基／地基』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1(注)</td></tr> <tr> <td>外</td><td>『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から1</td></tr> <tr> <td>情</td><td>『情報Ⅰ』</td></tr> </tbody> </table> (注) 理科の科目『物基／化基／生基／地基』を選択する場合、出題範囲(「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」)のうち、いずれか2つを選択解答し、1科目とします。 ○個別学力検査等 ・小論文 ・面接 ・調査書	教科	科目等	国	『国』	地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』から2 ①※	公民	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』から1 } ②※	『公、倫』、『公、政・経』から1		※地歴・公民は、①②のいずれかを選択する。	数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ、数B、数C』から1	理	『物基／化基／生基／地基』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1(注)	外	『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から1	情	『情報Ⅰ』
教科	科目等																			
国	『国』																			
地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』から2 ①※																			
公民	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』から1 } ②※																			
	『公、倫』、『公、政・経』から1																			
	※地歴・公民は、①②のいずれかを選択する。																			
数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ、数B、数C』から1																			
理	『物基／化基／生基／地基』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1(注)																			
外	『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から1																			
情	『情報Ⅰ』																			
出願期間	令和8年11月 1日(日)～11月 6日(金)																			
選抜期日	令和8年12月 2日(水)																			
合格発表	令和9年 2月 9日(火)																			
その他	各高等学校等の長が推薦できる人数は、1高等学校等(定時制及び通信制の課程を含む)につき哲学プログラム3名、心理学プログラム5名、社会学プログラム3名以内																			

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

実施学部・学科等	人文社会学部 琉球アジア文化学科																
募集人員	9 名																
出願要件	次の（１）～（３）に該当する者 （１）高等学校等(*)を令和９年３月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第９３条第３項の規定に基づき令和８年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者 （２）学習成績・人物が優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、学習成績概評がＡに属するもの （３）合格した場合は、入学することを確約できる者																
選抜方法等	高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績、個別学力検査等の成績を総合して選考します。 ○共通テスト利用教科・科目（７教科７科目） <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科</th><th>科目等</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国</td><td>『国』</td></tr> <tr> <td>地歴</td><td>『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』から１</td></tr> <tr> <td>公民</td><td>『公、倫』、『公、政・経』から１</td></tr> <tr> <td>数</td><td>『数Ⅰ、数Ⅱ』、『数Ⅲ、数Ⅳ』から１</td></tr> <tr> <td>理</td><td>『物基／化基／生基／地基』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から１（注）</td></tr> <tr> <td>外</td><td>『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から１</td></tr> <tr> <td>情</td><td>『情報Ⅰ』</td></tr> </tbody> </table> （注）理科の科目『物基／化基／生基／地基』を選択する場合、出題範囲（「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」）のうち、いずれか２つを選択解答し、１科目とします。 ○個別学力検査等 ・小論文 ・面接 ・調査書	教科	科目等	国	『国』	地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』から１	公民	『公、倫』、『公、政・経』から１	数	『数Ⅰ、数Ⅱ』、『数Ⅲ、数Ⅳ』から１	理	『物基／化基／生基／地基』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から１（注）	外	『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から１	情	『情報Ⅰ』
教科	科目等																
国	『国』																
地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』から１																
公民	『公、倫』、『公、政・経』から１																
数	『数Ⅰ、数Ⅱ』、『数Ⅲ、数Ⅳ』から１																
理	『物基／化基／生基／地基』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から１（注）																
外	『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から１																
情	『情報Ⅰ』																
出願期間	令和８年１１月 １日（日）～１１月 ６日（金）																
選抜期日	令和８年１２月 ２日（水）																
合格発表	令和９年 ２月 ９日（火）																
その他	各高等学校等の長が推薦できる人数は、１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき２名以内																

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

3. 帰国生徒特別選抜

帰国生徒特別選抜－ 1

実施学部・学科等	人 文 社 会 学 部	国際法政学科，人間社会学科，琉球アジア文化学科
募集人員	若 干 名	
出 願 要 件	日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で，保護者の海外勤務等の事情により外国に2年以上滞在しており，次のいずれかに該当するもの。ただし，<u>令和8年1月20日以前に帰国（一時的な短期の帰国を除く。）</u>した者は，出願を認めない。 (1) 学校教育における12年の課程を修了した者又は令和9年3月31日までに修了見込みの者で，原則として，外国において最終学年を含め，2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けているもの（ただし，外国に設置されたものであっても，日本の学校教育法に準拠した教育を実施している学校に在学して教育を受けた期間は，「2年以上」という期間には算入しない。）若しくは外国において当該国における12年の課程修了相当の学力認定試験に合格し，令和9年3月31日までに18歳に達する者 (2) 外国において，スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を授与された者，ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を取得した者，フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を取得した者及びグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCE-Aレベル）を取得した者 (3) 本学において，個別の入学資格審査により入学資格認定書の交付を受けた者 ○上記（3）に該当する志願者は，10ページの入学資格審査を参照すること。	
選抜方法等	共通テストを免除し，成績証明書（調査書），小論文及び面接を総合して選考します。	
出 願 期 間	令和8年11月 1日（日）～11月 6日（金）	
選 抜 期 日	令和8年12月 2日（水）	
合 格 発 表	令和8年12月11日（金）	
そ の 他	1. 出願書類 (1) 出願確認票，卒業（修了）証明書又は同見込み証明書，成績証明書，身上記録，保護者の在外勤務などに関する証明書等 (2) 国際バカロレア資格を取得した者は，その証明書の写しと最終試験6科目の成績評価証明書 (3) アビトゥア資格を取得した者は，一般的大学入学資格証明書（Zeugnis der Allgemeinen Hochschulreife）の写し (4) バカロレア資格（フランス共和国）を取得した者は，その証明書の写し (5) ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCE-Aレベル）を有する者は，成績評価証明書 ※ 外国の学校又は機関が作成する書類について，日本語以外の場合は，日本語訳を添付すること。 ※ 表彰を受けた者は，関係書類の写しを添付すること。 2. 本学他学部・学科等の帰国生徒特別選抜との併願は認めない。	

4. 私費外国人留学生特別選抜

人文社会学部では，私費外国人留学生特別選抜を実施します。詳細は，106～108ページを参照してください。

5. 個別学力検査等の採点・評価基準

① 教科・科目

外国語	○読解問題では、情報や概念などを理解する力、概要や要点を捉える力、文章の論理的な構成を理解する力を語彙、文法、論理性の観点から総合的に評価します。 ○口頭表現問題では、場面や目的に応じた基本的な慣用句や熟語、英語的言い回しの習熟度等の観点から評価します。 ○作文問題では、内容、文章構成力、表現力の観点から評価します。 ○綴りや文法上誤りがあり、解答が完全に正しくない場合でもコミュニケーションの観点から理解可能であれば誤りの度合いに応じた部分点を与えます。
-----	---

② 教科・科目以外の科目

※「帰国」は帰国生徒特別選抜、「私費」は私費外国人留学生特別選抜を意味します。

1) 人文社会学部

ア) 国際法政学科

一般選抜	調査書 (前期日程、 後期日程)	○総合的な学習を含む学業成績を評価します。
	小論文 (後期日程)	○理解力、考察力、論理的思考力、記述力、完結度等を評価します。 ○誤字、脱字及び指定の字数の過不足は減点の対象となります。
学校推薦型 選抜Ⅱ	小論文	○理解力、考察力、論理的思考力、記述力、完結度等を評価します。 ○誤字、脱字及び指定の字数の過不足は減点の対象となります。
	面接	○意欲、目的意識、適性、表現力等を評価します。
	調査書	○総合的な学習を含む学業成績を評価します。
	推薦書	○受験者の人物、学校生活状況、学業成績、課外活動・特技・資格等を評価します。面接の評価に含めます。
	志願理由書	○進学のための目的、将来の計画及び長所・特技等を評価します。面接の評価に含めます。
帰国	小論文	○理解力、考察力、論理的思考力、記述力、完結度等を評価します。 ○誤字、脱字及び指定の字数の過不足は減点の対象となります。
	面接	○意欲、目的意識、適性、表現力等を評価します。
	成績証明書等	○学業成績、就学状況、課外活動、特技・資格等を評価します。面接の評価に含めます。
	志願理由書	○進学のための目的、将来の計画及び長所・特技等を評価します。面接の評価に含めます。
私費	面接	○進学の動機、学習意欲、日本語能力を総合的に評価します。
	志願理由書	○面接の参考にします。

イ) 人間社会学部

一般選抜	小論文 (前期日程)	○理解力、考察力、論理的思考力、記述力、構成力等を評価します。 ○誤字、脱字及び指定の字数の過不足は減点の対象となります。
	調査書 (前期日程)	○学業成績等を評価します。
	面接 (後期日程)	○意欲、目的意識、適性、表現力等を評価します。なお調査書も本学部のアドミッション・ポリシーに照らして確認し、面接の参考資料とします。

学校推薦型 選 抜 II	小 論 文	○理解力，考察力，論理的思考力，記述力，構成力等を評価します。 ○誤字，脱字及び指定の字数の過不足は減点の対象となります。
	面 接	○意欲，目的意識，適性，表現力等を評価します。
	調 査 書	○学業成績を評点化するほか，特別活動の記録や総合的な学習の時間の内容・評価，部活動やボランティア活動，取得資格，検定など，調査書の他の記載事項も本学部のアドミッション・ポリシーに照らして確認し，面接の参考資料とします。
	推 薦 書	○学業，人物，課外活動等について，面接の基礎資料とし，面接の評価に含みます。
	志 願 理 由 書	○目的意識，意欲，志望に至った経緯，記述力等について面接の基礎資料とし，面接の評価に含みます。
帰 国	小 論 文	○理解力，考察力，論理的思考力，記述力，構成力等を評価します。 ○誤字，脱字及び指定の字数の過不足は減点の対象となります。
	面 接	○意欲，目的意識，適性，表現力等を評価します。
	成績証明書等	○学業成績，就学状況，課外活動，特技・資格等を評価します。
	志 願 理 由 書	○面接の参考にします。
私 費	面 接	○進学動機，学習意欲，日本語能力を総合的に評価します。
	志 願 理 由 書	○面接の参考にします。

ウ) 琉球アジア文化学科

一 般 選 抜	小 論 文 (前期日程)	○理解力，考察力，論理的思考力，記述力，完結度等を評価します。 ○誤字，脱字及び指定の字数の過不足は減点の対象となります。
	面 接 (前期日程)	○意欲，目的意識，適性，表現力等を評価します。
	調 査 書 (前期日程)	○「全体の学習成績の状況」を点数化します。
	口 頭 試 問 (後期日程)	○論理的思考力，積極性，表現力等を評価します。
学校推薦型 選 抜 II	小 論 文	○理解力，考察力，論理的思考力，記述力，完結度等を評価します。 ○誤字，脱字及び指定の字数の過不足は減点の対象となります。
	面 接	○意欲，目的意識，適性，表現力等を評価します。
	調 査 書	○「全体の学習成績の状況」を点数化します。
	推 薦 書	○学業，課外活動及び特技等を考慮して総合的に評価し，面接の評価にも含みます。
	志 願 理 由 書	○志願理由・動機，将来計画及び長所・特技・アピール点等を総合的に評価し，面接の評価に含みます。
帰 国	小 論 文	○理解力，考察力，論理的思考力，記述力，完結度等を評価します。 ○誤字，脱字及び指定の字数の過不足は減点の対象となります。
	面 接	○意欲，目的意識，適性，表現力等を評価します。
	成績証明書等	○学業成績，就学状況，課外活動，特技・資格等を評価します。
	志 願 理 由 書	○面接の参考にします。
私 費	小 論 文	○理解力，考察力，論理的思考力，記述力，完結度等を評価します。 ○誤字，脱字及び指定の字数の過不足は減点の対象となります。
	面 接	○進学動機，学習意欲，日本語能力を総合的に評価します。
	志 願 理 由 書	○面接の参考にします。

6. 合否判定基準

全学に適用される全学部的基本的な合否判定基準（24ページ）も併せて参照してください。

ア) 国際法政学科

一般選抜	○総合得点が同点の場合は、次の順序に従って順位付けを行います。 1. 共通テストの得点上位者 2. 上記が同点の場合は同順位とし、その順位が合格者の最下位である場合は、全員合格とします。
学校推薦型 選抜Ⅱ	○共通テストの成績、小論文、面接及び出願書類を総合的に判定します。 ○政治・国際関係学プログラムは、共通テストの合計点が50％に満たない場合は不合格とします。
帰国	○小論文、面接及び出願書類を総合的に判定します。
私費	○日本留学試験及び面接を総合的に判定します。

イ) 人間社会学科

一般選抜	○総合得点が同点の場合は、次の順序に従って順位付けを行います。 1. 共通テストの得点上位者 2. 上記が同点の場合は同順位とし、その順位が合格者の最下位である場合は、全員合格とします。
学校推薦型 選抜Ⅱ	○共通テストの成績、小論文、面接及び出願書類を総合的に判定します。 ○共通テストの合計点が50％に満たない場合は不合格とします。
帰国	○小論文、面接及び出願書類を総合的に判定します。
私費	○日本留学試験及び面接を総合的に判定します。

ウ) 琉球アジア文化学科

一般選抜	○総合得点が同点の場合は、次の順序に従って順位付けを行います。 1. 共通テストの得点上位者 2. 上記が同点の場合は同順位とし、その順位が合格者の最下位である場合は、全員合格とします。
学校推薦型 選抜Ⅱ	○共通テストの成績、小論文、面接及び出願書類を総合的に判定します。
帰国	○小論文、面接及び出願書類を総合的に判定します。
私費	○日本留学試験、小論文及び面接を総合的に判定します。

7. 募集人員の留意事項

(1) 人文社会学部では、各学科単位で募集を行い、1年次の間は合格した学科に配属されます。

1年次後学期を終了した時点で、本人の希望と1年次の成績等に基づき、2年次前学期から各プログラムに配属されます。

(2) 国際法政学科、人間社会学科の学校推薦型選抜Ⅱでは、プログラム単位で募集します。この選抜で入学した学生は、2年次前学期から合格したプログラムに配属されます。

(3) 定員補充について

① 以下の特別選抜の入学手続き者が募集人員に満たなかった場合は、以下の選抜区分で満たない分の募集人員を補充します。

学 科	募集人員に満たなかった選抜区分	満たない分の募集人員の 補充を行う選抜区分
国 際 法 政 学 科 人 間 社 会 学 科 琉球アジア文化学科	学校推薦型選抜Ⅱ	一般選抜（前期日程）

②以下の特別選抜の募集人員（若干名）は以下の選抜区分の募集人員に含みます。

学 科	該当する特別選抜	特別選抜の募集人員を含む選抜区分
国 際 法 政 学 科 人 間 社 会 学 科 琉球アジア文化学科	帰国生徒特別選抜	一般選抜（前期日程）
	私費外国人留学生特別選抜	一般選抜（後期日程）

（４）欠員補充

入学手続完了者が入学定員に達しなかった場合に、追加合格を実施してなお欠員がある場合は、欠員補充第２次募集を行うことがあります。

８．人文社会学部のプログラムの配属等について

人文社会学部では、１年次の間は合格した学科に配属されます。１年次後学期を終了した時点で、本人の希望と１年次の成績等に基づき、２年次前学期から下記の表のとおり各プログラムに配属されます。ただし、下記に示すプログラムの受入人数は目安であり、各プログラムへの配属数は最終的に変動する場合があります。また、学生本人の成績やプログラムの受入人数等により、全学生の希望どおりの配属とならない可能性があります。

全ての学生は、２年次前学期から各プログラムに配属されます。

国 際 法 政 学 科	法学プログラム	４０名
	政治・国際関係学プログラム	４０名
人 間 社 会 学 科	哲学プログラム	２０名
	心理学プログラム	３０名
	社会学プログラム	３０名
琉球アジア文化学科	歴史・民俗学プログラム	１４名
	言語学プログラム	１３名
	文学プログラム	１３名

※国際法政学科、人間社会学科の学校推薦型選抜Ⅱで入学した学生は、２年次前学期から合格したプログラムに配属されます。

【14】各学部の入学者選抜について

国際地域創造学部

国際地域創造学部国際地域創造学科では、次の入学者選抜方法を実施します。

昼間主コース（国際的思考系，論理的思考系，数学的思考系）

- （１）一般選抜（前期日程：国際的思考系，論理的思考系，数学的思考系）
（後期日程：国際的思考系，論理的思考系）
- （２）学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）
- （３）帰国生徒特別選抜
- （４）私費外国人留学生特別選抜

夜間主コース（国際的思考系，論理的思考系）

- （１）一般選抜（前期日程：国際的思考系，論理的思考系）
（後期日程：国際的思考系，論理的思考系）
- （２）学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）
- （３）社会人特別選抜

募集人員は次のとおりです。

学部	学科・課程・(選抜方式)等			入学 定員 (名)	募 集 人 員 (名)								
					一般選抜		総合型選抜		学校推薦型選抜		社会人	帰国 生徒	私 費 外国人
分離分割方式		共通テスト を課さない	共通テスト を課す	共通テスト を課さない	共通テスト を課す								
前期日程	後期日程												
国際地域創造学部	昼間主 コース	国際地域創造学科	(国際的思考系)	265	60	15			50		若干名	若干名	
			(論理的思考系)		90	20							
			(数学的思考系)		30								
	夜間主 コース	国際地域創造学科	(国際的思考系)	80	20	5			13	10			
			(論理的思考系)		24	8							
	計				345	224	48			63	10		

１．一般選抜（前期日程・後期日程）	３６～３７ページ
２．学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）	３８ページ
３．社会人特別選抜（夜間主コースのみ）	３９ページ
４．帰国生徒特別選抜	４０ページ
５．私費外国人留学生特別選抜	４１ページ
６．個別学力検査等の採点・評価基準	４１～４２ページ
７．可否判定基準	４２ページ
８．募集人員の留意事項	４２～４３ページ
９．国際地域創造学部のプログラムの配属等について	４３～４４ページ

各選抜の出願手続，出願書類，個別学力検査等の実施日時及び試験会場等については、「学生募集要項」を必ず確認してください。

「学生募集要項」は本学ホームページに掲載します。（２１ページ参照）

1. 一般選抜（前期日程・後期日程） 令和9年度入学者選抜の実施教科・科目等

学科等名	学力検査 区 分	大学入学共通テスト				個別学力検査等			計	
		教科	科 目 名 等		配点	教科等	科目名等	配点		
国際地域創造学科 (昼間主) 国際的思考系	前期	国	『国』			200	外	英	200	
		地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』から2 ①※			200	その他	調査書	50	
			『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』から1 ②※							
		公民	『公、倫』、『公、政・経』から1							
			※地歴・公民は、①②のいずれかを選択する。 * 1科目100点							
		数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ、数B、数C』から1			100				
		理	『物基／化基／生基／地基』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1 (注)			100				
		外	『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から1			200				
	情	『情報Ⅰ』			100					
	配点合計					900	配点合計		250	1,150
	後期	国	『国』			200	その他	小論文 (英語資料読解) 調査書	300 50	
		地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』から2 ①※			200				
			『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』から1 ②※							
		公民	『公、倫』、『公、政・経』から1							
※地歴・公民は、①②のいずれかを選択する。 * 1科目100点										
数		『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ、数B、数C』から1			100					
理		『物基／化基／生基／地基』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1 (注)			100					
外		『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から1			200					
情	『情報Ⅰ』			100						
配点合計					900	配点合計		350	1,250	
国際地域創造学科 (昼間主) 論理的思考系	前期	国	『国』			200	その他	小論文 調査書	200 50	
		地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』から2 ①※			200				
			『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』から1 ②※							
		公民	『公、倫』、『公、政・経』から1							
			※地歴・公民は、①②のいずれかを選択する。 * 1科目100点							
		数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ、数B、数C』から1			100				
		理	『物基／化基／生基／地基』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1 (注)			100				
		外	『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から1			200				
	情	『情報Ⅰ』			100					
	配点合計					900	配点合計		250	1,150
	後期	国	『国』			200	その他	小論文 調査書	300 50	
		地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』から2 ①※			200				
			『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』から1 ②※							
		公民	『公、倫』、『公、政・経』から1							
※地歴・公民は、①②のいずれかを選択する。 * 1科目100点										
数		『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ、数B、数C』から1			100					
理		『物基／化基／生基／地基』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1 (注)			100					
外		『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から1			200					
情	『情報Ⅰ』			100						
配点合計					900	配点合計		350	1,250	
国際地域創造学科 (昼間主) 数学的思考系	前期	国	『国』			200	数 その他	数 (乙) 調査書	200 50	
		地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』から2 ①※			200				
			『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』から1 ②※							
		公民	『公、倫』、『公、政・経』から1							
			※地歴・公民は、①②のいずれかを選択する。 * 1科目100点							
		数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ、数B、数C』から1			100				
		理	『物基／化基／生基／地基』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1 (注)			100				
		外	『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から1			200				
	情	『情報Ⅰ』			100					
	配点合計					900	配点合計		250	1,150

学科等名	学力検査 区分	大学入学共通テスト			個別学力検査等			計
		教科	科目名等	配点	教科等	科目名等	配点	
国際地域創造学科 (夜間主) 国際的思考系	前期	国	『国』	200	外	英	300	
		地歴	『地総、地探』, 『歴総、日探』, 『歴総、世探』 から 1	100	その他	調査書	50	
		公民	『公、倫』, 『公、政・経』 から 1	100				
		数	『数Ⅰ、数A』, 『数Ⅱ、数B、数C』 から 1	100				
		理	『物基／化基／生基／地基』, 『物理』, 『化学』, 『生物』, 『地学』から 1 (注)	100				
	後期	外	『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』 から 1	200				
		情	『情報Ⅰ』	100				
		配点合計			900	配点合計	350	
		国	『国』	200	その他	小論文	200	
		地歴	『地総、地探』, 『歴総、日探』, 『歴総、世探』 から 1	200		(英語資料読解) 調査書	50	
国際地域創造学科 (夜間主) 論理的思考系	前期	公民	『公、倫』, 『公、政・経』 から 1					
		数	『数Ⅰ、数A』, 『数Ⅱ、数B、数C』 から 1					
		理	『物基／化基／生基／地基』, 『物理』, 『化学』, 『生物』, 『地学』から 1 (注)					
		外	『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』 から 1					
		情	『情報Ⅰ』					
	後期	配点合計			650	配点合計	250	900
		国	『国』	200	その他	小論文	300	
		地歴	『地総、地探』, 『歴総、日探』, 『歴総、世探』 から 1	100		調査書	50	
		公民	『公、倫』, 『公、政・経』 から 1	100				
		数	『数Ⅰ、数A』, 『数Ⅱ、数B、数C』 から 1	100				
	前期	理	『物基／化基／生基／地基』, 『物理』, 『化学』, 『生物』, 『地学』から 1 (注)	100				
		外	『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』 から 1	200				
		情	『情報Ⅰ』	100				
		配点合計			900	配点合計	350	
		国	『国』	200	その他	小論文	200	
	後期	地歴	『地総、地探』, 『歴総、日探』, 『歴総、世探』 から 1	200		調査書	50	
		公民	『公、倫』, 『公、政・経』 から 1	200				
		数	『数Ⅰ、数A』, 『数Ⅱ、数B、数C』 から 1					
		理	『物基／化基／生基／地基』, 『物理』, 『化学』, 『生物』, 『地学』から 1 (注)					
		外	『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』 から 1	200				
	前期	情	『情報Ⅰ』	50				
		配点合計			650	配点合計	250	
		国	『国』	200	その他	小論文	200	
		地歴	『地総、地探』, 『歴総、日探』, 『歴総、世探』 から 1	200		調査書	50	
		公民	『公、倫』, 『公、政・経』 から 1					
	後期	数	『数Ⅰ、数A』, 『数Ⅱ、数B、数C』 から 1					
		理	『物基／化基／生基／地基』, 『物理』, 『化学』, 『生物』, 『地学』から 1 (注)					
		外	『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』 から 1	200				
		情	『情報Ⅰ』	50				
		配点合計			650	配点合計	250	

(注) 理科の科目『物基／化基／生基／地基』を選択する場合、出題範囲(「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」)のうち、いずれか2つを選択解答し、1科目とします。

2. 学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）

※国公立大学の学校推薦型選抜は、共通テストを課すもの及び課さないものを含め、1つの大学・学部にし
か出願できません。

学校推薦型選抜Ⅰ－1

実施学部 ・学科等	国際地域創造学部 国際地域創造学科	
	昼間主コース	夜間主コース
募集人員	50名（うち専門高校卒業生枠5名）	13名（うち専門高校卒業生枠2名）
出願要件	次の（１）～（３）に該当する者 （１）高等学校等(*)を令和9年3月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和8年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者 なお、専門高校卒業生枠にあっては高等学校の商業※または観光関連学科を令和9年3月に卒業見込みの者 ※商業については原則、商業科目25単位以上とする。ただし、外国語（上限）5単位を含めてもよい。 （２）学習成績・人物が優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦でき、学習成績概評がAに属する者 （３）合格した場合は、入学することを確約できる者	
選抜方法等	共通テストを免除し、高等学校等の長の推薦に基づき、個別学力検査等の成績を総合して選考します。 ○個別学力検査等 ・小論文 ・面接 ・調査書、推薦書 ・志願理由書	
出願期間	令和8年11月 1日（日）～11月 6日（金）	
選抜期日	令和8年12月 2日（水）	
合格発表	令和8年12月11日（金）	
その他	各高等学校等の長が推薦できる人数は、1高等学校（定時制及び通信制の課程を含む）につき昼間主は6名、夜間主は3名以内とします。 ただし、専門高校卒業生枠については、昼間主は2名、夜間主は2名以内とし、専門高校卒業生枠は内数とします。	

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

3. 社会人特別選抜（夜間主コースのみ）

社会人特別選抜－ 1

実施学部・学科等	国際地域創造学部 国際地域創造学科（夜間主コース）
募集人員	10 名
出願要件	次の各号の 1 つに該当する者で、令和 9 年 4 月 1 日現在、社会人の経験（注）を 2 年以上有するもの （注）全日制の学校に在籍していた期間は社会人経験期間に含みませんが、就職しながら定時制・通信制の学校に在籍していた期間及び家事・家業従事、非正規・パート職員として従事していた期間は社会人経験期間に含みます。 （1）高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和 9 年 3 月までに卒業見込みの者 （2）通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者又は令和 9 年 3 月までに修了見込みの者 （3）外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者若しくは、令和 9 年 3 月修了見込みの者又はこれに準じる者で文部科学大臣の指定したもの （4）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は令和 9 年 3 月までに修了見込みの者 （5）文部科学大臣が指定した者 （6）高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）により、文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）に基づく大学入学資格検定に合格した者を含む。） （7）本学において、個別の入学資格審査により入学資格認定書の交付を受けた者 ○上記（7）に該当する志願者は、10 ページの入学資格審査を参照すること。
選抜方法等	共通テストを免除し、個別学力検査等の成績を総合して選考します。 ○個別学力検査等 ・小論文 ・面接 ・調査書、志願理由書
出願期間	令和 8 年 11 月 1 日（日）～11 月 6 日（金）
選 抜 期 日	令和 8 年 12 月 2 日（水）
合 格 発 表	令和 8 年 12 月 11 日（金）

4. 帰国生徒特別選抜

帰国生徒特別選抜－1

実施学部・学科等	国際地域創造学部 国際地域創造学科（昼間主コース）
募集人員	若 干 名
出 願 要 件	日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務等の事情により外国に2年以上滞在しており、次のいずれかに該当するもの。ただし、令和9年1月20日以前に帰国（一時的な短期の帰国を除く）した者は、出願を認めない。 （1）学校教育における12年の課程を修了した者又は令和9年3月31日までに修了見込みの者で、原則として、外国において最終学年を含め、2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けているもの（ただし、外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を実施している学校に在学して教育を受けた期間は、「2年以上」という期間には算入しない。）若しくは外国において当該国における12年の課程修了相当の学力認定試験に合格し、令和9年3月31日までに18歳に達する者 （2）外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を授与された者、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を取得した者、フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を取得した者及びグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCE-Aレベル）を取得した者 （3）本学において、個別の入学資格審査により入学資格認定書の交付を受けた者 ○上記（3）に該当する志願者は、10ページの入学資格審査を参照すること。
選抜方法等	共通テストを免除し、成績証明書（調査書）、英語（筆記）及び面接を総合して選考します。
出 願 期 間	令和9年 1月18日（月）～1月22日（金）
選 抜 期 日	令和9年 2月25日（木）
合 格 発 表	令和9年 3月 6日（土）
そ の 他	1. 出願書類 （1）出願確認票、卒業（修了）証明書又は同見込み証明書、成績証明書、身上記録、保護者の在外勤務などに関する証明書等 （2）国際バカロレア資格を取得した者は、その証明書の写しと最終試験6科目の成績評価証明書 （3）アビトゥア資格を取得した者は、一般的大学入学資格証明書（Zeugnis der allgemeinen Hochschulreife）の写し （4）バカロレア資格（フランス共和国）を取得した者はその証明書の写し （5）ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCE-Aレベル）を有する者は、成績評価証明書 ※ 外国の学校又は機関が作成する書類について、日本語以外の場合は、日本語訳を添付すること。 ※ 表彰を受けた者は、関係書類の写しを添付すること。 2. 本学他学部・学科等の帰国生徒特別選抜との併願は認めない。

5. 私費外国人留学生特別選抜

国際地域創造学部では、私費外国人留学生特別選抜を実施します。詳細は106～108ページを参照してください。

6. 個別学力検査等の採点・評価基準

① 教科・科目

外国語	○読解問題では、情報や概念などを理解する力、概要や要点を捉える力、文章の論理的な構成を理解する力を語彙、文法、論理性の観点から総合的に評価します。 ○口頭表現問題では、場面や目的に応じた基本的な慣用句や熟語、英語的言い回しの習熟度等の観点から評価します。 ○作文問題では、内容、文章構成力、表現力の観点から評価します。 ○綴りや文法上誤りがあり、解答が完全に正しくない場合でもコミュニケーションの観点から理解可能であれば誤りの度合いに応じた部分点を与えます。
数 学	○記述式の問題を出題することにより、数学の基本的な知識・技能・論理的思考力及び表現力が身についているかを評価します。 ○問題用紙に明記された配点に従って得点を合計します。 ○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与えます。 ○記述式の問題の場合、途中の推論及び計算を記述せずに結論（最終的な答え）のみを書いても得点を与えません。

② 教科・科目以外の科目

※「社会人」は社会人特別選抜、「帰国」は帰国生徒特別選抜、「私費」は私費外国人留学生特別選抜を意味します。

一 般 選 抜	小 論 文 (前期日程は論理的思考系のみ)	○理解力、考察力、論理的思考力、記述力、完結度等を評価し点数化します。 ○誤字、脱字及び指定の字数の過不足は減点の対象となります。
	調 査 書 (前期日程、後期日程)	○「全体の学習成績の状況」を点数化するだけでなく、「総合的な探究の時間の記録」、「特別活動の記録」、「指導上参考となる諸事項」等を本学部のアドミッション・ポリシーに照らし評価し点数化します。
学 校 推 薦 型 選 抜 I	小 論 文	○考察力や論理的思考力等を評価し点数化します。
	面 接	○学びに対する意欲、目的、志向性を総合的に評価し点数化します。
	調 査 書 推 薦 書	○「全体の学習成績の状況」を点数化するだけでなく、「総合的な探究の時間の記録」、「特別活動の記録」、「指導上参考となる諸事項」等を本学部のアドミッション・ポリシーに照らし、評価し点数化します。
	志願理由書	○学びに対する意欲、目的、志向性を総合的に評価し点数化します。
社 会 人	小 論 文	○考察力や論理的思考力等を評価し点数化します。
	面 接	○学びに対する意欲、目的、志向性を総合的に評価し点数化します。
	調 査 書	○学業成績全般、ならびに課外活動や社会的活動等を総合的に評価し点数化します。
	志願理由書	○志願理由、動機、これまでのキャリア及び将来計画等を評価し点数化します。

帰 国	英 語	○読解力, 記述力, 表現力等を評価し点数化します。
	面 接	○学びに対する意欲, 目的, 志向性を総合的に評価し点数化します。
	成績証明書等	○学業成績, 就学状況, 課外活動, 社会的活動等全般について本学部のアドミッション・ポリシーに照らし評価し点数化します。
私 費	面 接	○進学動機, 学習意欲, 基礎的な日本語及び英語能力を総合的に評価し点数化します。

7. 合否判定基準

全学部の基本的な合否判定基準（24ページ）も併せて参照してください。

国際地域創造学部

国際地域創造学科

一 般 選 抜	○同点者の順位決定は, 共通テストの外国語の得点で判断し判定します。
学校推薦型選抜Ⅰ	○小論文, 面接及び提出書類（調査書等）と合わせて総合的に判断し判定します。
社 会 人 （夜間主のみ）	○小論文, 面接及び提出書類と合わせて総合的に判断し判定します。
帰 国 （昼間主のみ）	○英語（筆記）, 面接及び提出書類（成績証明書等）と合わせて総合的に判断し判定します。
私 費 （昼間主のみ）	○日本留学試験, 面接の総合評価により判断し判定します。

8. 募集人員の留意事項

（1）国際地域創造学科（昼間主コース）の募集

学科一括で募集します。また, 一般選抜は, 学科一括で募集を行います, 選抜方式ごとに募集人員を設けています（募集人員は35ページ参照）。

選抜区分	選抜方式
一 般 選 抜（前期日程）	国際的思考系, 論理的思考系, 数学的思考系の3方式
一 般 選 抜（後期日程）	国際的思考系, 論理的思考系の2方式

どの選抜区分, 選抜方式で合格し入学しても, 入学後1年次後学期を終了した時点で, 本人の希望と2個学期（1年次後学期まで）の成績に基づきプログラムに配属されます。（プログラムの配属等についての詳細は43ページ「9. 国際地域創造学部のプログラムの配属等について」参照。）

（2）国際地域創造学科（夜間主コース）の募集

学科一括で募集します。また, 一般選抜は, 学科一括で募集を行います, 選抜方式ごとに募集人員を設けています（募集人員は35ページ参照）。

選抜区分	選抜方式
一 般 選 抜（前期日程）	国際的思考系, 論理的思考系の2方式
一 般 選 抜（後期日程）	国際的思考系, 論理的思考系の2方式

どの選抜区分, 選抜方式で合格し入学しても, 入学後1年次後学期を終了した時点で, 本人の希望と2個学期（1年次後学期まで）の成績に基づきプログラムに配属されます。（プログラムの配属等についての詳細は43ページ「9. 国際地域創造学部のプログラムの配属等について」参照。）

(3) 定員補充について

- ① 以下の特別選抜の入学手続き者が募集人員に満たなかった場合は、以下の選抜区分で満たない分の募集人員を補充します。

学 科	募集人員に満たなかった選抜区分	満たない分の募集人員の補充を行う選抜区分
国際地域 創造学科	学校推薦型選抜Ⅰ	一般選抜（前期日程）（それぞれ対応する昼間主コース・夜間主コース）の論理的思考系の募集人員
	社会人特別選抜	一般選抜（後期日程）（夜間主コース）の論理的思考系の募集人員

- ② 以下の特別選抜の募集人員（若干名）は以下の選抜区分の募集人員に含まれます。

学 科	該当する選抜区分	特別選抜の募集人員を含む選抜区分
国際地域 創造学科	帰国生徒特別選抜	一般選抜（前期日程）（昼間主コース）の国際的思考系の募集人員
	私費外国人留学生特別選抜	

(4) 欠員補充

入学手続完了者が入学定員に達しなかった場合に、追加合格を実施してなお欠員がある場合は、欠員補充第2次募集を行うことがあります。

9. 国際地域創造学部のプログラムの配属等について

国際地域創造学部は、昼間主コースと夜間主コースに分かれたうえで、学科一括で募集します。また、一般選抜は選抜方式ごとに募集人員を設けますが、どの選抜方式で合格し、入学してもプログラムの配属には影響しません。

【昼間主コース】

学科単位で募集を行い、1年次は学科に配属します。

1年次後学期を終了した時点で、本人の希望と2個学期（1年次後学期まで）の成績に基づき下記の5つのプログラムに配属を決定します。（全ての学生は、2年次前学期から各プログラムに配属されます。）

なお、配属までの学び方については、指導教員が「履修モデル」や「科目番号」等を活用しながら、配属を希望するプログラムに応じたカリキュラムの履修のアドバイスをを行います。

国際地域創造学科 （昼間主コース）	観光地域デザインプログラム	50名
	経営プログラム	60名
	経済学プログラム	65名
	国際言語文化プログラム	48名
	地域文化科学プログラム	42名

【夜間主コース】

学科単位で募集を行い、1年次は学科に配属します。

1年次後学期を終了した時点で、本人の希望と2個学期（1年次後学期まで）の成績等に基づき次の3つのプログラムに配属を決定します。（全ての学生は、2年次前学期から各プログラムに配属されます。）

なお、配属までの学び方については、指導教員が「履修モデル」や「科目番号」等を活用しながら、配属を希望するプログラムに応じたカリキュラムの履修のアドバイスをを行います。

国際地域創造学科 (夜間主コース)	経営プログラム	20名
	経済学プログラム	30名
	国際言語文化プログラム	30名

各プログラム（昼間主・夜間主）に記した人数は、受入人数の目安であり、各プログラムへの配属数は最終的に変動する場合があります。また、学生本人の成績やプログラムの受入人数等により、全学生の希望どおりの配属とならない可能性があります。

【14】各学部の入学者選抜について

教 育 学 部

教育学部では、次の入学者選抜方法等を実施します。

小学校教育コース 学校教育専攻

- (1) 一般選抜（前期日程） (2) 総合型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）
(3) 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）

小学校教育コース 教科教育専攻

- (1) 一般選抜（前期日程）専修ごとに募集します。 (2) 総合型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）

中学校教育コース 教科教育専攻

- (1) 一般選抜（前期日程）専修ごとに募集します。
(2) 学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）技術教育専修
(3) 学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）「英語重視」英語教育専修

特別支援教育コース 特別支援教育専攻

- (1) 一般選抜（前期日程） (2) 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）

募集人員は次のとおりです。

学部	学科・課程・（選抜方式）等			入学 定員 （名）	募集人員（名）										
					一般選抜		総合型選抜		学校推薦型選抜		社会人	帰国 生徒	私 費 外国人		
分離分割方式		共通テスト を課さない	共通テスト を課す	共通テスト を課さない	共通テスト を課す										
前期日程	後期日程														
教育学部	学校教育教員養成課程	小 学 コ ー ス 校	学 校 教 育 専 攻		140	35		5		10					
			小 学 校 教 育 コ ー ス ・ 中 学 校 教 育 コ ー ス 教科教育専攻	国 語 教 育 専 修		8（小4/中4）	小10								
		社 会 科 教 育 専 修		7（小4/中3）											
		数 学 教 育 専 修		9（小4/中5）											
		理 科 教 育 専 修		9（小4/中5）											
		音 楽 教 育 専 修		6（小3/中3）											
		美 術 教 育 専 修		6（小3/中3）											
		保 健 体 育 専 修		7（小4/中3）											
		技 術 教 育 専 修		3（小2/中1）				中2							
		生 活 科 学 教 育 専 修		6（小3/中3）											
		英 語 教 育 専 修		6（小4/中2）				中1英語重視							
		教 育 コ ー ス 支 援		教 育 特 別 専 攻 支 援		特別支援教育専修		7				3			
		計				140		109		15		3	13		

- 一般選抜（前期日程）…………… 46～48ページ
- 総合型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）…………… 49～50ページ
- 学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）
中学校教育コース 教科教育専攻 技術教育専修…………… 51ページ
- 学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）「英語重視」
中学校教育コース 教科教育専攻 英語教育専修…………… 52ページ
- 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）…………… 53～54ページ
- 実技検査等実施方法…………… 55～56ページ
- 個別学力検査等の採点・評価基準…………… 57～59ページ
- 合否判定基準…………… 60ページ
- 募集人員の留意事項…………… 60～61ページ
- 教育学部の専修の決定方法等について…………… 61ページ

各選抜の出願手続、出願書類、個別学力検査等の実施日時及び試験会場等については、「学生募集要項」を必ず確認してください。「学生募集要項」は本学ホームページに掲載します。（21ページ参照）

1. 一般選抜（前期日程・後期日程）
令和9年度入学選抜の実施教科・科目等

学科等名	学力検査 区分	大学入学共通テスト			個別学力検査等			計
		教科	科目名等	配点	教科等	科目名等	配点	
学校教育教員養成課程	前期	国	『国』	100	その他	小論文	200	
小学校教育コース		地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』	100		面接	150	
学校教育専攻		公民	『地総／歴総／公共』（注1）					
		公民	『公、倫』、『公、政・経』					
		数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ、数B、数C』から1	100				
		理	『物基／化基／生基／地基』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1（注2）	100				
		外	『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から1	100				
		情	『情報Ⅰ』	50				
		配点合計				配点合計	350	900
学校教育教員養成課程	前期	国	『国』	200	国	国	400	
小学校教育コース・中学校教育コース		地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』から2 ①※	200	その他	面接	100	
		公民	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』から1 ②※					
		公民	『公、倫』、『公、政・経』から1					
			※地歴・公民は、①②のいずれかを選択する。					
		数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ、数B、数C』から1	100				
教科教育専攻		理	『物基／化基／生基／地基』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1（注2）	100				
国語教育専修		外	『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から1	200				
		情	『情報Ⅰ』	100				
		配点合計				配点合計	500	1,400
学校教育教員養成課程	前期	国	『国』	200	その他	小論文	500	
小学校教育コース・中学校教育コース		地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』から1	200		面接	100	
		公民	『公、倫』、『公、政・経』から1	200				
		数	『数Ⅰ』、『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ、数B、数C』から1	100				
		理	『物基／化基／生基／地基』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1（注2）	100				
教科教育専攻		外	『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から1	200				
社会科教育専修		情	『情報Ⅰ』	100				
		配点合計				配点合計	600	1,700
学校教育教員養成課程	前期	国	『国』	200	数	数（甲）	500	
小学校教育コース・中学校教育コース		地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』	100	その他	面接	50	
		公民	『公、倫』、『公、政・経』					
		数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ、数B、数C』	200				
		理	『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から2	200				
教科教育専攻		外	『英』	200				
数学教育専修		情	『情報Ⅰ』	100				
		配点合計				配点合計	550	1,550
学校教育教員養成課程	前期	国	『国』	200	理	[物基・物理] [化基・化学] [生基・生物] [地基・地学] から1	200	
小学校教育コース・中学校教育コース		地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』	100				
		公民	『公、倫』、『公、政・経』					
		数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ、数B、数C』	200				
		理	『物基／化基／生基／地基』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から2（注2）	200	その他	面接	200	
教科教育専攻		外	『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から1	200				
理科教育専修		情	『情報Ⅰ』	100				
		配点合計				配点合計	400	1,400

学科等名	学力検査 区 分	大学入学共通テスト				個別学力検査等			計	
		教科	科 目 名 等		配点	教科等	科目名等	配点		
学校教育教員養成課程	前期	国	『国』			200	その他	実技検査	200	
小学校教育コース・中学校教育コース		地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』			100	その他	筆記試験	200	
		公民	『地総／歴総／公共』（注１）			から１		面接	200	
			『公、倫』、『公、政・経』							
			『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ、数B、数C』から１							
		数	『物基／化基／生基／地基』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から１（注２）			100				
理		『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から１			200					
教科教育専攻	外情	『情報Ⅰ』			100					
音楽教育専修	配点合計					800		配点合計	600	1,400
学校教育教員養成課程	前期	国	『国』			200	その他	実技検査	300	
小学校教育コース・中学校教育コース		地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』			100		筆記試験	300	
		公民	『地総／歴総／公共』（注１）			から１		面接	100	
			『公、倫』、『公、政・経』							
			『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ、数B、数C』から１							
		数	『物基／化基／生基／地基』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から１（注２）			100				
理		『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から１			200					
教科教育専攻	外情	『情報Ⅰ』			50					
美術教育専修	配点合計					750		配点合計	700	1,450
学校教育教員養成課程	前期	国	『国』			200	その他	実技検査	350	
小学校教育コース・中学校教育コース		地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』			100		面接	300	
		公民	『地総／歴総／公共』（注１）			から１		調査書	50	
			『公、倫』、『公、政・経』							
			『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ、数B、数C』							
		数	『物基／化基／生基／地基』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から１（注２）			200				
理		『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から１			200					
教科教育専攻	外情	『情報Ⅰ』			100					
保健体育専修	配点合計					900		配点合計	700	1,600
学校教育教員養成課程	前期	国	『国』			200	数	数（乙）	200	
小学校教育コース・中学校教育コース		地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』			50	その他	面接	200	
		公民	『地総／歴総／公共』（注１）			から１		調査書	100	
			『公、倫』、『公、政・経』							
			『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ、数B、数C』							
		数	『物基／化基／生基／地基』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から１（注２）			200				
理		『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から１			200					
教科教育専攻	外情	『情報Ⅰ』			100					
技術教育専修	配点合計					950		配点合計	500	1,450
学校教育教員養成課程	前期	国	『国』			200	その他	小論文	200	
小学校教育コース・中学校教育コース		地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』			100		面接（口頭試験（家庭総合）を含む）	200	
		公民	『地総／歴総／公共』（注１）			から１		調査書	100	
			『公、倫』、『公、政・経』							
			『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ、数B、数C』から１							
		数	『物基／化基／生基／地基』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から１（注２）			100				
理		『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から１			200					
教科教育専攻	外情	『情報Ⅰ』			100					
生活科学教育専修	配点合計					800		配点合計	500	1,300

学科等名	学力検査 区 分	大学入学共通テスト				個別学力検査等			計	
		教科	科 目 名 等		配点	教科等	科目名等	配点		
学校教育教員養成課程	前期	国	『国』			200	外	英	250	
		地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』から1			100	その他	一部英語による面接	200	
		公民	『公、倫』、『公、政・経』から1			100		調査書	50	
		数	『数Ⅰ』、『数Ⅰ、数A』から1			100				
		理	『物基／化基／生基／地基』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1（注2）			100				
		外	『英』			300				
		情	『情報Ⅰ』			100				
配点合計					1,000		配点合計	500	1,500	
学校教育教員養成課程	前期	国	『国』			200	その他	面接	200	
		地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』から1			50				
		公民	『公、倫』、『公、政・経』から1			50				
		数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ、数B、数C』			200				
		理	『物基／化基／生基／地基』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1（注2）			100				
		外	『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から1			200				
		情	『情報Ⅰ』			100				
配点合計					900		配点合計	200	1,100	

（注1）地歴・公民の科目『地総／歴総／公共』を選択する場合、出題範囲（「地理総合」、「歴史総合」、「公共」）のうち、いずれか2つを選択解答し、1科目とします。

（注2）理科の科目『物基／化基／生基／地基』を選択する場合、出題範囲（「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」）のうち、いずれか2つを選択解答し、1科目とします。また、同一名称を付した科目の選択は認めません。（例：「物理基礎」と「物理」、「化学基礎」と「化学」）

2. 総合型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）

総合型選抜Ⅰ－1

実施学部 ・学科等	教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 学校教育専攻
募集人員	5 名
出願要件	次の1～4すべてに該当する者 1. 次のいずれかに該当する者 （1）高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和9年3月31日までに卒業見込みの者 （2）通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和9年3月31日までに修了見込みの者 （3）学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者 2. 学業成績優秀で、全体の学習成績の状況（評定平均値）が3.5以上の者 3. 教育学部で学ぶための一定の基礎学力と強い意欲を持つ者 4. 合格した場合は入学することを確約できる者 ※1. の（3）に該当する志願者は、10ページの入学資格審査を参照すること。
選抜方法等	志願理由書，自己推薦書，調査書を参考にして第1次選考（個人面接）を行い，合格者に対し第2次選考（問題解決型グループワーク）を実施し，総合して選考します。 問題解決型グループワークでは，問題解決型の課題に沿ってグループ活動を行います。 1. 第1次選考・・・個人面接 2. 第2次選考・・・問題解決型グループワーク
出願期間	令和8年 9月 1日（火）～9月 3日（木）
選 抜 期 日	第1次選考 個人面接：令和8年 9月 8日（火）[9月10日（木）] 第2次選考 問題解決型グループワーク：令和8年 9月29日（火）[9月30日（水）] ※[]内は暴風警報等の発令等で期日に試験ができない場合の日程
合 格 発 表	第1次選考合格発表：令和8年 9月16日（水） 最 終 合 格 発 表：令和8年11月 1日（日）
そ の 他	入学前教育を実施します

実施学部・学科等	教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 教科教育専攻（地域教員希望枠）
募集人員	１０名
出願要件	次の１～５すべてに該当する者 １．次のいずれかに該当する者 （１）高等学校若しくは中等教育学校を令和７年４月以降に卒業した者及び令和９年３月３１日までに卒業（修了）見込みの者 （２）通常の課程による１２年の学校教育を令和７年４月以降に修了した者及び令和９年３月３１日までに修了見込みの者 （３）学校教育法施行規則（昭和２２年文部省令第１１号）第１５０条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で令和７年４月以降にこれに該当する者及び令和９年３月３１日までにこれに該当する見込みの者 ２．学業成績優秀で、全体の学習成績の状況が３.５以上の者 ３．卒業後に沖縄県の学校教育において得意教科をもつ小学校教員として貢献する、又は沖縄県において教科を通じた小中学校の連携を図れる学校教員となる、強い意欲がある者 ４．教育学部で学ぶための一定の基礎学力を持つ者 ５．合格した場合は入学することを確約できる者 ※１．の（３）に該当する志願者は、１０ページの入学資格審査を参照すること。
選抜方法等	沖縄県教育員会の協力を得て第１次選考（書類選考）を実施します。合格者に対し第２次選考（小論文及び個人面接）を実施し、第１次選考の得点と総合して選考します。 １．第１次選考：書類選考 志望理由書などの提出種類を参考にして「学びの履歴」報告書を評価し選考します。 ２．第２次選考 （１）小論文 沖縄県の学校教育における課題等に関する小論文（提示される課題には動画の視聴、あるいは簡単な資料を用いることもある） （２）個人面接
出願期間	令和８年 ９月 １日（火）～９月 ３日（木）
選抜期日	第２次選考：小論文及び面接：令和８年 ９月２９日（火）〔９月３０日（水）〕 ※〔 〕内は暴風警報等の発令等で期日に試験ができない場合の日程
合格発表	第１次選考合格発表：令和８年 ９月１６日（水） 最終合格発表：令和８年１１月 １日（日）
その他	入学前教育を実施します

3. 学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）

※国公立大学の学校推薦型選抜は、共通テストを課すもの及び課さないものを含め、1つの大学・学部にし
か出願できません。

学校推薦型選抜Ⅰ－1

実施学部 ・学科等	教育学部 学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻 技術教育専修
募集人員	2 名
出願要件	次の（１）～（３）に該当する者 （１）高等学校等（＊）を令和９年３月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第 ９３条第３項の規定に基づき令和８年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者 （２）学習成績・人物が優秀で、技術の分野に強い関心と勉学意欲を有し、出身高等学校等 の長が責任をもって推薦できる者で全体の学習成績の状況が３．５以上のもの （３）合格した場合は、入学することを確約できる者
選抜方法等	共通テストを免除し、高等学校等の長の推薦に基づき、個別学力検査等の成績を総合して 選考します。 ○ 個別学力検査等 ・口頭試問を含む面接 ・調査書
出願期間	令和８年１１月 １日（日）～１１月 ６日（金）
選抜期日	令和８年１２月 ２日（水）
合格発表	令和８年１２月１１日（金）
その他	１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は、制限しません。

＊「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の
高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指
定を受けた専修学校高等課程をいう。

4. 学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）（英語重視）

※国公立大学の学校推薦型選抜は、共通テストを課すもの及び課さないものを含め、1つの大学・学部にし
か出願できません。

学校推薦型選抜Ⅰ－2「英語重視」

実施学部 ・学科等	教育学部 学校教育教員養成課程 中学校教育コース 教科教育専攻 英語教育専修
募集人員	1 名
出願要件	次の（１）～（４）に該当する者 （１）高等学校等（＊）を令和９年３月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規第 ９３条第３項の規定に基づき令和８年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者 （２）学習成績・人物が優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で全体 の学習成績の状況が４．２以上のもの （３）次のいずれかに該当する者 ①実用英語技能検定試験で準１級以上を取得した者 ②TOEFL iBT Test で次の得点以上を取得した者 ２０２６年１月２０日以前の受験の場合（0-120）：61 ２０２６年１月２１日以降の受験の場合（1-6）：3.5 ③TOEIC Listening & Reading Test で600点以上を取得した者 （４）合格した場合は、入学することを確約できる者
選抜方法等	共通テストを免除し、高等学校等の長の推薦に基づき、個別学力検査等の成績を総合して 選考します。 ○ 個別学力検査等 ・面接（英語による面接） ・調査書
出願期間	令和８年１１月 １日（日）～１１月 ６日（金）
選抜期日	令和８年１２月 ２日（水）
合格発表	令和８年１２月１１日（金）
その他	1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は、制限しません。

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の
高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指
定を受けた専修学校高等課程をいう。

5. 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）

※国公立大学の学校推薦型選抜は、共通テストを課すもの及び課さないものを含め、1つの大学・学部しか出願できません。

学校推薦型選抜Ⅱ－1

実施学部・学科等	教育学部 学校教育教員養成課程 小学校教育コース 学校教育専攻																										
募集人員	沖縄県内地域指定推薦 2 名		一般推薦 8 名																								
出 願 要 件	いずれの推薦枠も、出身高等学校等の長が次の件について人物および能力等に責任を持って推薦できる者とする。 (1) 学習成績が優秀で、小学校教員として活躍する強い意欲およびそれにふさわしい資質を持つ者 (2) 児童の育成に熱意をもってあたり、地域の教育の担い手として活躍できる者として認めることができる者																										
	次の(1)～(5)に該当する者 (1) 高等学校等(*)を令和9年3月卒業(修了)見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和8年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者 (2) 沖縄県北部地域(大宜味村, 今帰仁村, 本部町, 名護市, 宜野座村)ならびに沖縄県内離島地域(宮古島市, 石垣市, 久米島町)に所在する高等学校を卒業見込みの者 (3) 学習成績・人物ともに優秀で、出身高等学校等の長が責任を持って推薦できる者で、全体の学習成績の状況が4.3以上のもの (4) 将来沖縄本島北部地域ならびに離島地域における小学校教育活動に貢献する強い意志がある者 (5) 合格した場合は、入学することを確約できる者	次の(1)～(4)に該当する者 (1) 高等学校等(*)を令和9年3月卒業(修了)見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和8年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者 (2) 学習成績・人物ともに優秀で、出身高等学校等の長が責任を持って推薦できる者で、全体の学習成績の状況が4.3以上のもの (3) 将来小学校教育活動に貢献する強い意志がある者 (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者																									
選 抜 方 法 等	高等学校等の長の推薦に基づき、個別学力検査等の成績を総合して選考します。 ただし、共通テストの合計点が50%に満たない場合は不合格とします。 ○共通テスト利用教科・科目(6教科6科目) <table><tr><td>教科</td><td colspan="2">科目等</td></tr><tr><td>国</td><td colspan="2">『国』</td></tr><tr><td>地歴</td><td colspan="2">『地総, 地探』, 『歴総, 日探』, 『歴総, 世探』</td></tr><tr><td>公民</td><td colspan="2">『地総／歴総／公共』(注1) 『公, 倫』, 『公, 政・経』</td></tr><tr><td>数</td><td colspan="2">『数Ⅰ, 数A』, 『数Ⅱ, 数B, 数C』から1</td></tr><tr><td>理</td><td colspan="2">『物基／化基／生基／地基』, 『物理』, 『化学』, 『生物』, 『地学』から1(注2)</td></tr><tr><td>外</td><td colspan="2">『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』から1</td></tr><tr><td>情</td><td colspan="2">『情報Ⅰ』</td></tr></table> (注1) 地歴・公民の科目『地総／歴総／公共』を選択する場合, 出題範囲(「地理総合」, 「歴史総合」, 「公共」)のうち, いずれか2つを選択解答し, 1科目とします。 (注2) 理科の科目『物基／化基／生基／地基』を選択する場合, 出題範囲(「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」)のうち, いずれか2つを選択解答し, 1科目とする。 ○個別学力検査等 ・小論文 ・面接			教科	科目等		国	『国』		地歴	『地総, 地探』, 『歴総, 日探』, 『歴総, 世探』		公民	『地総／歴総／公共』(注1) 『公, 倫』, 『公, 政・経』		数	『数Ⅰ, 数A』, 『数Ⅱ, 数B, 数C』から1		理	『物基／化基／生基／地基』, 『物理』, 『化学』, 『生物』, 『地学』から1(注2)		外	『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』から1		情	『情報Ⅰ』	
	教科	科目等																									
国	『国』																										
地歴	『地総, 地探』, 『歴総, 日探』, 『歴総, 世探』																										
公民	『地総／歴総／公共』(注1) 『公, 倫』, 『公, 政・経』																										
数	『数Ⅰ, 数A』, 『数Ⅱ, 数B, 数C』から1																										
理	『物基／化基／生基／地基』, 『物理』, 『化学』, 『生物』, 『地学』から1(注2)																										
外	『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』から1																										
情	『情報Ⅰ』																										
出 願 期 間	令和8年11月 1日(日)～11月 6日(金)																										
選 抜 期 日	令和8年12月 2日(水)																										
合 格 発 表	令和9年 2月 9日(火)																										
そ の 他	各高等学校等の長が推薦できる人数は, ①沖縄県内地域指定推薦については1高等学校等(定時制の課程を含む)の推薦人数に制限はありません。②一般推薦枠については1高等学校等(定時制及び通信制の課程を含む)の推薦人数に制限はありません。 ※①沖縄県内地域指定推薦と②一般推薦の両方の枠に同一人物を推薦することはできません。																										

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

実施学部 ・学科等	教育学部 学校教育教員養成課程 特別支援教育コース 特別支援教育専攻 特別支援教育専修																
募集人員	3 名																
出願要件	次の（１）～（３）に該当する者 （１）高等学校等（＊）を令和９年３月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第 ９３条第３項の規定に基づき令和８年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者 （２）学習成績・人物ともに優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、 全体の学習成績の状況（評定平均値）が４．０以上のもの （３）合格した場合は、入学することを確約できる者																
選抜方法等	高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績、個別学力検査等の成績を総合して選 考します。 ○共通テスト利用教科・科目（７教科８科目） <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科</th><th>科目等</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国</td><td>『国』</td></tr> <tr> <td>地歴</td><td>『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』から１</td></tr> <tr> <td>公民</td><td>『公、倫』、『公、政・経』から１</td></tr> <tr> <td>数</td><td>『数Ⅰ、数Ⅱ』、『数Ⅲ、数Ⅳ』から１</td></tr> <tr> <td>理</td><td>『物基／化基／生基／地基』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から１（注）</td></tr> <tr> <td>外</td><td>『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から１</td></tr> <tr> <td>情</td><td>『情報Ⅰ』</td></tr> </tbody> </table> （注）理科の科目『物基／化基／生基／地基』を選択する場合、出題範囲（「物理基礎」、「化 学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」）のうち、いずれか２つを選択解答し、１科目 とする。 ○個別学力検査等 ・面接	教科	科目等	国	『国』	地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』から１	公民	『公、倫』、『公、政・経』から１	数	『数Ⅰ、数Ⅱ』、『数Ⅲ、数Ⅳ』から１	理	『物基／化基／生基／地基』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から１（注）	外	『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から１	情	『情報Ⅰ』
教科	科目等																
国	『国』																
地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』から１																
公民	『公、倫』、『公、政・経』から１																
数	『数Ⅰ、数Ⅱ』、『数Ⅲ、数Ⅳ』から１																
理	『物基／化基／生基／地基』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から１（注）																
外	『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から１																
情	『情報Ⅰ』																
出願期間	令和８年１１月 １日（日）～１１月 ６日（金）																
選抜期日	令和８年１２月 ２日（水）																
合格発表	令和９年 ２月 ９日（火）																
そ の 他	１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は、制限しません。																

＊「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の
高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指
定を受けた専修学校高等課程をいう。

6. 実技検査等実施方法

- (1) 学校教育教員養成課程 小学校教育コース・中学校教育コース 教科教育専攻 音楽教育専修（一般選抜（前期日程））

A 実技検査

(1) ピアノによる弾き歌い ※対面にて実施

○次の楽曲のなかから任意の1曲を選んで、ピアノで弾き歌いをする。演奏・歌唱の際には、必ず1番と2番など、最低2コーラスは行うものとする。

○小学校教育コースを第1志望とする受験者は、①～②より任意の1曲を選曲すること。

①「とんび」 葛原しげる 作詞 梁田貞 作曲

※「とんび」の歌詞中にある「ピンヨロー」の部分については原曲どおりのリズムとする

②「こいのぼり」 文部省唱歌

○中学校教育コースを第1志望とする受験者は、③～④より任意の1曲を選曲すること。

③「赤とんぼ」 三木露風 作詞 山田耕筰 作曲

④「夏の思い出」 江間章子 作詞 中田喜直 作曲

注1：暗譜の必要はなし。伴奏には必ず前奏をつけ、伴奏譜の選択は任意とし、各自で用意する。移調可とする。

(2) 選択実技 ※実技動画提出にて実施

下記の(ア)～(ウ)より1つ選択すること。

(ア) ピアノ

○スケールと、F.J.ハイドン、W.A.モーツァルト、L.v.ベートーヴェンのピアノ・ソナタより第1楽章を演奏すること。

注1：実技検査に係る動画提出申請書に、スケールの調、作曲者名、曲名（作品番号を含む）を明記する。

2：スケールは選曲したピアノ・ソナタと同じ調とし、3オクターブ、カデンツを付ける。

また短調の場合は和声的短音階と旋律的短音階とする。

3：繰り返しは省略する。

4：暗譜演奏とする。

(イ) 声楽

○任意の声楽曲1曲を演奏すること。

注1：実技検査に係る動画提出申請書に、作曲者名（歌曲の場合は作詞者を含む）、曲名を明記する。

2：オペラ・アリア以外は移調可とする。

3：暗譜演奏とする。

4：無伴奏とする。

(ウ) 管弦打楽器

○スケールと、任意の楽曲1曲を演奏すること。

○楽器は、次に指示したものより、1つ選択すること。

①管楽器

フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、リコーダー

②弦楽器

ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

③打楽器

マリンバ

注1：実技検査に係る動画提出申請書に、楽器名、スケールの調、作曲者名、曲名（作品番号を含む）を明記する。

2：スケールは選曲した楽曲と同じ調とし、2オクターブとする。

また短調の場合は和声的短音階と旋律的短音階とする。

3：暗譜の必要はなし。

4：無伴奏とする。

B 筆記試験

○音楽史、音楽理論や教育に関する論述を含む筆記試験

注1：音楽理論については、基礎的な楽典、用語、音楽史などの内容を課す。

また記述では、テーマに応じて音楽科教育に関する300～400字程度の論述を課す。

C 面接（口頭試問を含む）

（ア）グループディスカッション

（イ）個人面接

（２）学校教育教員養成課程 小学校教育コース・中学校教育コース 教科教育専攻 美術教育専修（一般選抜（前期日程））

A 実技検査	発想力及び造形力を評価します。【解答時間 2.5 時間】
B 筆記試験	鑑賞力や知識，造形教育への関心度及び発想力を評価します。【解答時間 1 時間】
C 面接	受験の動機，学習意欲，表現力及び適性を評価します。

※実技検査に必要な用具・材料は大学側で準備します。

（３）学校教育教員養成課程 小学校教育コース・中学校教育コース 教科教育専攻 保健体育専修（一般選抜（前期日程））

A 実技検査（「新体カテスト」及び「マット運動」を実施）

（ア）新体カテスト

①上体起こし ②反復横跳び ③20mシャトルラン ④50m走 ⑤ハンドボール投げ

（イ）マット運動

①側方倒立回転 ②開脚後転 ③後転 ④水平バランス ⑤ロンダート

注1：上記の新体カテスト5項目とマット運動を体育館で全員が受験すること。

2：マット運動は，上記の技を一連の流れで演技すること。

3：実技検査の際には，実技の服装及び体育館用運動靴を準備すること。

4：受験番号を記入したゼッケン（15cm×25cm）を各自で準備し，胸部につけること。

5：更衣室あり。

B 面接

学校教員としての資質や適性，運動・スポーツの専門家となるための資質や適性，専門種目についての理解と競技実績・成績（所定の「競技歴調査書」に記載）などを総合的に評価します。

7. 個別学力検査等の採点・評価基準

(1) 個別学力検査等の採点・評価基準

① 教科・科目

外国語	○読解問題では、情報や概念などを理解する力、概要や要点を捉える力、文章の論理的な構成を理解する力を語彙、文法、論理性の観点から総合的に評価します。 ○口頭表現問題では、場面や目的に応じた基本的な慣用句や熟語、英語的言い回しの習熟度等の観点から評価します。 ○作文問題では、内容、文章構成力、表現力の観点から評価します。 ○綴りや文法上誤りがあり、解答が完全に正しくない場合でもコミュニケーションの観点から理解可能であれば誤りの度合いに応じた部分点を与えます。
国語	○記述式問題においては、その記述内容に応じて、解答例にかかわらず得点・部分点を与えることがあります。 ○小説・評論等の現代文分野では、基本的な語彙力・漢字力をみるほか、設問において問われていることを正確に把握し、問題文の内容を踏まえて的確に記述・表現する力を求めます。 ○古文分野では、古典語彙や解釈、文法等の基本的な知識を踏まえた読解力を求め、なおかつそれについて論述する能力をみます。 ○漢文分野では、書き下しや解釈、句法等の基本的な知識を踏まえた読解力を求めます。
数学	○記述式の問題を出題することにより、数学の基本的な知識・技能、論理的思考力及び表現力が身についているかを評価します。 ○問題用紙に明記された配点に従って得点を合計します。 ○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与えます。 ○記述式の問題の場合、途中の推論及び計算を記述せずに結論（最終的な答え）のみを書いても得点を与えません。
物理	○自然科学についての思考力、独創性、発想力及び表現力などを総合的に判断、評価します。 ○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与えます。
化学	○自然科学についての思考力、独創性、発想力及び表現力などを総合的に判断、評価します。 ○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与えます。
生物	○生物の基礎的知識に加え、設問の内容を的確に判断し、論理的に記述・表現する力を、総合的に評価します。 ○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与えます。
地学	○設問の趣旨をよく理解しているか、また、自然科学についての思考力、独創性、発想力及び表現力などが備わっているかを、総合的に判断、評価します。 ○解答（記述、計算）が完全には正しくない場合でも、理解の度合いに応じた部分点を与えます。

② 教科・科目以外の科目

一般選抜	小学校教育コース	学校教育専攻	小論文	○教育や子どもに関する知識・理解をみます。 ○小学校教員として必要な思考力・判断力・表現力をみます。 ○小学校教育に対する意欲・関心をみます。
			面接	○小学校教育に対する意欲・関心をみます。 ○小学校教員としての適性をみます。 ○コミュニケーション能力をみます。
			調査書	○面接時の参考になります。
			志願理由書	○面接時の参考になります。

一般選抜	小学校教育コース・中学校教育コース	教科教育専攻	専国語教育 修	面 接	○小学校教員及び中学校または高校の国語教員としての意欲，目的意識，適正および表現力等を評価します。
				調 査 書	○面接時の参考にします。
			専社会科教育 修	小 論 文	○資料等の読解力・分析力，および設問の趣旨をふまえて論述する構想力・表現力について評価します。
				面 接	○目的意識，学習意欲，適性，表現力等を評価します。
				調 査 書	○面接時の参考にします。
				専数学教育 修	面 接
			調 査 書		○面接時の参考にします。
			専理科教育 修	面 接	○意欲，目的意識，適性，表現力等を評価します。
				調 査 書	○面接時の参考にします。
			専音楽教育 修	実 技 検 査	○弾き歌いについては，歌唱指導に繋がる能力として，正確な音程とリズムで音楽性豊かに演奏できているかをみます。 ○選択実技については，正確な音程とリズムで豊かに表現できているかをみます。
				筆 記 試 験	○基礎的な楽典，用語，音楽史などの知識・理解をみます。 ○音楽科教育に関する論述で，論理的な思考力・判断力・表現力をみます。
				口頭試問を含む面接	○音楽科教員としての資質や適性を評価します。 ○音楽に関する理解の程度と論理的思考力について評価します。 ○教員を志すにあたって主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ関心・意欲・態度をみます。
				調 査 書	○面接時の参考にします。
			美術教育専修	実 技 検 査	○発想力及び造形力を評価します。
				筆 記 試 験	○鑑賞力や知識，造形教育への関心度及び発想力を評価します。
				面 接	○受験の動機，学習意欲，表現力及び適性を評価します。
				調 査 書	○面接時の参考にします。
			保健体育専修	実 技 検 査	○新体力テストとマット運動を実施し，体力・運動能力及び技能を評価します。
				面 接	○学校教員としての資質や適性を評価します。 ○運動・スポーツの専門家となるための資質や適性を評価します。 ○専門種目についての理解と競技実績・成績（出願書類の競技歴調査書）を評価します。
				調 査 書	○「全体の学習成績の状況」を評点化します。
			専技術教育 修	面 接	○学校教員としての意欲，目的意識，適性および表現力等を評価します。
				調 査 書	○理数系科目を中心に学習成績の状況を評点化します。
			教育生活科学 専修	小 論 文	○家庭科教育への関心・意欲及び基礎的な文章力をみます。
				口頭試問を含む面接	○「家庭科の専門性を深めた小学校あるいは中学校や高等学校教員」への意欲をみます。 ○家庭総合に関する知識と実践力をみます。
				調 査 書	○「全体の学習成績の状況」及び学級・生徒会活動，学校家庭クラブ活動，課外活動，取得資格等を総合的に評価します。
			専英語教育 修	面 接	○筆記試験では測れない英語のコミュニケーション能力をみます。
	調 査 書	○「全体の学習成績の状況」を評点化します。			
	教育特別支援 コース	教育特別支援 専攻	教育特別支援 専修	面 接	○志望理由，特別支援教育に関する学習及び研究意欲，将来の進路計画，社会貢献への意識などについて評価します。特別支援教育に関する思考力・判断力・表現力に関する口頭試問を含みます。
調 査 書				○面接時の参考にします。	

総合型選抜Ⅰ	小学校教育コース	学校教育専攻		第1次選考	個人面接	○小学校教育に対する意欲・関心をみます。 ○知識・技能を含む小学校教員としての適性をみます。 ○コミュニケーション能力をみます。		
					調 査 書	○面接時の参考になります。		
					志願理由書	○面接時の参考になります。		
					自己推薦書	○面接時の参考になります。		
				第2次選考	問題解決型グループワーク	○課題を集団で遂行しようとする姿勢をみます。 ○他者の意見もふまえて自分の考えを表現する力をみます。 ○与えられた課題に対する理解や思考力をみます。 ○子ども理解や教職に対する知識・技能や意欲・関心をみます。		
		教科教育専攻		第1次選考	志願理由書	○第1次選考(書類選考)及び第2次選考(個人面接)の参考資料とします。		
					調 査 書	○第1次選考(書類選考)及び第2次選考(個人面接)の参考資料とします。		
					「学びの履歴」報告書	○教員になるための基礎的な資質、能力を兼ね備えているかを評価します。		
				第2次選考	小 論 文	○課題を設定し、それについて論述式の試験を行うことにより、論理的な思考力、基本的な文章表現力を備えているかを評価します。		
					面 接	○沖縄県の小学校教育に対する意欲・関心をみます。 ○知識・技能を含む小学校教員としての適性をみます。 ○コミュニケーション能力をみます。		
学校推薦型選抜Ⅰ	中学校教育コース	教科教育専攻		専攻技術教育	口頭試問を含む面接	○技術科教員への意欲をみます。 ○技術に関する基礎的な知識と技術的体験及び技術的思考力をみます。		
					調 査 書	○理数系科目を中心に「全体の学習成績の状況」を評点化します。 ○取得資格、研究発表等の受賞、課外活動、社会的活動等を評点化します。		
					推 薦 書	○面接時の参考になります。		
					志願理由書	○面接時の参考になります。		
		専攻英語教育		面接	面 接	○学校教員としての必要な思考力・判断力・表現力及び英語教育に対する意欲・関心・適正をみます。 ○英語によるコミュニケーション能力、志望理由、将来への展望等をみます。		
					調 査 書	○「全体の学習成績の状況」を評点化します。		
					推 薦 書	○高校3年間の主体的な活動や能動的な学びが集約された資料として、面接の重要な資料とします。		
					志願理由書	○志望動機・将来計画・長所・特技・自己アピール等を示す資料として、面接の重要な資料とします。		
		学校推薦型選抜Ⅱ	小学校教育コース	学校教育専攻			小 論 文	○教育や子どもに関する知識・理解をみます。 ○小学校教員として必要な思考力・判断力・表現力をみます。 ○小学校教育に対する意欲・関心をみます。
							面 接	○小学校教育に対する意欲・関心をみます。 ○小学校教員としての適性をみます。 ○コミュニケーション能力をみます。
調 査 書	○面接時の参考になります。							
推 薦 書	○面接時の参考になります。							
志願理由書	○面接時の参考になります。							
特別支援教育コース	特別支援教育専攻		特別支援教育専修		面 接	○志望理由、特別支援教育に関する学習及び研究意欲、将来の進路計画、社会貢献への意識などについて評価します。		
					調 査 書	○面接時の参考になります。		
					推 薦 書	○面接時の参考になります。		
					志願理由書	○面接時の参考になります。		

8. 合否判定基準

全学部の基本的な合否判定基準（24ページ）も併せて参照してください。

一般選抜	学 部 共 通			○同点者は同順位とし、その順位が合格者の最下位である場合は、その順位の者をすべて合格者とします。
総合型選抜Ⅰ	教育コース 小学校	学校教育専攻		○第１次選考では、個人面接の得点で順位付けを行い、合否を判定します。 ○第２次選考では、問題解決型グループワークの得点に第１次選考の得点を加えた総合得点で順位付けを行い、合否を判定します。
		教科教育専攻		○第１次選考では、「学びの履歴」報告書の得点で順位付けを行い、合否を判定します。 ○第２次選考では、小論文と個人面接の合計得点に第１次選考の得点を加えた総合得点で順位付けを行い、合否を判定します。
学校推薦型選抜Ⅰ	教育コース 中学校	教科教育専攻	技術教育専修	○面接（口頭試問を含む）及び調査書を総合的に判断します。
			英語教育専修 （英語重視）	○面接（英語で行う）及び調査書を総合的に判断します。
学校推薦型選抜Ⅱ	学 部 共 通			○共通テストの成績（学校教育専攻は資格審査のみ）、個別学力試験等の成績を総合して判定します。
	育コース 小学校教	学 校 教 育 専 攻		○小論文と面接の成績を総合して判定します。共通テストは資格審査として用いるので、配点には影響しません。
	教育コース 特別支援	特別支援 教育専攻	特 別 支 援 教 育 専 修	○共通テストと面接の成績を総合して判定します。

9. 募集人員の留意事項

- （1）教育学部学校教育教員養成課程の一般選抜については前期日程のみの選抜です。
- （2）学校教育教員養成課程小学校教育コース学校教育専攻の入学者選抜は、学校教育専攻一括で募集します。
（専修配属・所属についての詳細は下記「10. 教育学部の専修の決定方法等について」参照。）
- （3）学校教育教員養成課程小学校教育コース及び中学校教育コース教科教育専攻の一般選抜は、各専修単位で募集を行い、1年次から合格した専修に所属します。
出願時に小学校教育コースと中学校教育コースの志望順位を記入してもらい、得点上位者から順に第1志望のコースに配属します。
- （4）学校教育教員養成課程小学校教育コース教科教育専攻の総合型選抜は、教科教育専攻一括で募集します。
個別学力検査等の総合点の上位者から順に、教科教育専攻全体として合格者を決定します。
（専修配属・所属についての詳細は下記「10. 教育学部の専修の決定方法等について」参照。）

(5) 定員補充について

以下の特別選抜の入学手続き者が募集人員に満たなかった場合は、以下の選抜区分で満たない分の募集人員を補充します。

募集人員に満たなかった選抜区分	満たない分の募集人員の補充を行う選抜区分
学校推薦型選抜、総合型選抜	一般選抜（前期日程）

(6) 欠員補充

入学手続き完了者が入学定員に達しなかった場合に、追加合格を実施してなお欠員がある場合は、欠員補充第2次募集を行うことがあります。

10. 教育学部の専修の決定方法等について

学校教育教員養成課程小学校教育コース学校教育専攻の入学者は学校教育専攻に所属し、2年次前学期開始前に、本人の希望と入学後の成績等に基づき、教育実践学専修または子ども教育開発専修に配属します。

学校教育教員養成課程小学校教育コース教科教育専攻の総合型選抜Ⅰは、教科教育専攻一括で募集します。

個別学力検査等の総合点の上位者から順に、教科教育専攻全体として合格者を決定します。出願時に教科教育専攻10専修に対する志望順位を第2志望まで記入してもらい、その志望に沿って合格者を各専修に仮配属します。得点上位者から順に第1志望の専修に配属し、第2志望まで、専修の受入人員以内になるよう配属します。

各専修の最大の受入人員の目安は、3名程度です。仮配属専修名は、合格通知書に同封して通知します。

2年次前学期開始前に、本人の希望と1年次の成績に基づき、最終的な専修配属を行います。専修変更は、それを希望する学生のみで、希望しない学生の専修変更はありません。なお、希望する専修への変更を確約するものではありません。

【14】各学部の入学者選抜について

理 学 部

理学部では、次の入学者選抜方法を実施します。

数理科学科

- (1) 一般選抜（前期日程・後期日程） (2) 私費外国人留学生特別選抜

物質地球科学科

物理系

- (1) 一般選抜（前期日程・後期日程） (2) 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）
(3) 帰国生徒特別選抜 (4) 私費外国人留学生特別選抜

地球環境系

- (1) 一般選抜（前期日程・後期日程） (2) 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）
(3) 帰国生徒特別選抜 (4) 私費外国人留学生特別選抜

海洋自然科学科

化学系

- (1) 一般選抜（前期日程・後期日程） (2) 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）
(3) 帰国生徒特別選抜 (4) 私費外国人留学生特別選抜

生物系

- (1) 一般選抜（前期日程・後期日程） (2) 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）
(3) 帰国生徒特別選抜 (4) 私費外国人留学生特別選抜

募集人員は次のとおりです。

学部	学科・課程・(選抜方式)等		入学 定員 (名)	募 集 人 員 (名)								
				一般選抜		総合型選抜		学校推薦型選抜		社会人	帰国 生徒	私 費 外国人
				分離分割方式		共通テスト を課さない	共通テスト を課す	共通テスト を課さない	共通テスト を課す			
				前期日程	後期日程							
理 学 部	数 理 科 学 科		40	30	10							若干名
	物 質 地 球 科 学 科	物 理 系	65	28	7				5		若干名	若干名
		地球環境系		19	3			3		若干名	若干名	
	海 洋 自 然 科 学 科	化 学 系	95	28	5				14		若干名	若干名
		生 物 系		37	10				1		若干名	若干名
	計		200	142	35				23			

- 一般選抜（前期日程・後期日程）…………… 64～66ページ
- 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）
 - 物質地球科学科 物理系…………… 67ページ
 - 物質地球科学科 地球環境系…………… 68ページ
 - 海洋自然科学科 化学系…………… 69ページ
 - 海洋自然科学科 生物系…………… 70ページ
- 帰国生徒特別選抜…………… 71ページ
- 私費外国人留学生特別選抜…………… 72ページ
- 出願に関する第2志望の取扱い…………… 72ページ
- 個別学力検査等の採点・評価基準…………… 73～75ページ
- 合否判定基準…………… 75～76ページ
- 募集人員の留意事項…………… 76ページ

各選抜の出願手続、出願書類、個別学力検査等の実施日時及び試験会場等については、「学生募集要項」を必ず確認してください。

「学生募集要項」は本学ホームページに掲載します。（21ページ参照）

1. 一般選抜（前期日程・後期日程）
令和9年度入学者選抜の実施教科・科目等

学科等名	学力検査 区 分	大学入学共通テスト			個別学力検査等			計
		教科	科 目 名 等	配点	教科等	科目名等	配点	
数理科学科	前期	国	『国』	200	数	数（甲）	400	
		地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』	100		理	[物基・物理], [化基・化学], [生基・生物]から1	
		公民	『公、倫』、『公、政・経』		その他	調査書	50	
		数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ、数B、数C』	200				
		理	『物理』、『化学』、『生物』から2	200				
		外	『英』	200				
		情	『情報Ⅰ』	50				
		配点合計			950	配点合計		
	後期	国	『国』	200	数	数（甲）	600	
		地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』	100	その他	調査書	50	
		公民	『公、倫』、『公、政・経』					
		数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ、数B、数C』	200				
		理	『物理』、『化学』、『生物』から2	200				
		外	『英』	200				
		情	『情報Ⅰ』	50				
		配点合計			950	配点合計		
物質地球科学科 物理系	前期 パターンA （注3）	国	『国』	200	数	数（甲）	200	
		地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』	100		理	[物基・物理]	
		公民	『公、倫』、『公、政・経』		その他	調査書	50	
		数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ、数B、数C』	200				
		理	『物理』〈必須〉	200				
		外	『物基／化基／生基／地基』、『化学』、『生物』、『地学』から1（注2）					
		情	『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から1	200				
			『情報Ⅰ』	50				
		配点合計			950	配点合計		
	前期 パターンB （注3）	国	『国』	100	数	数（甲）	425	
		地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』	50		理	[物基・物理]	
		公民	『公、倫』、『公、政・経』		その他	調査書	50	
		数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ、数B、数C』	100				
		理	『物理』〈必須〉	100				
		外	『物基／化基／生基／地基』、『化学』、『生物』、『地学』から1（注2）					
		情	『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から1	100				
			『情報Ⅰ』	25				
		配点合計			475	配点合計		
	後期	国	『国』	200	その他	調査書	50	
		地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』	100				
		公民	『公、倫』、『公、政・経』					
		数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ、数B、数C』	400				
		理	『物理』〈必須〉	400				
		外	『物基／化基／生基／地基』、『化学』、『生物』、『地学』から1（注2）					
		情	『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から1	200				
			『情報Ⅰ』	50				
		配点合計			1,350	配点合計		

学科等名	学力検査 区 分	大学入学共通テスト				個別学力検査等			計
		教科	科 目 名 等		配点	教科等	科目名等	配点	
物質地球科学 地球環境系	前期 パターンA (注3)	国	『国』		200	数	数 (甲)	200	
		地歴	『地総, 地探』, 『歴総, 日探』, 『歴総, 世探』		100	理	[物基・物理], [化基・化学], [地基・地学]から1 調査書	200	
			『地総／歴総／公共』(注1)						
			『公, 倫』, 『公, 政・経』						
		公民	『数Ⅰ, 数A』, 『数Ⅱ, 数B, 数C』		200	その他		50	
		数理	『物基／化基／生基／地基』, 『物理』, 『化学』, 『生物』, 『地学』 から2 (注2)		200				
		外情	『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』 から1 『情報Ⅰ』		200 100				
	配点合計				1,000	配点合計		450	1,450
	前期 パターンB (注3)	国	『国』		100	数	数 (甲)	450	
		地歴	『地総, 地探』, 『歴総, 日探』, 『歴総, 世探』		50	理	[物基・物理], [化基・化学], [地基・地学]から1 調査書	450	
			『地総／歴総／公共』(注1)						
			『公, 倫』, 『公, 政・経』						
		公民	『数Ⅰ, 数A』, 『数Ⅱ, 数B, 数C』		100	その他		50	
		数理	『物基／化基／生基／地基』, 『物理』, 『化学』, 『生物』, 『地学』 から2 (注2)		100				
		外情	『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』 から1 『情報Ⅰ』		100 50				
	配点合計				500	配点合計		950	1,450
	後期	国	『国』		200	その他	小論文 調査書	200 50	
		地歴	『地総, 地探』, 『歴総, 日探』, 『歴総, 世探』		100				
『地総／歴総／公共』(注1)									
『公, 倫』, 『公, 政・経』									
公民		『数Ⅰ, 数A』, 『数Ⅱ, 数B, 数C』		400					
数理		『物基／化基／生基／地基』, 『物理』, 『化学』, 『生物』, 『地学』 から2 (注2)		400					
外情		『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』 から1 『情報Ⅰ』		200 100					
配点合計				1,400	配点合計		250	1,650	

(注1) 地歴・公民の科目『地総／歴総／公共』を選択する場合、出題範囲(「地理総合」,「歴史総合」,「公共」)のうち、いずれか2つを選択解答し、1科目とします。

(注2) 理科の科目『物基／化基／生基／地基』を選択する場合、出題範囲(「物理基礎」,「化学基礎」,「生物基礎」,「地学基礎」)のうち、いずれか2つを選択解答し、1科目とします。また、同一名称を付した科目の選択は認めません。(例:「物理基礎」と「物理」,「化学基礎」と「化学」)

(注3) パターンA(共通テスト重視)とパターンB(個別学力検査重視)のそれぞれの合計点を比較し、高得点の点数を採用します。

学科等名	学力検査 区 分	大学入学共通テスト				個別学力検査等			計	
		教科	科 目 名 等		配点	教科等	科目名等	配点		
海洋自然科学 化学系	前期	国 地歴 公民 数理 外情	『国』 『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』 『地総／歴総／公共』（注１） 『公、倫』、『公、政・経』 『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ、数B、数C』 『化学』〈必須〉 『物基／化基／生基／地基』、『物理』、『生物』、『地学』から １（注２） 『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から１ 『情報Ⅰ』		から１	200 100 200 200 200 50	数 理 その他	数（甲） [化基・化学] 調査書	200 200 50	
		配点合計				950	配点合計		450	1,400
	後期	国 地歴 公民 数理 外情	『国』 『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』 『地総／歴総／公共』（注１） 『公、倫』、『公、政・経』 『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ、数B、数C』 『化学』〈必須〉 『物基／化基／生基／地基』、『物理』、『生物』、『地学』から １（注２） 『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から１ 『情報Ⅰ』		から１	200 100 200 400 200 50	その他	調査書	50	
		配点合計				1,150	配点合計		50	1,200
海洋自然科学 生物系	前期	国 地歴 公民 数理 外情	『国』 『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』 『公、倫』、『公、政・経』 『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ、数B、数C』 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から２ 『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から１ 『情報Ⅰ』		から１	200 100 200 200 200 50	理 その他	[生基・生物] 調査書	300 30	
		配点合計				950	配点合計		330	1,280
	後期	国 地歴 公民 数理 外情	『国』 『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』 『公、倫』、『公、政・経』 『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ、数B、数C』 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から２ 『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から１ 『情報Ⅰ』		から１	200 100 200 200 200 50	その他	小論文	200	
		配点合計				950	配点合計		200	1,150

(注1) 地歴・公民の科目『地総／歴総／公共』を選択する場合、出題範囲(「地理総合」、「歴史総合」、「公共」)のうち、いずれか2つを選択解答し、1科目とします。

(注2) 理科の科目『物基／化基／生基／地基』を選択する場合、出題範囲(「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」)のうち、いずれか2つを選択解答し、1科目とします。また、同一名称を付した科目の選択は認めません。(例:「物理基礎」と「物理」、「化学基礎」と「化学」)

2. 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）

※国公立大学の学校推薦型選抜は、共通テストを課すもの及び課さないものを含め、1つの大学・学部にし
か出願できません。

学校推薦型選抜Ⅱ－1

実施学部 ・学科等	理学部 物質地球科学科 物理系																
募集人員	5 名																
出願要件	次の（１）～（５）に該当する者 （１）高等学校等（＊）を令和９年３月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第 ９３条第３項の規定に基づき令和８年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者 （２）学習成績・人物ともに優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、 全体の学習成績の状況が３.５以上のもの （３）合格した場合は、入学することを確約できる者 （４）特に、物理の分野に強い関心と勉学意欲がある者 （５）物理及び数学Ⅲを履修又は履修中の者																
選抜方法等	高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績、個別学力検査等の成績を総合して選 考します。 ○共通テスト利用教科・科目（６教科８科目） <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科</th><th>科目等</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国</td><td>『国』</td></tr> <tr> <td>地歴</td><td>『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』 『地総／歴総／公共』（注１）</td></tr> <tr> <td>公民</td><td>『公、倫』、『公、政・経』</td></tr> <tr> <td>数</td><td>『数Ⅰ、数Ａ』、『数Ⅱ、数Ｂ、数Ｃ』</td></tr> <tr> <td>理</td><td>『物理』〈必須〉 『物基／化基／生基／地基』、『化学』、『生物』、『地学』から１（注２）</td></tr> <tr> <td>外</td><td>『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から１</td></tr> <tr> <td>情</td><td>『情報Ⅰ』</td></tr> </tbody> </table> （注１）地歴・公民の科目『地総／歴総／公共』を選択する場合、出題範囲（「地理総合」、 「歴史総合」、「公共」）のうち、いずれか２つを選択解答し、１科目とします。 （注２）理科の科目『物基／化基／生基／地基』を選択する場合、出題範囲（「物理基礎」、「化 学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」）のうち、いずれか２つを選択解答し、１科 目とします。また、『物理』が必須のため、「物理基礎」の選択は認めません。 ○個別学力検査等 ・面接	教科	科目等	国	『国』	地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』 『地総／歴総／公共』（注１）	公民	『公、倫』、『公、政・経』	数	『数Ⅰ、数Ａ』、『数Ⅱ、数Ｂ、数Ｃ』	理	『物理』〈必須〉 『物基／化基／生基／地基』、『化学』、『生物』、『地学』から１（注２）	外	『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から１	情	『情報Ⅰ』
教科	科目等																
国	『国』																
地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』 『地総／歴総／公共』（注１）																
公民	『公、倫』、『公、政・経』																
数	『数Ⅰ、数Ａ』、『数Ⅱ、数Ｂ、数Ｃ』																
理	『物理』〈必須〉 『物基／化基／生基／地基』、『化学』、『生物』、『地学』から１（注２）																
外	『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から１																
情	『情報Ⅰ』																
出願期間	令和８年１１月 １日（日）～１１月 ６日（金）																
選抜期日	令和８年１２月 ２日（水）																
合格発表	令和９年 ２月 ９日（火）																
その他	１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は、制限しません。																

＊「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の
高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指
定を受けた専修学校高等課程をいう。

実施学部・学科等	理学部 物質地球科学科 地球環境系																
募集人員	3 名																
出願要件	次の（１）～（５）に該当する者 （１）高等学校等（＊）を令和９年３月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第９３条第３項の規定に基づき令和８年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者 （２）学習成績・人物ともに優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、全体の学習成績の状況が４.０以上のもの （３）合格した場合は、入学することを確約できる者 （４）特に、地学の分野に強い関心と勉学意欲がある者 （５）物理、化学、生物、または地学（理数科においては、理数物理、理数化学、理数生物、理数地学）の中から２科目以上履修または履修中の者																
選抜方法等	高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績、個別学力検査等の成績を総合して選考します。 ○共通テスト利用教科・科目（６教科８科目） <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科</th><th>科目等</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国</td><td>『国』</td></tr> <tr> <td>地歴</td><td>『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』 『地総／歴総／公共』</td></tr> <tr> <td>公民</td><td>『公、倫』、『公、政・経』</td></tr> <tr> <td>数</td><td>『数Ⅰ、数Ａ』、『数Ⅱ、数Ｂ、数Ｃ』</td></tr> <tr> <td>理</td><td>『物基／化基／生基／地基』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から２（注）</td></tr> <tr> <td>外</td><td>『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から１</td></tr> <tr> <td>情</td><td>『情報Ⅰ』</td></tr> </tbody> </table> （注１）地歴・公民の科目『地総／歴総／公共』を選択する場合、出題範囲（「地理総合」、 「歴史総合」、「公共」）のうち、いずれか２つを選択解答し、１科目とします。 （注２）理科の科目『物基／化基／生基／地基』を選択する場合、出題範囲（「物理基礎」、 「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」）のうち、いずれか２つを選択解答し、 １科目とします。また、同一名称を付した科目の選択は認めません。（例：「物理基礎」と「物理」、「化学基礎」と「化学」） ○個別学力検査等 ・面接	教科	科目等	国	『国』	地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』 『地総／歴総／公共』	公民	『公、倫』、『公、政・経』	数	『数Ⅰ、数Ａ』、『数Ⅱ、数Ｂ、数Ｃ』	理	『物基／化基／生基／地基』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から２（注）	外	『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から１	情	『情報Ⅰ』
教科	科目等																
国	『国』																
地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』 『地総／歴総／公共』																
公民	『公、倫』、『公、政・経』																
数	『数Ⅰ、数Ａ』、『数Ⅱ、数Ｂ、数Ｃ』																
理	『物基／化基／生基／地基』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から２（注）																
外	『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から１																
情	『情報Ⅰ』																
出願期間	令和８年１１月 １日（日）～１１月 ６日（金）																
選抜期日	令和８年１２月 ２日（水）																
合格発表	令和９年 ２月 ９日（火）																
その他	１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は、制限しません。																

＊「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

実施学部・学科等	理学部 海洋自然科学科 化学系										
募集人員	14名（うち専門高校卒業生枠3名程度）										
出願要件	次の（１）～（４）に該当する者 （１）高等学校等（＊）を令和９年３月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第９３条第３項の規定に基づき令和８年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者 専門高校卒業生枠にあっては工業高等学校および農業高等学校を令和９年３月に卒業見込みの者 （２）特に化学の分野に強い関心と勉学意欲がある者 （３）出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、全体の学習成績の状況が３．５以上のもの （４）合格した場合は、入学することを確約できる者										
選抜方法等	高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績、個別学力検査等の成績を総合して選考します。 ○共通テスト利用教科・科目（４教科６科目） <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科</th><th>科目等</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数</td><td>『数Ⅰ，数Ａ』，『数Ⅱ，数Ｂ，数Ｃ』</td></tr> <tr> <td>理</td><td>『化学』〈必須〉 『物基／化基／生基／地基』，『物理』，『生物』，『地学』から１（注）</td></tr> <tr> <td>外</td><td>『英』，『独』，『仏』，『中』，『韓』から１</td></tr> <tr> <td>情</td><td>『情報Ⅰ』</td></tr> </tbody> </table> （注）理科の科目『物基／化基／生基／地基』を選択する場合、出題範囲（「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」，「地学基礎」）のうち、いずれか２つを選択解答し，１科目とします。また，『化学』が必須のため，「化学基礎」の選択は認めません。 ○個別学力検査等 ・面接 ・調査書	教科	科目等	数	『数Ⅰ，数Ａ』，『数Ⅱ，数Ｂ，数Ｃ』	理	『化学』〈必須〉 『物基／化基／生基／地基』，『物理』，『生物』，『地学』から１（注）	外	『英』，『独』，『仏』，『中』，『韓』から１	情	『情報Ⅰ』
教科	科目等										
数	『数Ⅰ，数Ａ』，『数Ⅱ，数Ｂ，数Ｃ』										
理	『化学』〈必須〉 『物基／化基／生基／地基』，『物理』，『生物』，『地学』から１（注）										
外	『英』，『独』，『仏』，『中』，『韓』から１										
情	『情報Ⅰ』										
出願期間	令和８年１１月 １日（日）～１１月 ６日（金）										
選抜期日	令和８年１２月 ２日（水）										
合格発表	令和９年 ２月 ９日（火）										
その他	1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は，制限しません。										

＊「高等学校等」とは，高等学校，高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

実施学部・学科等	理学部 海洋自然科学科 生物系																
募集人員	１名（水産に関する学科のみ）																
出願要件	次の（１）～（３）に該当する者 （１）高等学校等（＊）の水産に関する学科を令和９年３月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第９３条第３項の規定に基づき令和８年度中に高等学校（水産に関する学科）を卒業又は卒業見込みの者 なお、水産高等学校専攻科在学中又は令和９年３月卒業見込みの者も対象とする （２）特に生物学に強い関心と学習意欲を持ち、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、学習成績概評がＡに属する者のうち、人物、学力ともに特に優秀なもの （３）合格した場合は、入学することを確約できる者																
選抜方法等	高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績、個別学力検査等の成績を総合して選考します。 ○共通テスト利用教科・科目（６教科８科目） <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科</th><th>科目等</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国</td><td>『国』</td></tr> <tr> <td>地歴</td><td>『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』</td></tr> <tr> <td>公民</td><td>『公、倫』、『公、政・経』</td></tr> <tr> <td>数</td><td>『数Ⅰ、数Ａ』、『数Ⅱ、数Ｂ、数Ｃ』</td></tr> <tr> <td>理</td><td>『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から２</td></tr> <tr> <td>外</td><td>『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から１</td></tr> <tr> <td>情</td><td>『情報Ⅰ』</td></tr> </tbody> </table> から１ ○個別学力検査等 ・面接 ・調査書 ・志願理由書	教科	科目等	国	『国』	地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』	公民	『公、倫』、『公、政・経』	数	『数Ⅰ、数Ａ』、『数Ⅱ、数Ｂ、数Ｃ』	理	『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から２	外	『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から１	情	『情報Ⅰ』
教科	科目等																
国	『国』																
地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』																
公民	『公、倫』、『公、政・経』																
数	『数Ⅰ、数Ａ』、『数Ⅱ、数Ｂ、数Ｃ』																
理	『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から２																
外	『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から１																
情	『情報Ⅰ』																
出願期間	令和８年１１月 １日（日）～１１月 ６日（金）																
選抜期日	令和８年１２月 ２日（水）																
合格発表	令和９年 ２月 ９日（火）																
その他	１高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は、制限しません。																

＊「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

3. 帰国生徒特別選抜

帰国生徒特別選抜

実施学部・学科等	理学部 物質地球科学科 物理系・地球環境系, 海洋自然科学科 化学系・生物系
募集人員	若 干 名
出 願 要 件	日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務等の事情により外国に2年以上滞在しており、次のいずれかに該当するもの。ただし、令和8年1月20日以前に帰国（一時的な短期の帰国を除く）した者は、出願を認めない。 (1) 学校教育における12年の課程を修了した者又は令和9年3月31日までに修了見込みの者で、原則として、外国において最終学年を含め、2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けているもの（ただし、外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を実施している学校に在学して教育を受けた期間は、「2年以上」という期間には算入しない。）もしくは外国において当該国における12年の課程修了相当の学力認定試験に合格し、令和9年3月31日までに18歳に達する者 (2) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を授与された者、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を取得した者、フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を取得した者及びグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCE-Aレベル）を取得した者 (3) 本学において、個別の入学資格審査により入学資格認定書の交付を受けた者 ○上記（3）に該当する志願者は、10ページの入学資格審査を参照すること。
選抜方法等	共通テストを免除し、成績証明書（調査書）、小論文及び面接を総合して選考します。
出 願 期 間	令和8年11月 1日（日）～11月 6日（金）
選 抜 期 日	令和8年12月 2日（水）
合 格 発 表	令和8年12月11日（金）
そ の 他	1. 出願書類 (1) 出願確認票、卒業（修了）証明書又は同見込み証明書、成績証明書、身上記録、保護者の在外勤務などに関する証明書等 (2) 国際バカロレア資格を取得した者は、その証明書の写しと最終試験6科目の成績評価証明書 (3) アビトゥア資格を取得した者は、一般的大学入学資格証明書（Zeugnis der Allgemeinen Hochschulreife）の写し (4) バカロレア資格（フランス共和国）を取得した者は、その証明書の写し (5) ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCE-Aレベル）を有する者は、成績評価証明書 ※ 外国の学校又は機関が作成する書類について、日本語以外の場合は、日本語訳を添付すること。 ※ 表彰を受けた者は、関係書類の写しを添付すること。 2. 本学他学部・学科等の帰国生徒特別選抜との併願は認めない。

4. 私費外国人留学生特別選抜

理学部では、私費外国人留学生特別選抜を実施します。詳細は106～108ページを参照してください。

5. 出願に関する第2志望の取扱い（理学部数理科学科，物質地球科学科，海洋自然科学科化学系）

（1）物質地球科学科物理系を第2志望とする出願について

次に該当する志願者に限り物質地球科学科物理系を第2志望として出願することができます。

- ① 理学部数理科学科及び物質地球科学科地球環境系（以下「第1志望学科等」）の前期日程志願者で、物質地球科学科物理系（以下「物理系」）が課す共通テストの教科・科目を受験し、物理系が課す個別学力検査の教科・科目を選択する者は、物理系への第2志望を認めます。ただし、試験当日、物理系が課す個別学力検査の教科・科目を受験しなかった者は、第2志望を取り消したものとみなします。（「1. 一般選抜（前期日程・後期日程）」64～66ページ参照）
- ② 物理系を第2志望とする者が第1志望学科等の合格者となった場合は、第2志望である物理系の合否判定の対象者とはしません。
- ③ 物理系の合否判定においては、物理系の志願者（物理系のみを志望している者）及び物理系を第2志望とする者（第1志望学科等の合格者を除く）を対象者とし、総合得点（物理系の配点に基づく得点）の上位から順次合格者とします。ただし、物理系を第2志望とする者の合格者数は3名を上限とします。
- ④ 上記③において、物理系を第2志望とする者が合格者となった場合は、その者を第1志望学科等の追加合格候補者としません。

（2）物質地球科学科地球環境系を第2志望とする出願について

次に該当する志願者に限り物質地球科学科地球環境系を第2志望として出願することができます。

- ① 理学部数理科学科，物質地球科学科物理系及び海洋自然科学科化学系（以下「第1志望学科等」）の前期日程志願者で、物質地球科学科地球環境系（以下「地球環境系」）が課す共通テストの教科・科目を受験し、地球環境系が課す個別学力検査の教科・科目を選択する者は、地球環境系への第2志望を認めます。ただし、試験当日、地球環境系が課す個別学力検査の教科・科目を受験しなかった者は、第2志望を取り消したものとみなします。（「1. 一般選抜（前期日程・後期日程）」64～66ページ参照）
- ② 地球環境系を第2志望とする者が第1志望学科等の合格者となった場合は、第2志望である地球環境系の合否判定の対象者とはしません。
- ③ 地球環境系の合否判定においては、地球環境系の志願者（地球環境系のみを志望している者）及び地球環境系を第2志望とする者（第1志望学科等の合格者を除く）を対象者とし、総合得点（地球環境系の配点に基づく得点）の上位から順次合格者とします。ただし、地球環境系を第2志望とする者の合格者数は3名を上限とします。
- ④ 上記③において、地球環境系を第2志望とする者が合格者となった場合は、その者を第1志望学科等の追加合格候補者としません。

6. 個別学力検査等の採点・評価基準

① 教科・科目

数 学	○記述式の問題を出題することにより、数学の基本的な知識・技能、論理的思考力及び表現力が身についているかを評価します。 ○問題用紙に明記された配点に従って得点を合計します。 ○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与えます。 ○記述式の問題の場合、途中の推論及び計算を記述せずに結論（最終的な答え）のみを書いても得点を与えません。
物 理	○自然科学についての思考力、独創性、発想力及び表現力などを総合的に判断、評価します。 ○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与えます。
化 学	○自然科学についての思考力、独創性、発想力及び表現力などを総合的に判断、評価します。 ○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与えます。
生 物	○生物の基礎的知識に加え、設問の内容を的確に判断し、論理的に記述・表現する力を、総合的に評価します。 ○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与えます。
地 学	○設問の趣旨をよく理解しているか、また、自然科学についての思考力、独創性、発想力及び表現力などが備わっているかを、総合的に判断、評価します。 ○解答（記述、計算）が完全には正しくない場合でも、理解の度合いに応じた部分点を与えます。

② 教科・科目以外の科目

※「帰国」は帰国生徒特別選抜、「私費」は私費外国人留学生特別選抜を意味します。

ア) 数理科学科

一般選抜	調 査 書	○学習に対する主体性・協働的態度を、調査書の内容に基づき総合的に評価します。
私 費	面 接	○数学の基礎学力と学習意欲を総合的に評価します。

イ) 物質地球科学科

一般選抜	物 理 系	調 査 書	○「全体の学習成績の状況」を評点化します。
	地 球 環境系	調 査 書	○学習に対する主体性を評価するため、「全体の学習成績の状況」を点数化し、総合得点に加算して合算します。
		小 論 文 (後 期 日 程)	○自然科学についての思考力、独創性、発想力及び表現力などを総合的に判断、評価します。
学校推薦型 選 抜 II	物 理 系	面 接	○動機、意欲、長所、将来計画、物理学の基礎学力（数学の基礎学力も含む）、適性等を総合的に評価します。その際に、調査書、推薦書、志願理由書の記載内容も含めて評価します。
		調 査 書 推 薦 書 志 願 理 由 書	○面接の際に活用します。
	地 球 環境系	面 接	○志望理由、学習への意欲、適性等を評価し、調査書、推薦書、志願理由書の記載内容も含めて総合的に評価します。
		調 査 書	○中等教育での学習成果および学習に対する主体性を評価します。
		推 薦 書	○中等教育での地学分野への取り組み、活動実績を中心として評価します。
		志 願 理 由 書	○志望理由、地学の専門分野に対する学習への意欲、適性等を評価します。

帰 国	物 理 系	小 論 文	○自然科学についての思考力，独創性，発想力及び表現力等を総合的に判断，評価します。
		面 接	○志願理由，学習への意欲，適性，物理学の基礎学力（数学の基礎学力も含む）等を総合的に評価します。
		成績証明書等	○学業成績，就学状況，課外活動，特技，資格等を総合的に評価します。
	地 球 環 境 系	小 論 文	○自然科学についての思考力，独創性，発想力及び表現力等を総合的に判断，評価します。
		面 接	○志望理由，学習への意欲，適性等などを総合的に評価します。
		成績証明書等	○学業成績，就学状況，課外活動，特技・資格等を総合的に評価します。
私 費	物 理 系	面 接	○志願理由，学習への意欲，適性，物理学の基礎学力（数学の基礎学力も含む）等を総合的に評価します。
	地 球 環 境 系	面 接	○志望理由，学習への意欲，適性等を総合的に評価します。

ウ) 海洋自然科学科

一 般 選 抜	化 学 系	調 査 書	○学習に対する主体性を評価するため，「全体の学習成績の状況」を点数化します。
	生 物 系	調 査 書 (前 期 日 程)	○主体性・協調性を総合的に評価します。
		小 論 文 (後 期 日 程)	○設問に関する理解力，考察力，発想力及び表現力，主体性・協調性などを総合的に評価します。
学 校 推 薦 型 選 抜 II	化 学 系	面 接	○自然科学に対する学習意欲，化学に必要な論理的思考力・判断力・表現力，志望動機等を総合的に評価します。
		調 査 書	○学習に対する主体性を評価するため，「全体の学習成績の状況」を点数化します。
		推 薦 書 志 願 理 由 書	○面接の際に活用します。
	生 物 系	面 接	○生物学に対する関心と基礎知識，学習意欲，動機，適性等を総合的に評価します。
		調 査 書	○生物学に関する活動や資格，指導上参考となる諸事項等特記事項等を評価します。
		推 薦 書	○面接の際に活用します。
		志 願 理 由 書	○生物学に関する関心の程度や，学習意欲，文章力や論理性などを総合的に評価します。
帰 国	化 学 系	小 論 文	○化学の基礎及びトピックス的内容からいくつかの設問を出題し，その設問に対する解答内容を点数化し，評価します。
		面 接	○意欲（動機，長所，将来計画），化学の基礎学力，海外生活経験，適性等を総合的に評価します。
		成績証明書等	○学業成績ならびに主に化学（あるいは科学全般）に関する活動及び特記事項を評価します。

帰 国	生 物 系	小 論 文	○設問に関する理解力，考察力，発想力及び表現力などを総合的に評価します。
		面 接	○生物学に対する関心と基礎知識，学習意欲，動機，適性，主体性・協調性等を総合的に評価します。
		成績証明書等	○学業成績及び生物学に関する特記事項等を評価します。
私 費	化 学 系	面 接	○意欲（動機，興味のある化学の分野，大学で学びたいこと，将来計画，進路）および化学の基礎学力（日本留学試験の化学の出題範囲）を点数化し，評価します。
	生 物 系	面 接	○生物学に対する関心と基礎知識，学習意欲，動機，適性，主体性・協調性等を総合的に評価します。

7. 合否判定基準

全学部の基本的な合否判定基準（24ページ）も併せて参照してください。

ア）数理科学科

一 般 選 抜	○同点者の順位決定は，個別学力検査の数学の得点，次に共通テストの数学の得点で判定します。
私 費	○日本留学試験及び面接の成績等を総合して判定します。

イ）物質地球科学科

一 般 選 抜	物 理 系	前 期 日 程	○同点者の順位決定は，換算前の個別学力検査の物理の得点，次に換算前の共通テストの理科の得点で判定します。
		後 期 日 程	○同点者の順位決定は，共通テストの理科の得点で判定します。
	地 球 環 境 系	前 期 日 程	○同点者の順位決定は，換算前の共通テスト及び個別学力検査の理科の合計点で判定します。
		後 期 日 程	○同点者の順位決定は，共通テストの理科の合計点で判定します。
学校推薦型 選 抜 II	物 理 系	○共通テスト及び面接の総合点により判定します。	
	地 球 環 境 系	○共通テスト及び面接の総合点により判定します。	
帰 国	物 理 系	○小論文，面接，成績証明書（調査書）の評価に基づいて総合的に判定します。	
	地 球 環 境 系	○小論文・面接等の評価に基づいて総合的に判定します。	
私 費	物 理 系	○日本留学試験及び面接の成績を総合して判定します。	
	地 球 環 境 系	○総合点で判定します。	

ウ) 海洋自然科学科

一般選抜	化学系	前期日程	○同点者の順位決定は、共通テストの理科の合計点で判定します。
		後期日程	○同点者の順位決定は、共通テストの理科の合計点で判定します。
	生物系	前期日程	○同点者の順位決定は、共通テストの理科の合計点で判定します。
		後期日程	○共通テストの成績、小論文を総合的に判定します。 ○同点者の順位決定は、共通テストの理科の合計点で判定します。
学校推薦型 選 抜 II	化学系	○共通テスト、面接及び調査書の総合点により判定します。	
	生物系	○共通テスト、面接、調査書、推薦書及び志願理由書を総合して選考します。	
帰 国	化学系	○総合点で判定します。	
	生物系	○成績証明書（調査書）・小論文及び面接の成績等を総合して選考します。	
私 費	化学系	○総合点で判定します。	
	生物系	○日本留学試験及び面接の成績等を総合して選考します。	

8. 募集人員の留意事項

- (1) 物質地球科学科は、物理系（40名）と地球環境系（25名）に分け、海洋自然科学科は、化学系（47名）と生物系（48名）に分けて、それぞれ募集します。
- (2) 学校推薦型選抜には物質地球科学科の物理系と地球環境系、海洋自然科学科の化学系と生物系があり、募集人員は物理系が5名、地球環境系が3名、化学系が14名、生物系が1名です。
- (3) 定員補充について

- ① 以下の左欄の特別選抜の入学手続者が募集人員に満たなかった場合は、以下の右欄の選抜区分で満たない分の募集人員を補充します。

学 科	募集人員に満たなかった選抜区分	満たない分の募集人員の補充を行う選抜区分
物 質 地 球 科 学 科 (物理系・地球環境系) 海 洋 自 然 科 学 科 (化学系・生物系)	学校推薦型選抜 II	一般選抜（前期日程）

- ② 以下の左欄の特別選抜等の募集人員（若干名）は以下の右欄の選抜区分の募集人員に含まれます。

該当する特別選抜	特別選抜の募集人員を含む選抜区分
帰国生徒特別選抜 物質地球科学科（物理系・地球環境系） 海洋自然科学科（化学系・生物系）	一般選抜（前期日程）
私費外国人留学生特別選抜（各学科系）	一般選抜（後期日程）

- (4) 欠員補充

入学手続完了者が入学定員に達しなかった場合に、追加合格を実施してなお欠員がある場合は、欠員補充第2次募集を行うことがあります。

【14】各学部の入学者選抜について

医 学 部

医学部では、次の入学者選抜方法を実施します。

医学科

- (1) 一般選抜（前期日程・後期日程）
- (2) 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）

保健学科

- (1) 一般選抜（前期日程・後期日程）
- (2) 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）
- (3) 帰国生徒特別選抜
- (4) 私費外国人留学生特別選抜

募集人員は次のとおりです。

学部	学科・課程・(選抜方式)等	入学定員(名)	募 集 人 員 (名)								
			一般選抜		総合型選抜		学校推薦型選抜		社会人	帰国生徒	私 費 外国人
			分離分割方式		共通テストを課さない	共通テストを課す	共通テストを課さない	共通テストを課す			
			前期日程	後期日程							
医学部	医 学 科	100	70	23				7			
	保 健 学 科	60	41	10				9		若干名	
	計	160	111	33				16			

注：医学部医学科の学校推薦型選抜（共通テストを課す）の募集人員については、5ページを参照してください。

1. 一般選抜（前期日程・後期日程）	78ページ
2. 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）	79～80ページ
3. 帰国生徒特別選抜	81ページ
4. 私費外国人留学生特別選抜	82ページ
5. 個別学力検査等の採点・評価基準	82～83ページ
6. 合否判定基準	83ページ
7. 2段階選抜（医学部医学科）	84ページ
8. 募集人員の留意事項	84ページ

各選抜の出願手続、出願書類、個別学力検査等の実施日時及び試験会場等については、「学生募集要項」を必ず確認してください。

「学生募集要項」は本学ホームページに掲載します。（21ページ参照）

1. 一般選抜（前期日程・後期日程）

令和9年度入学者選抜の実施教科・科目等

学科等名	学力検査 区 分	大学入学共通テスト			個別学力検査等			計
		教科	科 目 名 等	配点	教科等	科目名等	配点	
医学科	前期	国	『国』	200	外	英	200	
		地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』 『地総／歴総／公共』（注）	100	数	数（甲）	200	
		公民	『公、倫』、『公、政・経』		理	[物基・物理], [化基・化学], [生基・生物] から2	200	
		数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ、数B、数C』	200				
		理	『物理』、『化学』、『生物』から2	200	その他	面接	200	
		外	『英』	200				
		情	『情報Ⅰ』	100				
		配点合計			1,000	配点合計	800	1,800
	後期	国	『国』	200	その他	小論文	100	
		地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』 『地総／歴総／公共』（注）	100		面接	200	
		公民	『公、倫』、『公、政・経』					
		数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ、数B、数C』	200				
		理	『物理』、『化学』、『生物』から2	200				
		外	『英』	300				
		情	『情報Ⅰ』	100				
		配点合計			1,100	配点合計	300	1,400
保健学科	前期	国	『国』	300	数	数（甲）	100	
		地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』 『地総／歴総／公共』（注）	100	理	[物基・物理], [化基・化学], [生基・生物] から1	200	
		公民	『公、倫』、『公、政・経』		その他	面接	100	
		数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ、数B、数C』	200				
		理	『物理』、『化学』、『生物』から2	200				
		外	『英』	300				
		情	『情報Ⅰ』	100				
		配点合計			1,200	配点合計	400	1,600
	後期	国	『国』	300	その他	小論文	100	
		地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』 『地総／歴総／公共』（注）	100		面接	200	
		公民	『公、倫』、『公、政・経』					
		数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ、数B、数C』	200				
		理	『物理』、『化学』、『生物』から2	200				
		外	『英』	300				
		情	『情報Ⅰ』	100				
		配点合計			1,200	配点合計	300	1,500

（注）地歴・公民の科目『地総／歴総／公共』を選択する場合、出題範囲（「地理総合」、「歴史総合」、「公共」）のうち、いずれか2つを選択解答し、1科目とします。

2. 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）

※国公立大学の学校推薦型選抜は、共通テストを課すもの及び課さないものを含め、1つの大学・学部にし
か出願できません。

※入学定員の増加が認められた場合、詳細について、本学ホームページ等で公表します。（5ページ参照）

学校推薦型選抜Ⅱ－1

実施学部 ・学科等	医学部 医学科																
募集人員	7 名																
出 願 要 件	次の（１）～（６）に該当する者 （１）沖縄県の高等学校等（＊）在学中に沖縄県に居住し、令和7年4月1日以降に沖縄県の高等学校等を卒業した者及び令和9年3月に卒業見込みの者で出身学校長から推薦を受けた者 （２）沖縄県内離島地域（石垣市、宮古島市、久米島町）ならびに沖縄県本島北部地域（大宜味村、今帰仁村、本部町、名護市、宜野座村）に所在する高等学校等を卒業又は卒業見込みの者 （３）沖縄県で将来の医療を担う強い意志があり、かつ沖縄県が貸与する地域医療従事医師確保修学資金の受給を確約できる者 （４）人物、学力ともに優れ、高等学校における全体の学習成績の状況が4.3以上の者 （５）合格した場合は、入学することを確約できる者 （６）入学後は、沖縄県(地域枠)キャリア形成卒前プランの適用を受け、医師免許取得後は、沖縄県地域枠キャリア形成プログラムに従うことを確約できる者 ※地域医療従事医師確保修学資金の概要 本選抜での入学者全員に対し、沖縄県が学費、生活費など修学に必要な資金を貸し付けます。入学者は、卒業までの6年間修学資金を受給する必要があります。 大学卒業後は、沖縄県地域枠キャリア形成プログラムのもとで原則として琉球大学病院にて臨床研修医として勤務し、その後は沖縄県知事が指定する医療機関に医師として一定期間勤務していただきます。専攻する診療科によって異なりますが、臨床研修を合せて9～14年間勤務していただきます（うち離島・北部の医療機関に4年間）。この場合、修学資金貸与額の全額の返還が免除されます。 (参考) 沖縄県地域枠キャリア形成プログラム (https://www.chi.med.u-ryukyu.ac.jp/uploads/2026/04/eeb5cf760fbf81eae273549413a1d0f9.pdf) 沖縄県(地域枠)キャリア形成卒前プラン (http://www.chi.med.u-ryukyu.ac.jp/uploads/2024/01/b3599274a739942fb2f4e1ec3adfc0e2.pdf) 沖縄県医師修学資金貸与規則 (https://www.chi.med.u-ryukyu.ac.jp/uploads/2025/10/654eb8d337ac44c03cfd58dce11e3f51.pdf)																
選抜方法等	高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績、個別学力検査等の成績を総合して選考します。 ○共通テスト利用教科・科目（6教科8科目） <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科</th><th>科目等</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国</td><td>『国』</td></tr> <tr> <td>地歴</td><td>『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総／歴総／公共』（注1）</td></tr> <tr> <td>公民</td><td>『公、倫』、『公、政・経』から1</td></tr> <tr> <td>数</td><td>『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ、数B、数C』</td></tr> <tr> <td>理</td><td>『物理』、『化学』、『生物』から2</td></tr> <tr> <td>外</td><td>『英』</td></tr> <tr> <td>情</td><td>『情報Ⅰ』</td></tr> </tbody> </table> （注1）地歴・公民の科目『地総／歴総／公共』を選択する場合、出題範囲（「地理総合」、「歴史総合」、「公共」）のうち、いずれか2つを選択解答し、1科目とします。 ○個別学力検査等 ・小論文 ・面接	教科	科目等	国	『国』	地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総／歴総／公共』（注1）	公民	『公、倫』、『公、政・経』から1	数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ、数B、数C』	理	『物理』、『化学』、『生物』から2	外	『英』	情	『情報Ⅰ』
教科	科目等																
国	『国』																
地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総／歴総／公共』（注1）																
公民	『公、倫』、『公、政・経』から1																
数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ、数B、数C』																
理	『物理』、『化学』、『生物』から2																
外	『英』																
情	『情報Ⅰ』																
出 願 期 間	令和8年11月 1日（日）～11月 6日（金）																
選 抜 期 日	令和8年12月 2日（水）																
合 格 発 表	令和9年 2月 9日（火）																
そ の 他	各高等学校等の長が推薦できる人数は、1高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき3名以内																

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

実施学部・学科等	医学部 保健学科																
募集人員	9 名（うち専門高校・総合学科卒業生枠 1 名）																
出願要件	次の（１）～（４）に該当する者 （１）高等学校等（*）を令和 9 年 3 月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第 9 3 条第 3 項の規定に基づき令和 8 年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者 （２）学習成績・人物が優秀で、出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者 なお、全体の学習成績の状況が 4. 3 以上の者 （３）合格した場合は、入学することを確約できる者 （４）専門高校・総合学科卒業生枠にあっては、高等学校の総合学科を令和 9 年 3 月卒業見込みの者で福祉及び看護関係科目を 2 0 単位以上履修した者又は履修見込みの者又は看護関係学科を令和 9 年 3 月卒業見込みのもの																
選抜方法等	高等学校等の長の推薦に基づき、共通テストの成績、個別学力検査等の成績を総合して選考します。 ○共通テスト利用教科・科目（6 教科 8 科目） <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科</th><th>科目等</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国</td><td>『国』</td></tr> <tr> <td>地歴</td><td>『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総／歴総／公共』（注 1）</td></tr> <tr> <td>公民</td><td>『公、倫』、『公、政・経』から 1</td></tr> <tr> <td>数</td><td>『数Ⅰ、数Ⅱ』、『数Ⅲ、数Ⅳ、数Ⅴ』から 1</td></tr> <tr> <td>理</td><td>『物理』、『化学』、『生物』から 2</td></tr> <tr> <td>外</td><td>『英』</td></tr> <tr> <td>情</td><td>『情報Ⅰ』</td></tr> </tbody> </table> （注 1）地歴・公民の科目『地総／歴総／公共』を選択する場合、出題範囲（「地理総合」、「歴史総合」、「公共」）のうち、いずれか 2 つを選択解答し、1 科目とします。 ○個別学力検査等 ・面接 ・調査書	教科	科目等	国	『国』	地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総／歴総／公共』（注 1）	公民	『公、倫』、『公、政・経』から 1	数	『数Ⅰ、数Ⅱ』、『数Ⅲ、数Ⅳ、数Ⅴ』から 1	理	『物理』、『化学』、『生物』から 2	外	『英』	情	『情報Ⅰ』
教科	科目等																
国	『国』																
地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総／歴総／公共』（注 1）																
公民	『公、倫』、『公、政・経』から 1																
数	『数Ⅰ、数Ⅱ』、『数Ⅲ、数Ⅳ、数Ⅴ』から 1																
理	『物理』、『化学』、『生物』から 2																
外	『英』																
情	『情報Ⅰ』																
出願期間	令和 8 年 1 1 月 1 日（日）～1 1 月 6 日（金）																
選抜期日	令和 8 年 1 2 月 2 日（水）																
合格発表	令和 9 年 2 月 9 日（火）																
その他	各高等学校等の長が推薦できる人数は、1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）につき 2 名内																

* 「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

3. 帰国生徒特別選抜

帰国生徒特別選抜－1

実施学部・学科等	医学部 保健学科
募集人員	若干名
出願要件	日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務等の事情により外国に2年以上滞在しており、次のいずれかに該当するもの。ただし、令和7年3月31日以前に帰国（一時的な短期の帰国を除く。）した者は、出願を認めない。 (1) 学校教育における12年の課程を修了した者又は令和9年3月31日までに修了見込みの者で、原則として、外国において最終学年を含め、2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けているもの（ただし、外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を実施している学校に在学して教育を受けた期間は、「2年以上」という期間には算入しない。）もしくは外国において当該国における12年の課程修了相当の学力認定試験に合格し、令和9年3月31日までに18歳に達する者 (2) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を授与された者、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を取得した者、フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を取得した者及びグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCE-Aレベル）を取得した者 (3) 本学において、個別の入学資格審査により入学資格認定書の交付を受けた者 ○上記（3）に該当する志願者は、10ページの入学資格審査を参照すること。
選抜方法等	共通テストを免除し、成績証明書（調査書）、小論文及び面接を総合して行います。
出願期間	令和8年11月 1日（日）～11月 6日（金）
選抜期日	令和8年12月 2日（水）
合格発表	令和9年 2月 9日（火）
その他	1. 出願書類 (1) 出願確認票、卒業（修了）証明書又は同見込み証明書、成績証明書、身上記録、保護者の在外勤務などに関する証明書等 (2) 国際バカロレア資格を取得した者は、その証明書の写しと最終試験6科目の成績評価証明書 (3) アビトゥア資格を取得した者は、一般的大学入学資格証明書（Zeugnis der allgemeinen Hochschulreife）の写し (4) バカロレア資格（フランス共和国）を取得した者は、その証明書の写し (5) ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCE-Aレベル）を有する者は、成績評価証明書 ※ 外国の学校又は機関が作成する書類について、日本語以外の場合は、日本語訳を添付すること。 ※ 表彰を受けた者は、関係書類の写しを添付すること。 2. 本学他学部・学科等の帰国生徒特別選抜との併願は認めない。

4. 私費外国人留学生特別選抜

医学部保健学科では、私費外国人留学生特別選抜を実施します。詳細は106～108ページを参照してください。

5. 個別学力検査等の採点・評価基準

① 教科・科目

外国語	○読解問題では、情報や概念などを理解する力、概要や要点を捉える力、文章の論理的な構成を理解する力を語彙、文法、論理性の観点から総合的に評価します。 ○口頭表現問題では、場面や目的に応じた基本的な慣用句や熟語、英語的言い回しの習熟度等の観点から評価します。 ○作文問題では、内容、文章構成力、表現力の観点から評価します。 ○綴りや文法上誤りがあり、解答が完全に正しくない場合でもコミュニケーションの観点から理解可能であれば誤りの度合いに応じた部分点を与えます。
数 学	○記述式の問題を出題することにより、数学の基本的な知識・技能、論理的思考力及び表現力が身についているかを評価します。 ○問題用紙に明記された配点に従って得点を合計します。 ○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与えます。 ○記述式の問題の場合、途中の推論及び計算を記述せずに結論（最終的な答え）のみを書いても得点を与えません。
物 理	○自然科学についての思考力、独創性、発想力及び表現力などを総合的に判断、評価します。 ○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与えます。
化 学	○自然科学についての思考力、独創性、発想力及び表現力などを総合的に判断、評価します。 ○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与えます。
生 物	○生物の基礎的知識に加え、設問の内容を的確に判断し、論理的に記述・表現する力を、総合的に評価します。 ○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与えます。
地 学	○設問の趣旨をよく理解しているか、また、自然科学についての思考力、独創性、発想力及び表現力などが備わっているかを、総合的に判断、評価します。 ○解答（記述、計算）が完全には正しくない場合でも、理解の度合いに応じた部分点を与えます。

② 教科・科目以外の科目

※「帰国」は帰国生徒特別選抜、「私費」は私費外国人留学生特別選抜を意味します。

ア) 医学科

一般選抜	小論文 (後期日程)	○思考力、独創性、発想力、表現力等を総合的に評価します。
	面接	○適性、意欲、表現力等を総合的に評価します。
	調査書	○面接の参考にします。
	志願理由書	○面接の参考にします。
学校推薦型 選 抜 II	小論文	○思考力、独創性、発想力、表現力等を総合的に評価します。
	面接	○適性、意欲、表現力等を総合的に評価します。
	調査書	○面接の参考にします。
	推薦書	○面接の参考にします。
	志願理由書	○面接の参考にします。

イ) 保健学科

一般選抜	小論文 (後期日程)	○課題に対する理解力及び文章表現力(論理性, 独創性, 表現力等)を総合的に評価します。
	面接	○動機, 意欲, 適性, 表現力等を総合的に評価します。
	調査書	○面接の参考にします。
	志願理由書	○面接の参考にします。
学校推薦型 選抜Ⅱ	面接	○動機, 意欲, 適性, 表現力等を総合的に評価します。
	調査書	○学力, リーダーシップ, 課外活動, 表彰等を総合的に評価します。
	推薦書	○面接の参考にします。
	志願理由書	○面接の参考にします。
帰国	小論文	○課題に対する理解力及び文章表現力(論理性, 独創性, 表現力等)を総合的に評価します。
	面接	○動機, 意欲, 適性, 表現力等を総合的に評価します。
	成績証明書等 (調査書)	○面接の参考にします。
	志願理由書	○面接の参考にします。
私費	面接	○動機, 意欲, 適性, 表現力等を総合的に評価します。
	志願理由書	○面接の参考にします。

6. 合否判定基準

全学部の基本的な合否判定基準(24ページ)も併せて参照してください。

ア) 医学科

一般選抜	○合格ラインに同点者がいる場合には, 次の順序に従って順位を付して合格者とします。 ①個別学力検査等の高得点者 ②共通テストの英語の高得点者 ③共通テストの数学の高得点者 ④共通テストの理科の高得点者 ⑤面接の高得点者
学校推薦型 選抜Ⅱ	○合格ラインに同点者がいる場合には, 次の順序に従って順位を付して合格者とします。 ①面接の高得点者 ②小論文の高得点者 ③共通テストの外国語の高得点者 ④共通テストの数学の高得点者 ⑤共通テストの理科の高得点者

イ) 保健学科

一般選抜	○合格ライン上に同点者がいる場合は, 次の順序に従って合格者を決めます。 ①個別学力検査等の高得点者 ②共通テストの英語の高得点者
学校推薦型 選抜Ⅱ	○共通テスト, 調査書, 面接の総合点により判定します。
帰国	○小論文, 面接等の評価に基づいて総合的に判定します。
私費	○日本留学試験, 面接の評価に基づいて総合的に判定します。

7. 2段階選抜（医学部医学科）

医学部医学科（一般選抜（前期日程・後期日程））において、入学志願者が前期日程は募集人員の約5倍、後期日程は募集人員の約10倍を超えた場合には、共通テストの成績（「令和9年度入学者選抜の実施教科・科目等」（78ページ参照）の配点による成績）による第1段階選抜を行い、その合格者について個別学力検査等による第2段階選抜を行うことがあります。実施の有無は、本学ホームページ「入試情報」でお知らせします。

8. 募集人員の留意事項

（1）定員補充について

①医学科及び保健学科では、学校推薦型選抜の入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、満たない分の募集人員を前期日程の募集人員に加えます。

学 科	募集人員に満たなかった選抜区分	満たない分の募集人員を加える選抜区分
医 学 科	学校推薦型選抜Ⅱ	一般選抜（前期日程）
保 健 学 科	学校推薦型選抜Ⅱ	一般選抜（前期日程）

②保健学科の前期日程の募集人員には、帰国生徒特別選抜及び私費外国人留学生特別選抜の募集人員を含みます。

学 科	該当する特別選抜	特別選抜の募集人員を含む選抜区分
保 健 学 科	帰国生徒特別選抜	一般選抜（前期日程）
	私費外国人留学生特別選抜	

（2）医学科では、入学後、一般コースと地域医療コースの2コースに分かれます。原則として、一般選抜（前期日程・後期日程）により入学した者は一般コース、学校推薦型選抜Ⅱにより入学した者は地域医療コースとなります。2つのコース間では入学者が受講する科目の一部が異なります。各コースの特徴は次の通りです。

一 般 コ ー ス：従来のカリキュラムをベースに、アクティブラーニング科目を受講する。

地域医療コース：従来のカリキュラムを基本としつつ、低学年次からプライマリ・ケアの能力を身に付けるための科目を受講する。

（3）保健学科では、入学後、看護学コース・検査技術学コースの2つのコースに分かれます。なお、看護学コースの学生は、2年次以降に、保健師（15名程度）、または助産師（6名程度）もしくは養護教諭（10名程度）の免許取得のためのカリキュラムをいずれか1つ選択することができます。選抜にあたっては、入学後の成績等を考慮します。

（4）欠員補充

入学手続完了者が入学定員に達しなかった場合に、追加合格を実施してなお欠員がある場合は、欠員補充第2次募集を行うことがあります。

【14】各学部の入学者選抜について

工 学 部

工学部では、次の入学者選抜方法を実施します。

工学科

- (1) 一般選抜（前期日程・後期日程）
- (2) 総合型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）
- (3) 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）
- (4) 社会人特別選抜
- (5) 私費外国人留学生特別選抜

募集人員は次のとおりです。

学部	学科・課程・(選抜方式)等		入学 定員 (名)	募 集 人 員 (名)								
				一般選抜		総合型選抜		学校推薦型選抜		社会人	帰国 生徒	私 費 外国人
				前期日程	後期日程	共通テスト を課さない	共通テスト を課す	共通テスト を課さない	共通テスト を課す			
工学部	工学科	機 械 工 学 コ ー ス	350	209	37	6			11	若干名		若干名
		エネルギー機械工学コース				10			7	若干名		若干名
		電気システム工学コース				2			9	若干名		若干名
		電 子 情 報 通 信 コ ー ス				4			7	若干名		若干名
		環 境 都 市 工 学 コ ー ス				5			10	若干名		若干名
		建 築 学 コ ー ス				2			10	若干名		若干名
		知 能 情 報 コ ー ス				7			14	若干名		若干名
		計		350	209	37	36			68		

1. 一般選抜（前期日程・後期日程）…………… 86ページ
2. 総合型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）…………… 87～88ページ
3. 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）…………… 89～90ページ
4. 社会人特別選抜…………… 91ページ
5. 私費外国人留学生特別選抜…………… 91ページ
6. 個別学力検査等の採点・評価基準…………… 92ページ
7. 合否判定基準…………… 93ページ
8. 工学部の選抜方法等について…………… 93ページ
9. 募集人員の留意事項…………… 93～94ページ

各選抜の出願手続、出願書類、個別学力検査等の実施日時及び試験会場等については、「学生募集要項」を必ず確認してください。

「学生募集要項」は本学ホームページに掲載します。（21ページ参照）

1. 一般選抜（前期日程・後期日程）
令和9年度入学者選抜の実施教科・科目等

学科等名	学力検査 区 分	大学入学共通テスト			個別学力検査等			計
		教科	科 目 名 等	配点	教科等	科目名等	配点	
工学科	前期	国	『国』	200	数	数学（甲）	300	
		地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』	100	理	[物基・物理]	200	
		公民	『公、倫』、『公、政・経』	100	その他	調査書	150	
		数	『数Ⅰ、数Ⅱ』、『数Ⅲ、数Ⅳ、数Ⅴ』	300				
		理	『物理』〈必須〉	100				
			『物基／化基／生基／地基』、『化学』、『生物』、『地学』から1（注）	100				
		外	『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から1	200				
		情	『情報Ⅰ』	100				
	配点合計			1,100	配点合計		650	1,750
	後期	数	『数Ⅰ、数Ⅱ』、『数Ⅲ、数Ⅳ、数Ⅴ』	400	その他	調査書	100	
		理	『物理』〈必須〉	200				
			『物基／化基／生基／地基』、『化学』、『生物』、『地学』から1（注）	200				
		外	『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から1	200				
		情	『情報Ⅰ』	100				
	配点合計			1,100	配点合計		100	1,200

（注）理科の科目『物基／化基／生基／地基』を選択する場合、出題範囲（「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」）のうち、いずれか2つを選択解答し、1科目とします。また、同一名称を付した科目の選択は認めません。（例：「物理基礎」と「物理」、「化学基礎」と「化学」）

2. 総合型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）

実施学部・学科等		工学部 工学科	
募集人員	36名	機械工学コース	6名（うち一般枠3名，女子枠3名）
		エネルギー機械工学コース	10名（うち一般枠5名，女子枠5名）
		電気システム工学コース	2名
		電子情報通信コース	4名
		環境都市工学コース	5名（うち一般枠3名，女子枠2名）
		建築学コース	2名
		知能情報コース	7名
※女子枠を設けているコースを志願する女子志願者は，一般枠と女子枠から1つを選択し，出願してください。併願はできません。			
出願資格	次の1～4すべてに該当する者 1. 次のいずれかに該当する者 （1）高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和9年3月31日までに卒業見込みの者 （2）通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和9年3月31日までに修了見込みの者 （3）学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者 2. 学業成績優秀で，全体の学習成績の状況が3.5以上の者 3. 工学部工学科で学ぶための一定の基礎学力と強い意欲を持つ者 4. 合格した場合は入学することを確約できる者 ○1. の（3）に該当する志願者は，10ページの入学資格審査を参照すること。		
選抜方法等	志願理由書，自己推薦書，活動内容を証明する資料，活動内容を証明する資料の概要，調査書を総合して第1次選考（書類選考）を行い，合格者に対し第2次選考（プレゼンテーション，面接，口頭試問）を実施し，総合して選考します。 1. 第1次選考・・・・・・書類選考 2. 第2次選考・・・・・・個別面接等 （1）プレゼンテーション 課題について10分程度の口頭発表形式でプレゼンテーション（液晶プロジェクター，レジュメ，ポスター等を使用）を行った後，質疑応答を実施します。各コースの課題例は以下のとおりです。 ※プレゼンテーションの課題等の詳細は，9月上旬頃，工学部のホームページへ掲載します。（ https://www.tec.u-ryukyu.ac.jp/ ） （2）面接 志願理由書及び自己推薦書を基に面接します。 （3）口頭試問 数学，物理の基礎に関する口頭試問を実施します。 【機械工学コース】 以下の2つの課題についてプレゼンテーションをしてもらいます。 1）志願理由書に基づく，本人の興味のある機械工学分野の技術内容について 2）自己推薦書（活動内容資料を含む）に基づく，本人の優れた特質，経験や成果について 【エネルギー機械工学コース】 以下の2つの課題についてプレゼンテーションをしてもらいます。 1）エネルギー，環境に配慮した機械工学分野（例えば再生可能エネルギー，環境技術，設計・計測等）における本人の興味ある技術内容について 2）これまでの本人の活動における優れた特質，経験や成果について		

選抜方法等	【電気システム工学コース】 電力工学，電力変換，電気機器，制御工学，ロボティックスの専門分野から出題 【電子情報通信コース】 電子材料・デバイス，電子回路，通信工学，計測工学，計算機工学の専門分野から出題 【環境都市工学コース】 都市計画や環境まちづくり，自然災害や防災・減災，インフラ整備・維持管理などに関するテーマについて，プレゼンテーションをしてもらいます 【建築学コース】 建築に関連する課題についてプレゼンテーションをしてもらいます。 【知能情報コース】 以下の2つに関連する課題についてプレゼンテーションを課します。 1) 知能情報関連分野における本人の興味ある技術内容 2) これまでの本人の活動における優れた特質，経験や成果 求める学生像や評価基準等については下記URLよりご確認ください。 (https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/policy/faculty_admission-policy/)
出願期間	令和8年 9月 1日(火)～9月 3日(木)
第2次選考	令和8年 9月29日(火)，[9月30日(水)] ※ [] 内は暴風警報の発令等で期日に試験が実施できない場合の日程
合格発表	第1次選考合格発表：令和8年 9月16日(水) 最終合格発表：令和8年11月 1日(日)
入学手続	令和8年11月 5日(木)～13日(金)
その他	入学前教育：工学部全体でのオリエンテーションを実施します。 課題については別途案内します。

3. 学校推薦型選抜Ⅱ（共通テストを課す）

※国公立大学の学校推薦型選抜は、共通テストを課すもの及び課さないものを含め、1つの大学・学部しか出願できません。

学校推薦型選抜Ⅱ－1

実施学部・学科等	工学部 工学科	
募集人員	68名	機械工学コース 11名（うち一般枠5名，専門高校卒業生枠2名，女子枠4名） エネルギー機械工学コース 7名（うち一般枠3名，専門高校卒業生枠2名，女子枠2名） 電気システム工学コース 9名（うち専門高校卒業生枠1名） 電子情報通信コース 7名（うち専門高校卒業生枠1名） 環境都市工学コース 10名（うち一般枠4名，専門高校卒業生枠2名，女子枠4名） 建築学コース 10名（うち専門高校卒業生枠1名） 知能情報コース 14名（うち専門高校卒業生枠3名）
	※女子枠を設けているコースを志願する女子志願者は，一般枠と女子枠から1つを選択し，出願してください。併願はできません。 ※専門高校生及び卒業生は，専門高校卒業生枠を選択し，出願することができます。併願はできません。	
出願要件	一般枠・女子枠	専門高校卒業生枠
	次の（１）～（３）に該当する者 （１）高等学校等（*）を令和9年3月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和8年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者 （２）学習成績・人物が優秀で，出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で，全体の学習成績の状況が3.5以上のもの （３）合格した場合は，入学することを確約できるもの	次の（１）～（３）に該当する者 （１）工業高等学校，水産高等学校及び商工農高等学校等を令和9年3月卒業見込みの者又は卒業後1年以内のもの （２）学習成績・人物が優秀で，出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で，全体の学習成績の状況が3.5以上のもの （３）合格した場合は，入学することを確約できるもの
選抜方法等	高等学校等の長の推薦に基づき，共通テストの成績，個別学力検査等の成績を総合して選考します。 出願を希望する者は，第1志望コースのみ出願することができます。自分の適性や将来に向けて学びたい専門性を考慮し記入してください。	
	○共通テスト利用教科・科目（4教科6科目）	
	教科	科目等
	数	『数Ⅰ，数A』，『数Ⅱ，数B，数C』
	理	環境都市工学コース： 『物理』，『化学』から1＜必須＞ 『物基／化基／生基／地基』，『物理』，『化学』，『生物』，『地学』のうち，＜必須＞で選択した科目を除いた中から1（注） その他のコース： 『物理』＜必須＞ 『物基／化基／生基／地基』，『化学』，『生物』，『地学』から1（注）
外	『英』，『独』，『仏』，『中』，『韓』から1	
情	『情報Ⅰ』	

選抜方法等	(注) 理科の『物基／化基／生基／地基』を選択する場合、出題範囲（物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎）から2つを選択解答し、1科目とします。また、同一名称を付した科目の選択は認めません。（例：「物理基礎」と「物理」，「化学基礎」と「化学」） ○個別学力検査等 ・面接・調査書・志願理由書
出願期間	令和8年11月 1日（日）～11月 6日（金）
選抜期日	令和8年12月 2日（水）
合格発表	令和9年 2月 9日（火）
その他	1 高等学校等（定時制及び通信制の課程を含む）の長が推薦できる人数は、制限しません。

*「高等学校等」とは、高等学校、高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程をいう。

4. 社会人特別選抜

社会人特別選抜－１

実施学部 ・学科等	工学部 工学科
募集人員	機械工学コース エネルギー機械工学コース 電気システム工学コース 電子情報通信コース 環境都市工学コース 建築学コース 知能情報コース 各コース若干名
出願要件	次の各号の１つに該当する者で、常勤（自営業、フリーランスを含み、雇用形態は問わない）として３年以上の勤務経験を有し、令和９年４月１日以降も同一の企業等に継続して勤務するもの （１）高等学校又は中等教育学校を卒業した者 （２）通常の課程による１２年の学校教育を修了した者 （３）外国において、学校教育における１２年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの （４）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者 （５）文部科学大臣が指定した者 （６）高等学校卒業程度認定試験規則（平成１７年文部科学省令第１号）により、文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第２条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和２６年文部省令第１３号）に基づく大学入学資格検定に合格した者を含む。） （７）本学において、個別の入学資格審査により入学資格認定書の交付を受けた者 ○上記（７）に該当する志願者は、１０ページの入学資格審査を参照すること。
選抜方法等	共通テストを免除し、個別学力検査等の成績を総合して選考します。 出願を希望する者は、第１志望コースのみ出願することができます。 ○個別学力検査等 ・口頭試問を含む面接 ・志願理由書
出願期間	令和９年 １月１８日（月）～ １月２２日（金）
選抜期日	令和９年 ２月２６日（金）
合格発表	令和９年 ３月 ６日（土）

5. 私費外国人留学生特別選抜

工学部では、私費外国人留学生特別選抜を実施します。詳細は１０６～１０８ページを参照してください。

6. 個別学力検査等の採点・評価基準

① 教科・科目

数 学	○記述式の問題を出題することにより、数学の基本的な知識・技能、論理的思考力及び表現力が身についているかを評価します。 ○問題用紙に明記された配点に従って得点を合計します。 ○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与えます。 ○記述式の問題の場合、途中の推論及び計算を記述せずに結論（最終的な答え）のみを書いても得点を与えません。
物 理	○自然科学についての思考力、独創性、発想力及び表現力などを総合的に判断、評価します。 ○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与えます。

② 教科・科目以外の科目

※「社会人」は社会人特別選抜、「私費」は私費外国人留学生特別選抜を意味します。

工学科

一般選抜	調 査 書		○「全体の学習成績の状況」を点数化します。
総 合 型 選 抜 I	第 1 次 選 考	志 願 理 由 書	○志願する目的意識，内容の論理性，将来計画，意欲・関心などを評価し，点数化します。
		自 己 推 薦 書	○学業に関わる活動の状況，その他の活動の状況等を評価し，点数化します。
		活 動 内 容 資 料	○自己推薦書を点数化する際の資料とします。
		調 査 書	○「全体の学習成績の状況」を点数化します。
	第 2 次 選 考	プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン	○プレゼンテーション（質疑応答含む）をとおして総合的な能力を評価し，点数化します。
		面 接	○志願理由・動機，将来計画及び長所・特技・自己アピールなどの質疑をとおして，意欲や個性などを評価し，点数化します。
		口 頭 試 問	○数学，物理の基礎学力を評価する口頭試問を行い，点数化します。
学 校 推 薦 型 選 抜 II	面 接		○志願理由・動機，将来計画及び長所・特技・自己アピールなどの質疑をとおして，意欲や個性などを評価し，点数化します。
	志 願 理 由 書		○志望動機，将来計画，長所・特技，自己アピール等を総合的に評価し，点数化します。
	調 査 書		○「全体の学習成績の状況」を点数化します。
	推 薦 書		○面接の際に参考とします。
社 会 人	口 頭 試 問 を 含 む 面 接		○志願理由・動機，将来計画及び長所・特技・自己アピールなどの質疑をとおして，意欲や個性などを評価し，点数化します。 ○数学，物理の基礎学力を評価する口頭試問を行い，点数化します。
	志 願 理 由 書		○志望動機，将来計画，長所・特技，免許類，自己アピール等を総合的に評価し，点数化します。
私 費	口 頭 試 問 を 含 む 面 接		○志望理由・動機，将来計画及び長所・特技・自己アピールなどの質疑をとおして，意欲や個性などを評価し，点数化します。 ○数学，物理の基礎学力を評価する口頭試問を行い，点数化します。

7. 合否判定基準

全学部の基本的な合否判定基準（24ページ）も併せて参照してください。

工学科

一般選抜	○総合得点が同点の場合は、共通テストの得点に基づき順位付けを行います。その結果、同点の場合は全員同順位とし、その順位が合格者の最下位である場合は、全員合格とします。
総合型選抜Ⅰ	○第1次選考では、志願理由書、自己推薦書、調査書を点数化し、その合計点で志願コースの志願枠ごとに順位付けを行い、合否を判定します。 ○第2次選考では、プレゼンテーション、面接、口頭試問の点数と第1次選考の点数を加えた合計点で志願コースの志願枠ごとに順位付けを行い、合否を判定します。
学校推薦型選抜Ⅱ	○共通テスト、調査書、志願理由書、面接を点数化し、総合得点で志願コースの志願枠ごとに順位付けを行い、合否を判定します。
社会人	○口頭試問を含む面接、志願理由書を点数化し、総合得点で順位付けを行い、合否を判定します。
私費	○日本留学試験、口頭試問を含む面接を点数化し、総合得点で順位付けを行い、合否を判定します。

8. 工学部の選抜方法等について

工学部の一般選抜は、工学科全体で入学者選抜試験を実施します。出願を希望する者は、出願時に工学科7コースに対する志望順位を記入してください。

工学科全体で、共通テストと個別学力検査等の総合点に関して上位から順に合格者を決定します。

その上で、次の方法により志望に沿って合格者を各コースに配属します。総合点の上位者から各コースの受け入れ人員の目安を考慮して、その志望順の上位者から順に配属します。続いて、同様な手順を第2志望、第3志望の順に第7志望まで繰り返して合格者の上位志望順に配属します。志望順位を第7志望まで記入していない場合には、志望順位を記入していないコースに配属されることがあります。

各コースの専門分野の詳細は工学部ホームページを参照して、7コースを選定する際の参考としてください。

配属コース名は合格通知書にて通知します。

各コースの受入人員の目安は前期日程30名程度、後期日程5名程度です。

コース配属の変更は、2年次前学期開始前に本人の希望、1年次の学力成果および実験や演習等の設備数を考慮して変更するシステムであり、必ずしも希望するコースにコース変更できるわけではありません。

なお、コース変更は希望する学生のみで、希望しない学生のコース変更はありません。

9. 募集人員の留意事項

(1) 一般選抜の選抜は工学科で実施します。

共通テストと個別学力検査等の総合点の上位から順に、工学科として合格者を決定し、その上で、志望に沿って合格者を各コースに配属します。

(2) 特別選抜（総合型選抜Ⅰ、学校推薦型選抜Ⅱ、社会人特別選抜、私費外国人留学生特別選抜）の選抜はコースごとに行います。合格者は志望コースに配属されます。

(3) 定員補充について

- ① 以下の特別選抜の合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合は、以下の選抜区分で満たない分の募集人員を補充します。

学 科	募集人員に満たなかった選抜区分	満たない分の募集人員の補充を行う選抜区分
工 学 科	総合型選抜Ⅰ	一般選抜（前期日程）
	学校推薦型選抜Ⅱ	

- ② 以下の特別選抜の募集人員（若干名）は以下の選抜区分の募集人員に含みます。

学 科	該当する特別選抜	特別選抜の募集人員を含む選抜区分
工 学 科	社会人特別選抜	一般選抜（後期日程）
	私費外国人留学生特別選抜	

(4) 欠員補充

- 入学手続完了者が入学定員に達しなかった場合に、追加合格を実施してなお欠員がある場合は、欠員補充第2次募集を行うことがあります。

【14】各学部の入学者選抜について

農 学 部

農学部では、次の入学者選抜方法を実施します。

亜熱帯地域農学科

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| (1) 一般選抜（前期日程・後期日程） | (2) 総合型選抜Ⅱ（共通テストを課す） |
| (3) 学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない） | (4) 帰国生徒特別選抜 |
| (5) 私費外国人留学生特別選抜 | |

亜熱帯農林環境科学科

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| (1) 一般選抜（前期日程・後期日程） | (2) 総合型選抜Ⅱ（共通テストを課す） |
| (3) 学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない） | (4) 帰国生徒特別選抜 |
| (5) 私費外国人留学生特別選抜 | |

地域農業工学科

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| (1) 一般選抜（前期日程・後期日程） | (2) 総合型選抜Ⅱ（共通テストを課す） |
| (3) 学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない） | (4) 帰国生徒特別選抜 |
| (5) 私費外国人留学生特別選抜 | |

亜熱帯生物資源科学科

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| (1) 一般選抜（前期日程・後期日程） | (2) 総合型選抜Ⅱ（共通テストを課す） |
| (3) 学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない） | (4) 帰国生徒特別選抜 |
| (5) 私費外国人留学生特別選抜 | |

亜熱帯生物資源科学科 健康栄養科学コース

- | | |
|----------------|----------------------|
| (1) 一般選抜（前期日程） | (2) 総合型選抜Ⅱ（共通テストを課す） |
|----------------|----------------------|

募集人員は次のとおりです。

学部	学科・課程・（選抜方式）等	入学定員 (名)	募 集 人 員 (名)								
			一般選抜		総合型選抜		学校推薦型選抜		社会人	帰国生徒	私 費 外国人
			分離分割方式		共通テスト を課さない	共通テスト を課す	共通テスト を課さない	共通テスト を課す			
			前期日程	後期日程							
農学部	亜 熱 帯 地 域 農 学 科	35	22	5		3	5		若干名	若干名	
	亜 熱 帯 農 林 環 境 科 学 科	35	22	5		3	5		若干名	若干名	
	地 域 農 業 工 学 科	25	16	2		2	5		若干名	若干名	
	亜 熱 帯 生 物 資 源 科 学 科	45	23	4		2	6		若干名	若干名	
	健康栄養科学コース		8			2					
	計	140	91	16		12	21				

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1. 一般選抜（前期日程・後期日程） | 96～97ページ |
| 2. 総合型選抜Ⅱ（共通テストを課す） | 98～99ページ |
| 3. 学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない） | 100ページ |
| 4. 帰国生徒特別選抜 | 101ページ |
| 5. 私費外国人留学生特別選抜 | 101ページ |
| 6. 個別学力検査等の採点・評価基準 | 102～103ページ |
| 7. 合否判定基準 | 103～104ページ |
| 8. 募集人員の留意事項 | 104～105ページ |

各選抜の出願手続、出願書類、個別学力検査等の実施日時及び試験会場等については、「学生募集要項」を必ず確認してください。

「学生募集要項」は本学ホームページに掲載します。（21ページ参照）

1. 一般選抜（前期日程・後期日程）
令和9年度入学選抜の実施教科・科目等

学科等名	学力検査 区 分	大学入学共通テスト			個別学力検査等			計
		教科	科 目 名 等	配点	教科等	科目名等	配点	
亜熱帯地 域農学科	前期	国	『国』	200	数	数（乙）	200	
		地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』 『地総／歴総／公共』（注1）	100	理	[物基・物理], [化基・化学], [生基・生物] から1	200	
		公民	『公、倫』、『公、政・経』					
		数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ、数B、数C』	200	その他	調査書	100	
		理	『物基／化基／生基／地基』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』 から2（注2）	200				
		外	『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から1	200				
		情	『情報Ⅰ』	100				
		配点合計			1,000	配点合計	500	1,500
	後期	数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ、数B、数C』	200	その他	口頭試問を 含む面接 調査書	300	
		理	『物基／化基／生基／地基』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』 から2（注2）	200			100	
		外	『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から1	200				
		情	『情報Ⅰ』	100				
		配点合計			700	配点合計	400	1,100
亜熱帯農 林環境科 学学科	前期	国	『国』	200	数	数（乙）	200	
		地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』 『地総／歴総／公共』（注1）	100	理	[物基・物理], [化基・化学], [生基・生物] から1	200	
		公民	『公、倫』、『公、政・経』					
		数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ、数B、数C』	200	その他	調査書	100	
		理	『物基／化基／生基／地基』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』 から2（注2）	200				
		外	『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から1	200				
		情	『情報Ⅰ』	100				
		配点合計			1,000	配点合計	500	1,500
	後期	数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅱ、数B、数C』	200	その他	口頭試問を 含む面接 調査書	300	
		理	『物基／化基／生基／地基』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』 から2（注2）	200			100	
		外	『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から1	200				
		情	『情報Ⅰ』	100				
		配点合計			700	配点合計	400	1,100

学科等名	学力検査 区 分	大学入学共通テスト			個別学力検査等			計
		教科	科 目 名 等	配点	教科等	科目名等	配点	
地域農業 工学科	前期	国	『国』	200	数	数（乙）	200	
		地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』 『地総／歴総／公共』（注１） 『公、倫』、『公、政・経』	}	から１	[物基・物理], [化基・化学], [生基・生物], [地基・地学] から１	200	
		公民						
		数						
		理	『物基／化基／生基／地基』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』 から２（注２）	200	その他	調査書	100	
		外	『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から１	200				
		情	『情報Ⅰ』	100				
		配点合計			1,000	配点合計		
	後期	数	『数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数Ⅳ、数Ⅴ』	200	その他	口頭試問を 含む面接 調査書	300	
		理	『物基／化基／生基／地基』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』 から２（注２）	200			100	
		外	『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から１	200				
		情	『情報Ⅰ』	100				
		配点合計			700	配点合計		
亜熱帯生 物資源科 学科学 (健康栄 養科学 コース を除く)	前期	国	『国』	200	数	数（乙）	200	
		地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』 『地総／歴総／公共』（注１） 『公、倫』、『公、政・経』	}	から１	[物基・物理], [化基・化学], [生基・生物] から１	200	
		公民						
		数						
		理	『物基／化基／生基／地基』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』 から２（注２）	200	その他	調査書	100	
		外	『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から１	200				
		情	『情報Ⅰ』	100				
		配点合計			1,000	配点合計		
	後期	数	『数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数Ⅳ、数Ⅴ』	150	その他	口頭試問を 含む面接 調査書	350	
		理	『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から２	300			50	
		外	『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から１	150				
		情	『情報Ⅰ』	100				
		配点合計			700	配点合計		
亜熱帯生 物資源科 学科学 (健康栄 養科学 コース)	前期	国	『国』	200	数	数（乙）	200	
		地歴	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』 『地総／歴総／公共』（注１） 『公、倫』、『公、政・経』	}	から１	[物基・物理], [化基・化学], [生基・生物] から１	200	
		公民						
		数						
		理	『物基／化基／生基／地基』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』 から２（注２）	200	その他	調査書	100	
		外	『英』、『独』、『仏』、『中』、『韓』から１	200				
		情	『情報Ⅰ』	100				
		配点合計			1,000	配点合計		

（注１）地歴・公民の科目『地総／歴総／公共』を選択する場合、出題範囲（「地理総合」、「歴史総合」、「公共」）のうち、いずれか２つを選択解答し、１科目とします。

（注２）理科の科目『物基／化基／生基／地基』を選択する場合、出題範囲（「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」）のうち、いずれか２つを選択解答し、１科目とします。また、同一名称を付した科目の選択は認めません。（例：「物理基礎」と「物理」、「化学基礎」と「化学」）

2. 総合型選抜Ⅱ（共通テストを課す）

実施学部・学科等	農学部 亜熱帯地域農学科, 亜熱帯農林環境科学科, 地域農業工学科, 亜熱帯生物資源科学科		
募集人員	12名	亜熱帯地域農学科 3名 亜熱帯農林環境科学科 3名 地域農業工学科 2名 亜熱帯生物資源科学科（健康栄養科学コースを除く） 2名 亜熱帯生物資源科学科（健康栄養科学コース） 2名	
出願資格	次の1～3すべてに該当する者 1. 次のいずれかに該当する者 （1）高等学校若しくは中等教育学校を令和7年4月以降に卒業した者及び令和9年3月31日までに卒業見込みの者 （2）通常の課程による12年の学校教育を令和7年4月以降に修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者 （3）学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和7年4月以降にこれに該当する者及び令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者 2. 農学部で学ぶ強い意欲を持つ者 3. 合格した場合は入学することを確約できる者 ※1. の（3）に該当する志願者は、10ページの入学資格審査を参照すること。		
選抜方法等	志願理由書、活動実績書、調査書を採点の上、プレゼンテーション及び面接並びに口頭試問を第1次選考とし、第2次選考で共通テストを課し、各試験の点数を総合して選考します。 1. 第1次選考（プレゼンテーション及び面接・口頭試問） 【亜熱帯地域農学科】【亜熱帯農林環境科学科】【地域農業工学科】 ○プレゼンテーション及び面接 活動実績書の内容から1つの活動について、自身のこれまでに行ってきた活動内容を説明し、それを踏まえて、今後、大学で学びたいことや実践したいと考えていることについて、数名の面接者の前で3分間のプレゼンテーションを行っていただきます。 発表者は、A4サイズ1枚の資料を基に、プレゼンテーションを行います。プレゼンテーションの際は手元にメモ等を準備しても構いませんが、道具の持ち込み、あるいはプロジェクターなどの機器の使用はできません。 続けて、プレゼンテーションに対する質疑応答（面接）を行います。 ○口頭試問 農学部で重要となる教科・科目（数学・理科・英語に関する科目）等に関する質問や一般的な知識に関する質問を行います。 【亜熱帯生物資源科学科（健康栄養科学コースを除く）】 ○プレゼンテーション及び面接 活動実績書の内容から1つの活動について、自身のこれまでの活動内容を説明し、それを踏まえて、今後、大学で学びたいことや実践したいことについて、数名の面接者の前で3分間のプレゼンテーションを行っていただきます。 発表者は、A4サイズ1枚の資料を基に、プレゼンテーションを行います。プレゼンテーションの際は手元にメモ等を準備しても構いませんが、道具の持ち込み、あるいはプロジェクターなどの機器の使用はできません。 プレゼンテーションの後、その内容に関して面接者からの質問に答えていただきます。 ○口頭試問 農学部で特に重要となる教科・科目（理科、特に化学や生物）等に関する質問や一般的な知識に関する質問を行います。		

選抜方法等	【亜熱帯生物資源科学科（健康栄養科学コース）】 ○プレゼンテーションを含む面接 一人ずつ、自身のこれまでの活動内容を説明し、それを踏まえて、今後、大学で学びたいことや実践したいと考えることについて、数名の面接者の前で3分間のプレゼンテーションを行っていただきます。 発表者は、A4サイズ1枚の資料を基に、プレゼンテーションを行います。プレゼンテーションの際は手元にメモ等を準備しても構いませんが、道具の持ち込み、あるいはプロジェクターなどの機器の使用はできません。 プレゼンテーションの後、その内容に関して面接者からの質問に答えていただきます。 次にグループを構成して面接を行います。そこでは提示したテーマについて各々の考えや意見を共有し、集約していただきます。その後、関連する質疑応答を行います。										
	○口頭試問 農学部で重要となる教科・科目（理科、特に化学や生物）等に関する質問や一般的な知識に関する質問を行います。										
	2. 第2次選考（共通テスト） ○大学入学共通テスト利用教科・科目										
	【亜熱帯地域農学科，亜熱帯農林環境科学科，地域農業工学科， 亜熱帯生物資源科学科（健康栄養科学コース）】										
	<table><tr><th>教科</th><th>科目等</th></tr><tr><td>数</td><td>『数Ⅰ，数A』，『数Ⅱ，数B，数C』</td></tr><tr><td>理</td><td>『物基／化基／生基／地基』，『物理』，『化学』，『生物』，『地学』から2（注1）</td></tr><tr><td>外</td><td>『英』，『独』，『仏』，『中』，『韓』から1</td></tr><tr><td>情</td><td>『情報Ⅰ』</td></tr></table>	教科	科目等	数	『数Ⅰ，数A』，『数Ⅱ，数B，数C』	理	『物基／化基／生基／地基』，『物理』，『化学』，『生物』，『地学』から2（注1）	外	『英』，『独』，『仏』，『中』，『韓』から1	情	『情報Ⅰ』
	教科	科目等									
	数	『数Ⅰ，数A』，『数Ⅱ，数B，数C』									
	理	『物基／化基／生基／地基』，『物理』，『化学』，『生物』，『地学』から2（注1）									
	外	『英』，『独』，『仏』，『中』，『韓』から1									
	情	『情報Ⅰ』									
（注1）理科の『物基／化基／生基／地基』を選択する場合、出題範囲（「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」）から2つを選択解答し、1科目とします。また、同一名称を付した科目の選択は認めません。（例：「物理基礎」と「物理」，「化学基礎」と「化学」）											
【亜熱帯生物資源科学科（健康栄養科学コースを除く）】											
<table><tr><th>教科</th><th>科目等</th></tr><tr><td>数</td><td>『数Ⅰ，数A』，『数Ⅱ，数B，数C』</td></tr><tr><td>理</td><td>『物理』，『化学』，『生物』，『地学』から2</td></tr><tr><td>外</td><td>『英』，『独』，『仏』，『中』，『韓』から1</td></tr><tr><td>情</td><td>『情報Ⅰ』</td></tr></table>	教科	科目等	数	『数Ⅰ，数A』，『数Ⅱ，数B，数C』	理	『物理』，『化学』，『生物』，『地学』から2	外	『英』，『独』，『仏』，『中』，『韓』から1	情	『情報Ⅰ』	
教科	科目等										
数	『数Ⅰ，数A』，『数Ⅱ，数B，数C』										
理	『物理』，『化学』，『生物』，『地学』から2										
外	『英』，『独』，『仏』，『中』，『韓』から1										
情	『情報Ⅰ』										
出願期間	令和8年 9月 1日（火）～9月 3日（木）										
第1次選考	面接：令和8年10月10日（土）〔10月17日（土）〕 ※〔 〕内は暴風警報の発令等で期日に試験が実施できない場合の日程										
第2次選考	共通テスト：令和9年 1月16日（土），17日（日）										
合格発表	第1次選考合格発表：令和8年11月 1日（日） 最終合格発表：令和9年 2月 9日（火）										
入学手続	令和9年2月12日（金）～17日（水）										
その他	総合型選抜の入学手続完了者が募集人員に満たない場合は、満たない分の募集人員を前期日程の募集人員に加えます。										

3. 学校推薦型選抜Ⅰ（共通テストを課さない）

※国公立大学の学校推薦型選抜は、共通テストを課すもの及び課さないものを含め、1つの大学・学部にし
しか出願できません。

学校推薦型選抜Ⅰ－1

実 施 学 部 ・ 学 科 等	農学部 亜熱帯地域農学科，亜熱帯農林環境科学科，地域農業工学科， 亜熱帯生物資源科学科（健康栄養科学コースを除く）					
募 集 人 員	2 1 名	亜熱帯地域農学科	5 名（農業関連学科枠	3 名，その他学科枠	2 名）	
		亜熱帯農林環境科学科	5 名（農業関連学科枠	3 名，その他学科枠	2 名）	
		地域農業工学科	5 名（農業関連学科枠	2 名，その他学科枠	3 名）	
		亜熱帯生物資源科学科	6 名（農業関連学科枠	3 名，その他学科枠	3 名）	
出 願 要 件	次の（１）～（３）に該当する者 （１）高等学校等(*)を令和９年３月卒業（修了）見込みの者及び学校教育法施行規則第 9 3 条第３項の規定に基づき令和８年度中に高等学校を卒業又は卒業見込の者 なお，農業関連学科にあっては教科「農業」の科目を２０単位以上履修した者又は履修見込みの者 （２）出身高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で，学習成績・人物が優秀で，全 体の学習成績の状況が4. 0 以上のもの （３）合格した場合は，入学することを確約できる者					
選 抜 方 法 等	共通テストを免除し，高等学校等の長の推薦に基づき，個別学力検査等の成績を総合して 選考します。 ○個別学力検査等 ・小論文 ・口頭試問を含む面接 ・調査書 ・志願理由書					
出 願 期 間	令和８年１１月 １日（日）～１１月 ６日（金）					
選 抜 期 日	令和８年１２月 ２日（水）					
合 格 発 表	令和８年１２月１１日（金）					
そ の 他	各高等学校等の長が推薦できる人数は，各学科とも１高等学校等（定時制及び通信制の課程 を含む）につき２名以内。ただし，１高等学校等から農学部に推薦可能な人員は５名以内と します。					

※「高等学校等」とは，高等学校，高等部を置く特別支援学校及び中等教育学校並びに文部科学大臣が日本の
高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程並びに文部科学大臣の指
定を受けた専修学校高等課程をいう。

4. 帰国生徒特別選抜

帰国生徒特別選抜－1

実施学部・学科等	農学部 亜熱帯地域農学科, 亜熱帯農林環境科学科, 地域農業工学科, 亜熱帯生物資源科学科（健康栄養科学コースを除く）
募集人員	若 干 名
出 願 要 件	日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務等の事情により外国に2年以上滞在しており、次のいずれかに該当するもの。ただし、令和8年1月20日以前に帰国（一時的な短期の帰国を除く）した者は、出願を認めない。 (1) 学校教育における12年の課程を修了した者又は令和9年3月31日までに修了見込みの者で、原則として、外国において最終学年を含め、2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けているもの（ただし、外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を実施している学校に在学して教育を受けた期間は、「2年以上」という期間には算入しない。）もしくは外国において当該国における12年の課程修了相当の学力認定試験に合格し、令和9年3月31日までに18歳に達する者 (2) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を授与された者、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を取得した者、フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を取得した者及びグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCE-Aレベル）を取得した者 (3) 本学において、個別の入学資格審査により入学資格認定書の交付を受けた者 ○上記（3）に該当する志願者は、10ページの入学資格審査を参照すること。
選抜方法等	共通テストを免除し、成績証明書（調査書）、小論文及び面接を総合して選考します。
出 願 期 間	令和8年11月 1日（日）～11月 6日（金）
選 抜 期 日	令和8年12月 2日（水）
合 格 発 表	令和8年12月11日（金）
そ の 他	1. 出願書類 (1) 出願確認票、卒業（修了）証明書又は同見込み証明書、成績証明書、身上記録、保護者の在外勤務などに関する証明書等 (2) 国際バカロレア資格を取得した者は、その証明書の写しと最終試験6科目の成績評価証明書 (3) アビトゥア資格を取得した者は、一般的大学入学資格証明書（Zeugnis der Allgemeinen Hochschulreife）の写し (4) バカロレア資格（フランス共和国）を取得した者は、その証明書の写し (5) ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCE-Aレベル）を有する者は、成績評価証明書 ※ 外国の学校又は機関が作成する書類について、日本語以外の場合は、日本語訳を添付すること。 ※ 表彰を受けた者は、関係書類の写しを添付すること。 2. 本学他学部・学科等の帰国生徒特別選抜との併願は認めない。

5. 私費外国人留学生特別選抜

農学部では、私費外国人留学生特別選抜を実施します。詳細は106～108ページを参照してください。

6. 個別学力検査等の採点・評価基準

① 教科・科目

数 学	○記述式の問題を出題することにより、数学の基本的な知識・技能、論理的思考力及び表現力が身についているかを評価します。 ○問題用紙に明記された配点に従って得点を合計します。 ○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与えます。 ○記述式の問題の場合、途中の推論及び計算を記述せずに結論（最終的な答え）のみを書いても得点を与えません。
物 理	○自然科学についての思考力、独創性、発想力及び表現力などを総合的に判断、評価します。 ○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与えます。
化 学	○自然科学についての思考力、独創性、発想力及び表現力などを総合的に判断、評価します。 ○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与えます。
生 物	○生物の基礎的知識に加え、設問の内容を的確に判断し、論理的に記述・表現する力を、総合的に評価します。 ○解答が完全に正しくない場合でも理解の度合いに応じた部分点を与えます。
地 学	○設問の趣旨をよく理解しているか、また、自然科学についての思考力、独創性、発想力及び表現力などが備わっているかを、総合的に判断、評価します。 ○解答（記述、計算）が完全には正しくない場合でも、理解の度合いに応じた部分点を与えます。

② 教科・科目以外の科目

※「帰国」は帰国生徒特別選抜、「私費」は私費外国人留学生特別選抜を意味します。

ア) 亜熱帯地域農学科、亜熱帯農林環境科学科、地域農業工学科、亜熱帯生物資源科学科（健康栄養科学コースを含む）

一般選抜	調 査 書		○「全体の学習成績の状況」を評価し、「総合的な探究の時間の記録」、「特別活動の記録」、「指導上参考となる諸事項」等を面接の際の参考にします。 ○調査書が提出できない場合は、代替として提出された資料に加え、共通テスト結果を参考に、これまでの学習成績の状況の評価します。
	口頭試問を含む面接（後期日程）		○学びたい分野や意欲、将来の目標そして主体性や協調性などを評価します。 また、農学部で重要となる教科・科目（数学・理科・英語に関する科目）等に関する質問を通し、農学についての理解度や関心の程度を評価します。
総合型選抜Ⅱ	第1次選考	プレゼンテーション及び面接	○プレゼンテーションの内容とその質疑応答から、これまでの活動を農学部での学びにつなげて主体的に学ぶことができるか、また自分の意見を持ち、大学で学習するに相応しいコミュニケーション能力を有するかを評価します。さらに、健康栄養科学コースは、将来、栄養士として相応しい資質を有するかを評価します。
		口 頭 試 問	○大学で学ぶに相応しい知識・語彙を有し、また、解答に至るまでの説明から、十分な思考力や表現力を有しているかを評価します。
		活動実績書	○主体性を持って様々な人々と協働して積極的に物事に取り組む能力を有するかを評価します。
		志願理由書	○アドミッション・ポリシーを念頭に、志望学科への関心と意欲、大学での学習と将来への見通しを評価します。
		調 査 書	○「全体の学習成績の状況」を評価し、「総合的な探究の時間の記録」、「特別活動の記録」、「指導上参考となる諸事項」等を面接の際の参考にします。
	第2次選考	共通テスト	○共通テストで4教科（外、数、理、情）について指定する科目の成績により、高等学校等で学んだ教科の知識、思考力を評価します。

イ) 亜熱帯地域農学科, 亜熱帯農林環境科学科, 地域農業工学科, 亜熱帯生物資源科学科 (健康栄養科学コースを除く)

学校推薦 型選抜Ⅰ	小論文	○アドミッション・ポリシーに基づいた出題から、農学を学ぶための読解力や論理的な文章を作成する思考力・表現力を評価します。
	口頭試問を含む面接	○推薦書・調査書及び志願理由書を参考としながら、学びたい分野や意欲、将来の目標そして主体性や協調性などを評価します。また、農学部で重要となる教科・科目(数学・理科・英語に関する科目、農業関連学科枠は農業を含む)等や一般常識に関する質問を通し、農学についての理解度や関心及び基礎的な学力を評価します。
	調査書	○「全体の学習成績の状況」を評価し、「総合的な探究の時間の記録」、「特別活動の記録」、「指導上参考となる諸事項」等を面接の際の参考にします。
	志願理由書	○学習意欲や将来の目標を評価し、面接の際の参考にします。
	推薦書	○面接の際に参考とします。
帰国	小論文	○アドミッション・ポリシーに基づいた出題から、農学を学ぶための読解力や論理的な文章を作成する思考力・表現力を評価します。
	口頭試問を含む面接	○成績証明書等を参考としながら、学びたい分野や意欲、将来の目標そして主体性や協調性などを評価します。また、農学部で重要となる教科・科目(数学・理科・英語に関する科目)等や一般常識に関する質問を通し、農学についての理解度や関心及び基礎的な学力を評価します。
	成績証明書等	○面接の際に参考とします。
私費	口頭試問を含む面接	○学びたい分野や意欲、将来の目標そして主体性や協調性などを評価します。また、農学部で重要となる教科・科目(数学・理科・英語に関する科目)等に関する質問を通し、農学についての理解度や関心及び基礎的な学力、さらに日本語能力を評価します。

7. 合否判定基準

全学部の基本的な合否判定基準(24ページ)も併せて参照してください。

ア) 亜熱帯地域農学科, 亜熱帯農林環境科学科, 地域農業工学科, 亜熱帯生物資源科学科 (健康栄養科学コースを含む)

一般選抜 (前期日程)	○総合得点が同点の場合は、次の順序に従って順位付けを行います。 1. 共通テストの得点上位者 2. 調査書の得点上位者
総合型選抜Ⅱ	○下記の基準にいずれも達した者で、共通テストの成績と個別学力検査等の成績の総合得点により、上位から順次合格者とします。 ・個別学力検査等のうち「プレゼンテーション及び面接」、「口頭試問」、「活動実績書」、「志願理由書」の各点数が60%以上であること ・共通テストの4教科(外, 数, 理, 情)の合計点が50%以上であること ○総合得点が同点の場合は、個別学力検査等の上位者から順次合格者とします。 ○共通テストの4教科(外, 数, 理, 情)及び個別学力検査等(「プレゼンテーション及び面接」、「口頭試問」、「活動実績書」、「志願理由書」、「調査書」)のいずれか1科目でも欠席又は0点の者については、不合格とします。

イ) 亜熱帯地域農学科, 亜熱帯農林環境科学科, 地域農業工学科, 亜熱帯生物資源科学科 (健康栄養科学コースを除く)

一般選抜 (後期日程)	○総合得点が同点の場合は, 次の順序に従って順位付けを行う。 1. 共通テストの得点上位者 2. 口頭試問を含む面接の得点上位者
学校推薦型選抜Ⅰ	○個別学力検査等の成績の総合得点 (募集要項に記載された配点に基づく総合得点) により, 上位から順次合格者とします。 ○総合得点が同点の場合は, 次の順序に従って順位付けを行います。 1. 口頭試問を含む面接の得点上位者 2. 小論文の得点上位者
帰国	○個別学力検査等の成績の総合得点 (募集要項に記載された配点に基づく総合得点) により, 上位から順次合格者とします。
私費	○「日本留学試験」の『日本語』『理科(2科目)』『数学』の4教科・科目のうち3教科・科目が, 各教科・科目 (『数学』においては, コース) の受験者全体の平均点 (『日本語』については, 「聴解・聴読解」及び「読解」の「合計」の平均点) 以上であること。 ○日本留学試験及び個別学力検査等の総合得点により, 上位から順次合格者とします。

8. 募集人員の留意事項

- (1) 亜熱帯地域農学科では学校推薦型選抜Ⅰ (農業に関する学科から3名, その他の学科から2名, 合計5名) を実施します。
- (2) 亜熱帯農林環境科学科では学校推薦型選抜Ⅰ (農業に関する学科から3名, その他の学科から2名, 合計5名) を実施します。
- (3) 地域農業工学科では学校推薦型選抜Ⅰ (農業に関する学科から2名, その他の学科から3名, 合計5名) を実施します。
- (4) 亜熱帯生物資源科学科 (健康栄養科学コースを除く) では学校推薦型選抜Ⅰ (農業に関する学科から3名, その他の学科から3名, 合計6名) を実施します。
- (5) 亜熱帯地域農学科, 亜熱帯農林環境科学科, 地域農業工学科, 亜熱帯生物資源科学科, 亜熱帯生物資源科学科健康栄養科学コースでは総合型選抜Ⅱ (計12名) を実施します。
- (6) 亜熱帯生物資源科学科 (健康栄養科学コース) は, 卒業までの教育課程に沿ってコース教育が, 1年次から実施されるため, 他コースからの転コースはできません。
- (7) 定員補充について
 - ① 以下の特別選抜の入学手続者が募集人員に満たなかった場合は, 以下の選抜区分で満たない分の募集人員を補充します。

学 科	募集人員に満たなかった選抜区分	満たない分の募集人員の補充を行う選抜区分
亜熱帯地域農学科 亜熱帯農林環境科学科 地域農業工学科 亜熱帯生物資源科学科 (健康栄養科学コース含む)	学校推薦型選抜Ⅰ	一般選抜 (前期日程)
	総合型選抜Ⅱ	一般選抜 (前期日程)

② 以下の特別選抜の募集人員（若干名）は以下の選抜区分の募集人員に含みます。

学 科	該当する特別選抜	特別選抜の募集人員を含む選抜区分
亜熱帯地域農学科 亜熱帯農林環境科学科 地域農業工学科 亜熱帯生物資源科学科 （健康栄養科学コース除く）	帰国生徒特別選抜	一般選抜（前期日程）
	私費外国人留学生特別選抜	一般選抜（後期日程）

（８）欠員補充

入学手続完了者が入学定員に達しなかった場合に，追加合格を実施してなお欠員がある場合は，欠員補充第２次募集を行うことがあります。

【15】私費外国人留学生特別選抜

(1) 実施学部及び募集人員

別表1の各学部・学科等においては、各々若干名について、次のとおり私費外国人留学生特別選抜を行います。

人文社会学部国際法政学科・人間社会学科・琉球アジア文化学科、理学部物質地球科学科物理系・地球環境系・海洋自然科学科生物系及び工学部工学科（全コース）においては、出願者数が指定人数を超えた場合は、日本留学試験の成績による第1段階選抜を行い、その合格者について第2段階選抜を行うことがあります。実施の有無は、本学ホームページ〔入試情報〕でお知らせします。

(2) インターネット出願期間：令和8年10月16日（金）～11月6日（金）

（※本学他学部・学科等の私費外国人留学生特別選抜との併願は認めません。）

(3) 選抜期日：令和8年12月 2日（水）

※2段階選抜を実施した場合、第1段階選抜の合格者は11月中旬以降にインターネット出願サイトから受験票が印刷できるようになります。不合格者へは不合格通知書を郵送します。

(4) 合格発表：令和8年12月11日（金）

(5) 入学手続き：令和8年12月14日（月）～25日（金）

(6) 出願資格

次の各号のすべてに該当する者とし、ただし、⑤は農学部各学科の志願者のみとします。

① 日本の国籍を有しない

② 次のいずれかに該当する

(1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者（令和9年3月修了見込みの者を含む。）又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格（ドイツ連邦共和国）取得者、バカロレア資格（フランス共和国）取得者及びジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国）取得者

(2) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。）に合格した者

③ 出入国管理及び難民認定法に基づく大学入学に支障のない在留資格を有する者及び取得できる見込みの者

④ 独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の（7）に示すいずれかの回において、別表1のとおり各学部・学科等が指定する文系又は理系の全教科を受験している者で、「日本留学試験」の得点が、それぞれ「日本語200点以上（記述含む）」かつ「基礎学力（文系は「総合科目」「数学」の合計、理系は「理科」「数学」の合計）200点以上」であること

⑤ 農学部の志願者においては、「日本留学試験」の『日本語』『理科（2科目）』『数学』の4教科・科目のうち3教科・科目が、各教科・科目（『数学』においては、コース）の受験者全体の平均点（『日本語』については、「聴解・聴読解」及び「読解」の「合計」の平均点）以上であること。

注意：日本の国籍を有しない者で、日本の高等学校又は大学（短期大学を含む。）において、それぞれの教育課程を履修し、かつ卒業した者（令和9年3月卒業見込みの者を含む。）については、私費外国人留学生特別選抜には出願できません。

(7) 選抜方法等

共通テストを免除し、独立行政法人日本学生支援機構が令和7年6月、11月及び令和8年6月に実施した「日本留学試験」のいずれかの成績及び別表1の個別学力検査等の成績等を総合判定して行います。

「日本留学試験」を複数回受験した場合は、成績利用を希望する回の「成績確認書」又は「日本留学試験成績通知書（写）」を提出してください。

※日本留学試験については、独立行政法人日本学生支援機構に照会してください。

<https://www.jasso.go.jp/ryugaku/eju/index.html> 電話：0570-55-0585 E-mail：eju@sdcj.co.jp

日本留学試験の試験教科・科目の指定及び個別学力検査等

学部	学 科 等		区分	出題教科・科目の指定	出題言語 の 指 定	渡 日 前 入学許可	個別学力検査等
人文社会学部	国 際 法 政 学 科		文 系	日本語, 総合科目, 数学（コース 1 又はコース 2）	日本語	不 可	出願者が 3 名を超えた場合, 日本留学試験の成績による第 1 段階選抜を行い, その合格者について面接による第 2 段階選抜を行うことがある
	人 間 社 会 学 科						出願者が 3 名を超えた場合, 日本留学試験の成績による第 1 段階選抜を行い, その合格者について面接による第 2 段階選抜を行うことがある
	琉 球 ア ジ ア 文 化 学 科						出願者が 4 名を超えた場合, 日本留学試験の成績による第 1 段階選抜を行い, その合格者について小論文及び面接による第 2 段階選抜を行うことがある
国際地域創造学部	国 際 地 域 創 造 学 科 （昼間主コース）		文 系	日本語, 総合科目, 数学（コース 1 又はコース 2）	日本語 又 英 語	不 可	面接 （一部英語で行う）
理 学 部	数 理 科 学 科		理 系	日本語, 理科（物理, 化学, 生物から 2 科目）, 数学（コース 2）	日本語 又 英 語	不 可	面接
	物質地球科学科	物 理 系		日本語, 理科（物理に加え, 化学, 生物から 1 科目の合計 2 科目）, 数学（コース 2）		不 可	出願者が 2 名を超えた場合, 日本留学試験の成績による第 1 段階選抜を行い, その合格者について面接による第 2 段階選抜を行うことがある
		地 球 環 境 系		日本語, 理科（物理, 化学, 生物から 2 科目）, 数学（コース 1 又はコース 2）		不 可	出願者が 5 名を超えた場合, 日本留学試験の成績による第 1 段階選抜を行い, その合格者について面接による第 2 段階選抜を行うことがある
	海洋自然科学科	化 学 系				不 可	面接
		生 物 系				不 可	出願者が 2 名を超えた場合, 日本留学試験の成績による第 1 段階選抜を行い, その合格者について面接による第 2 段階選抜を行うことがある

学部	学 科 等		区分	出題教科・科目の指定	出題言語 の 指 定	渡 日 前 入学許可	個別学力検査等
医学部	保 健 学 科		理 系	日本語, 理科（物理, 化学, 生物から 2 科目）, 数学（コース 1 又はコース 2）	日本語	不 可	面接
工学部	工 学 科	機械工学コース	理 系	日本語, 理科（物理, 化学）, 数学（コース 2）	日本語	不 可	出願者が 5 名を超えたコースについては日本留学試験の成績による第 1 段階選抜を行い, その合格者について口頭試問を含む面接による第 2 段階選抜を行うことがある
		エネルギー機械工学コース					
		電気システム工学コース					
		電子情報通信コース					
		環境都市工学コース					
		建 築 学 コー ス					
		知能情報コース					
農学部	亜 熱 帯 地 域 農 学 科		理 系	日本語, 理科（物理, 化学, 生物から 2 科目）, 数学(コース 1 又はコース 2)	日本語	不 可	面接
	亜 熱 帯 農 林 環 境 科 学 科					不 可	面接
	地 域 農 業 工 学 科					不 可	面接
	亜 熱 帯 生 物 資 源 科 学 科 (健康栄養科学コースを除く)					不 可	面接

【16】合格者を対象とした入学前教育の実施について

琉球大学では、下記の学部学科等、選抜区分において合格者を対象とした入学前教育を行います。入学前教育の詳細は、合格通知書に同封します。

学部	学科等	選抜区分	課題の概要
教育学部	小学校教育コース 学校教育専攻	総合型選抜Ⅰ	○送付された課題に取り組む ○オンラインによる報告会への参加
	小学校教育コース 教科教育専攻	総合型選抜Ⅰ	○沖縄県の教育課題に関する入学前教育を実施します
工学部	機械工学コース	総合型選抜Ⅰ	○工学部全体でのオリエンテーションを実施します。 ○課題については別途案内します。
	エネルギー機械工学コース	総合型選抜Ⅰ	
	電気システム工学コース	総合型選抜Ⅰ	
	電子情報通信コース	総合型選抜Ⅰ	
	環境都市工学コース	総合型選抜Ⅰ	
	建築学コース	総合型選抜Ⅰ	
	知能情報コース	総合型選抜Ⅰ	
農学部	亜熱帯地域農学科	学校推薦型選抜Ⅰ (農業関連学科枠)	○英語，化学の課題への取組
	亜熱帯農林環境科学科	学校推薦型選抜Ⅰ (農業関連学科枠)	
	地域農業工学科	学校推薦型選抜Ⅰ (農業関連学科枠)	
	亜熱帯生物資源科学科	学校推薦型選抜Ⅰ (農業関連学科枠)	

上記に記載がない学部学科等、選抜区分においては令和9年度入学者選抜要項公表時点では入学前教育の実施を予定していませんが、変更となる場合もあります。必ず合格通知書に同封された書類を確認してください。

◎参考情報

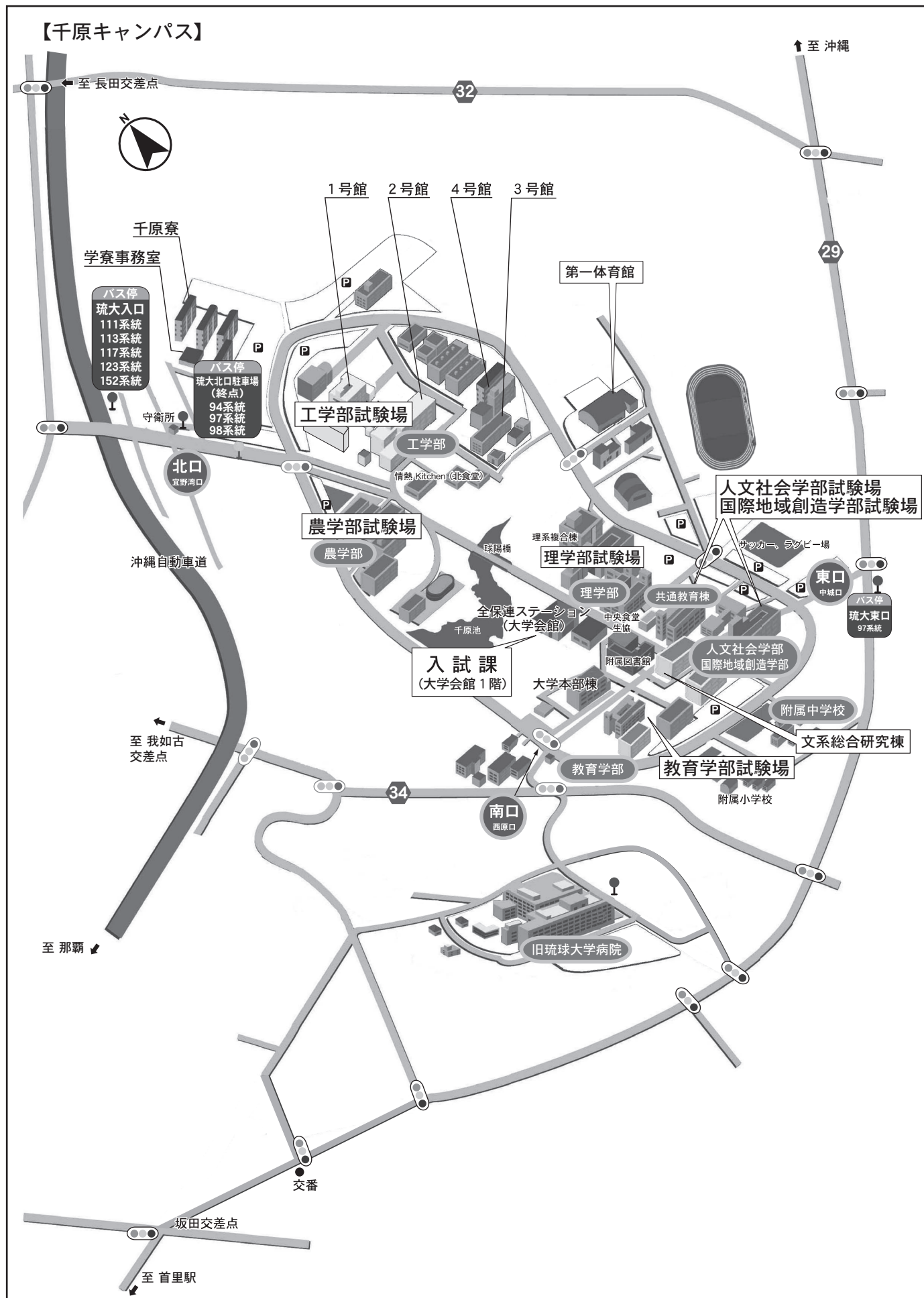
ノートパソコン等の必携化について

本学では、高度情報化社会において情報通信技術の活用能力を有する人材を育成すること、情報通信技術を活用し様々な授業方法やメディアを利用した教育を実践すること、各種配布物や提出物のペーパーレス化を推進することなどを目的として、令和4年度入学生から、ノートパソコン等を必携としております。ノートパソコン等の性能などについては、本学ホームページに掲載しておりますので、必ずご確認ください。

なお、条件を満たすノートパソコン等を既にお持ちの方は、新たに購入する必要はありません。

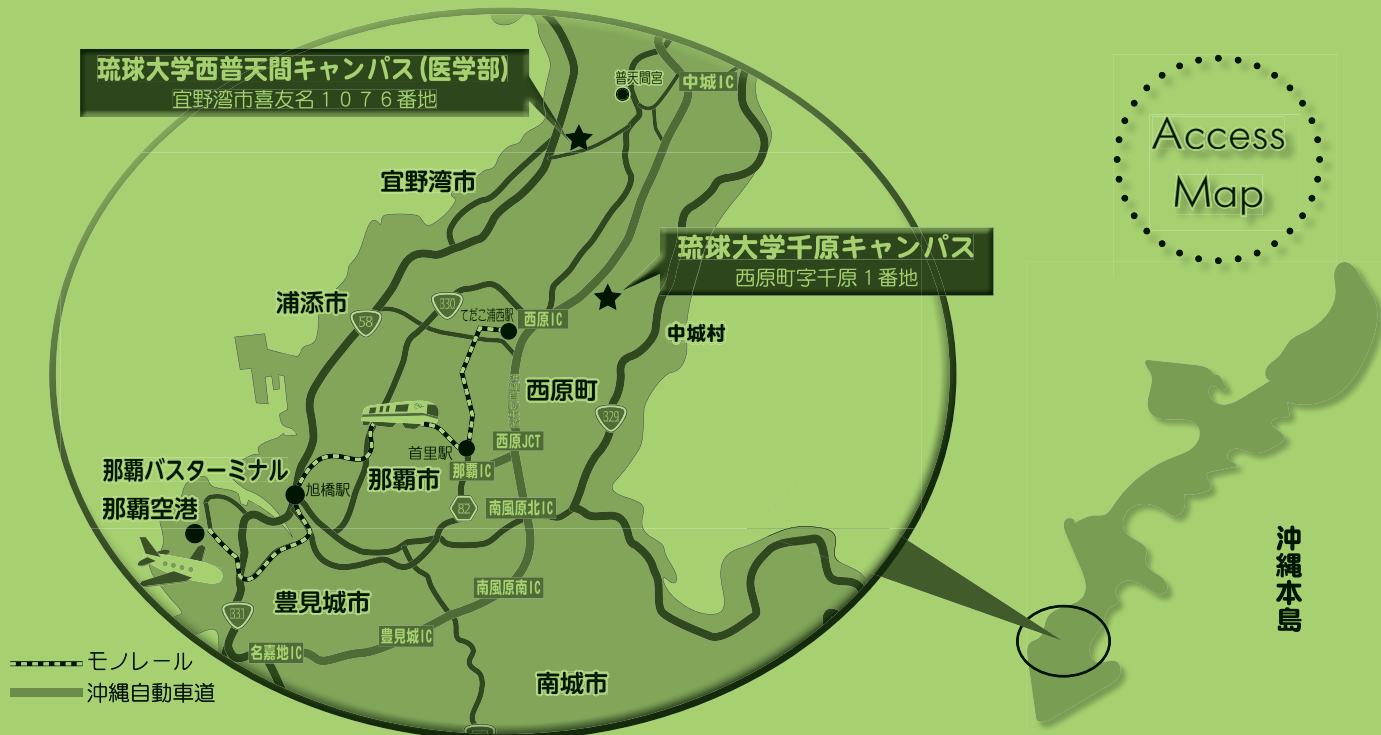
URL : <https://www.u-ryukyu.ac.jp/campuslife/curriculum/pc-hikkei/>

【千原キャンパス】



【西普天間キャンパス】





学 部	試 験 場	最寄りの バス 停	交 通 機 関
人文社会学部	文系講義棟	琉大東口 琉大北口 駐 車 場	那覇バスターミナル発 ▶琉大（首里）線「97番線」琉大東口又は琉大北口駐車場（終点）で下車 ▶琉大（バイパス）線「98番線」琉大北口駐車場（終点）で下車
国際地域創造学部	共通教育棟		那覇空港発 ▶高速バス「111番線・113番線・117番線・123番線・152番線」琉大入口で下車 ▶やんばる急行バス琉大入口で下車（101番線（通過便）を除く）
教 育 学 部	教育学部棟、附属中学校、本学 第一体育館（保健体育専修）		▶ゆいレール（沖縄都市モノレール）てだこ浦西駅で下車、てだこ冲国琉大快速線「297番線」等（琉大敷地内下車） ▶ゆいレール首里駅で下車、首里駅琉大快速線「94番線」（琉大敷地内下車）
理 学 部	理学部棟（理系複合楼を含む）		▶ゆいレール儀保駅で下車、琉大（首里）線「97番線」琉大東口又は琉大北口駐車場（終点）で下車
工 学 部	工学部棟（1号館～4号館）		
農 学 部	農学部棟		

千原キャンパス

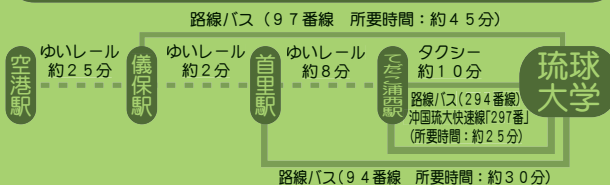
那覇空港 ▶ 琉球大学千原キャンパス

高速バス

111 琉球バス・沖縄バス・那覇バス・東陽バスの4社が交互運行
113 117 123 152 琉球バス

経路 空港→沖縄自動車道→琉大入口下車(琉大入口にて下車、琉大北口まで徒歩で約4分)
その他、やんばる急行バスも運行しています。

ゆいレール



那覇空港 ▶ 那覇バスターミナル

路線バス 各50～60分に1本程度／所要時間：10～20分

99 120 113 120 125
琉球バス 沖縄バス 那覇バス

ゆいレール 6～12分に1本程度／所要時間：11分

那霸空港駅 → 旭橋駅下車

那覇バスターミナル▶琉球大学千原キャンパス

路線バス 各20～40分に1本程度／所要時間：40～50分

**琉大東口
北口方面** **97** **経路** **那覇バス**
 バスターミナル→国際通り（牧志）→儀保（首里）→
 琉球大学病院→琉大東口→琉大北口駐車場（終点）

**琉大
北口方面** **98** **経路** **琉球バス**
 バスターミナル→国際通り（牧志）→パイパー→
 喜楽原→沖国大前→琉大北口駐車場（終点）

学 部	試験場	最寄りのバス停	交 通 機 関
医 学 部	教育棟	琉球大学病院バス停 (病院棟正面玄関前) 新城バス亭 普天間バス停	那覇空港発 ▶ 普天間空港線「125番」・・・・・・琉球大学医学部で下車 ▶ 那覇普天間線「25番」・・・・・・琉球大学医学部で下車 てだこ浦西駅(ゆいレール) 発 ▶ てだこ琉大快速線「294番」・・・・・・琉球大学医学部で下車

那覇空港/バスターミナル▶西普天間キャンパス

路線バス 1 時間に 1 本程度／所要時間：1 時間 20 分

125 那覇バス 経路：空港→バスターミナル→儀保（首里）
→琉大東口→琉球大学医学部

25 那覇バス 経路：バスターミナル→儀保（首里）
→長田→琉球大学医学部

てだこ浦西駅(ゆいレール)▶西普天間キャンパス

路線バス ●時間に1本程度／所要時間：約40分

294 那覇バス 経路：てだこ浦西駅→琉大キャンパス(千原)
(※平日のみ) →長田→琉球大学医学部

發行

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地 国立大学法人 琉球大学入試課 電話：098-895-8141, 8142
琉球大学ホームページ (<https://www.u-ryukyuu.ac.jp/>) ※落丁・乱丁等がありましたらご連絡ください。

西普天間キャンパス